

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

・

在宅介護実態調査

調査結果報告書

令和5年10月

男鹿市

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査の対象	3
3 調査の方法	3
4 調査の実施時期	3
5 配布・回収の結果	4
6 報告書の表記及び注意点について	4

II 調査結果

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査票記入者、ご本人の情報について	7
(1) 調査票記入者	7
(2) 年齢	7
(3) 性別	8
(4) 要介護度	8
1 あなたのご家族や生活状況について	9
(1) 家族構成	9
(2) 介護・介助の必要性	9
(3) 介護・介助が必要になった主な原因	10
(4) 主な介護・介助者	11
(5) 現在の暮らしの経済的状況	11
(6) 住居の形態	12
2 からだを動かすことについて	13
(1) 階段昇降	13
(2) 起立	13
(3) 継続的な歩行	14
(4) 転倒した経験	14
(5) 転倒に対する不安	15
(6) 外出しているか	15
(7) 外出頻度の減少	16
(8) 外出を控えているか	16
(9) 外出を控える理由	17
(10) 外出する際の移動手段	17
(11) 体を動かす時間	18
3 食べることについて	19
(1) 本人の身長・体重	19
(2) 固いものが食べにくくなったか	20
(3) お茶や汁物等でむせることがあるか	20
(4) 口の渇き	21
(5) 歯磨きの習慣	21
(6) 噛み合わせ	22
(7) 体重の減少	22
(8) 歯の数と入れ歯の利用状況	23
(9) 入れ歯の手入れ	23
(10) 誰かと食事をする機会	24
4 毎日の生活について	24
(1) 物忘れがあるか	24
(2) 電話をかけているか	25
(3) 日にちがわからないことがあるか	25
(4) 一人での外出	26
(5) 食品・日用品の買い物	26

(6) 食事の用意	27
(7) 請求書の支払い	27
(8) 預貯金の出し入れ	28
(9) 年金などの書類が書けるか	28
(10) 新聞を読んでいるか	29
(11) 本や雑誌を読んでいるか	29
(12) 健康についての記事や番組への関心	30
(13) 友人宅への訪問	30
(14) 相談にのっているか	31
(15) 病人の見舞いができるか	31
(16) 若い人への話しかけ	32
(17) 趣味はあるか	32
(18) 生きがいはあるか	33
5 地域での活動について	33
(1) 会・グループへの参加状況	33
(2) 介護予防のための通いの場への参加条件	37
(3) 地域活動への参加者としての参加希望	38
(4) 地域活動への企画・運営者としての参加希望	38
6 たすけあいについて	39
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	39
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	39
(3) 看病や世話をしてくれる人	40
(4) 看病や世話をしてあげる人	40
(5) 相談相手	41
(6) 友人・知人と会う頻度	41
(7) 1 か月間に会った友人・知人の数	42
(8) よく会う友人・知人との関係	42
7 健康について	43
(1) 主観的健康感	43
(2) 主観的幸福感	43
(3) 最近1 か月間の気分の状態	44
(4) 最近1 か月間の物事に対する心の状態	44
(5) 飲酒の状況	45
(6) 喫煙の状況	45
(7) 治療中の病気	46
(8) どこで最期を迎えたいか	47
8 認知症や認知症にかかる相談窓口の把握について	47
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか	47
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	48
(3) 認知症サポーターについて	48
(4) 成年後見制度について	49
9 介護保険について	49
(1) 介護保険・総合事業のサービス利用状況	49
10 高齢者福祉について	50
(1) 高齢者福祉に関する情報源	50
(2) ご近所とのつきあい方	51
11 リスク分析	52
(1) 運動器機能の低下	52
(2) 転倒リスク	54
(3) 閉じこもり傾向	56
(4) 低栄養傾向	58
(5) 口腔機能の低下	60
(6) 認知機能の低下	62
(7) IADL (手段的自立度) の低下	64
(8) うつ傾向	66
(9) 知的能動性の低下	68
(10) 社会的役割の低下	70

在宅介護実態調査

1 在宅介護実態調査集計結果	73
(1) 世帯	73
(2) ご家族やご親族の方からの介護について.....	73
(3) 施設等への入所・入居の検討状況	74
(4) 現在抱えている傷病について	75
(5) 主な介護者	76
(6) 主な介護者の性別	76
(7) 主な介護者の年齢	77
(8) 主な介護者の方が行っている介護等について.....	78
(9) 介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるか.....	79
(10) 「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて.....	80
(11) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて.....	81
(12) 訪問診療について	82
(13) 介護保険サービスの利用について	82
(14) 介護保険サービスを利用していない理由.....	83
(15) 主な介護者の方の現在の勤務形態について.....	83
(16) 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたか.....	84
(17) 仕事と介護の両立に効果がある支援について.....	85
(18) 今後も働きながら介護を続けていけそうか.....	86
(19) 主な介護者の方が不安を感じる介護等について.....	87

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和6年度から令和8年度を計画期間とする「第9期男鹿市介護保険事業計画・高齢者福祉計画」を策定するにあたり、本市の高齢者の日常生活の状況、心身の状態、介護予防に対する意識、在宅介護の状況、福祉・介護保険事業に関する意見などをうかがい、計画づくりの参考資料とし活用するために実施した。

2 調査の対象

調査対象は以下のとおり。

区分	調査対象
介護予防・ 日常生活圏域ニーズ調査	本市の住民で、65歳以上の方、1,400名 (要介護1～5の認定を受けている方を除く)
在宅介護実態調査	本市の住民で、介護保険の要支援・要介護の認定を受けている65歳以上の方

3 調査の方法

郵送による配布・回収

4 調査の実施時期

令和5年7月

5 配布・回収の結果

配布・回収の結果は以下のとおり。

区分	①調査票配布数	②回収数【率】	③有効回答数【率】
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,400件	673件【48.1%】	673件【48.1%】
在宅介護実態調査	-	-	436件

6 報告書の表記及び注意点について

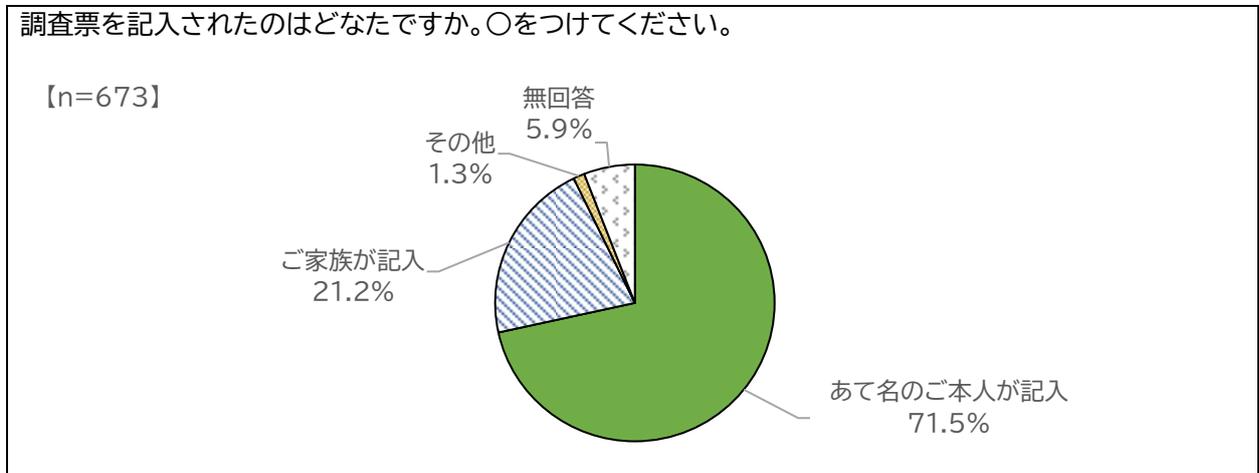
1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率(%)で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表している。

II 調查結果

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

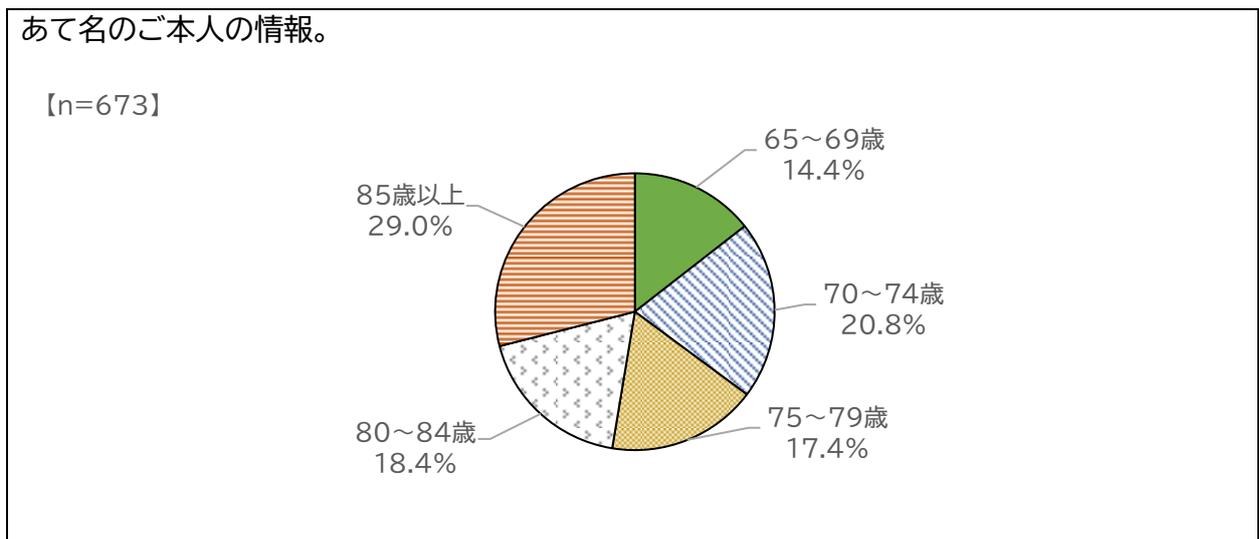
調査票記入者、ご本人の情報について

(1) 調査票記入者



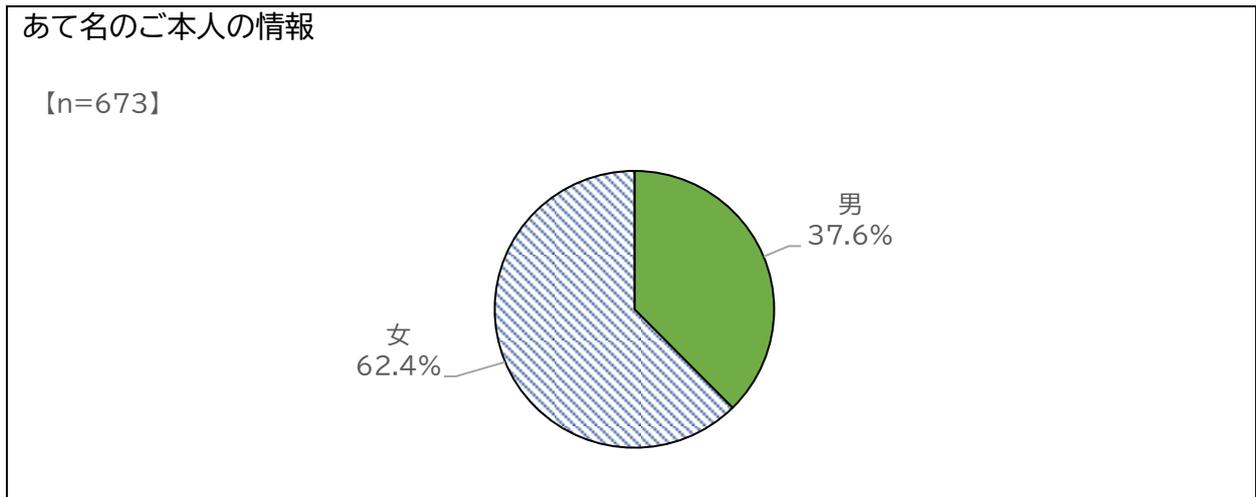
調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が71.5%で大半を占めている。

(2) 年齢



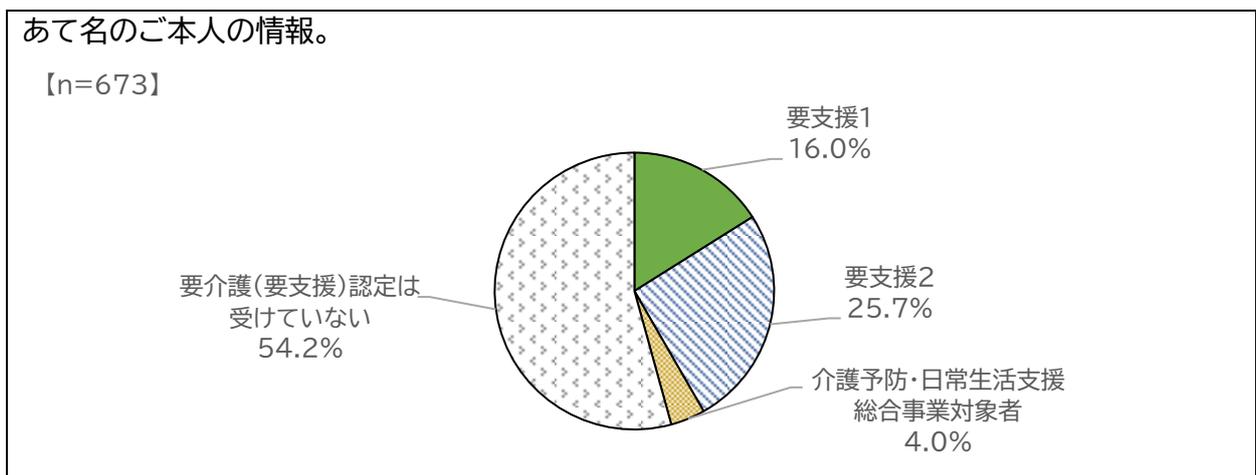
年齢は、「65~69歳」が14.4%、「70~74歳」が20.8%、「75~79歳」が17.4%、「80~84歳」が18.4%、「85歳以上」が29.0%となっている。

(3)性別



性別は、「男」が37.6%、「女」が62.4%となっている。

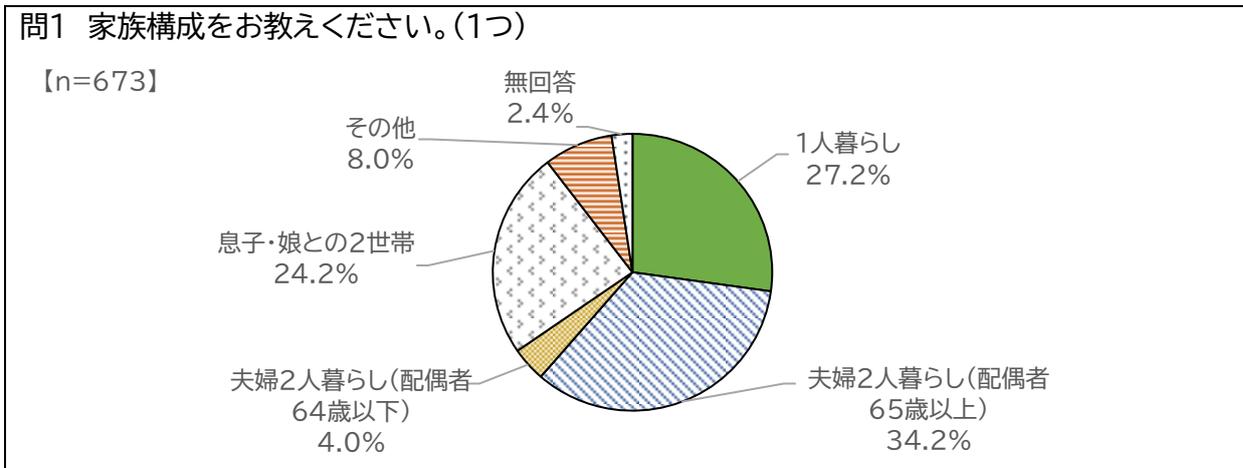
(4)要介護度



「要介護(要支援)認定は受けていない」が54.2%で半分以上を占め、以下、「要支援2」が25.7%、「要支援1」が16.0%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」が4.0%となっている。

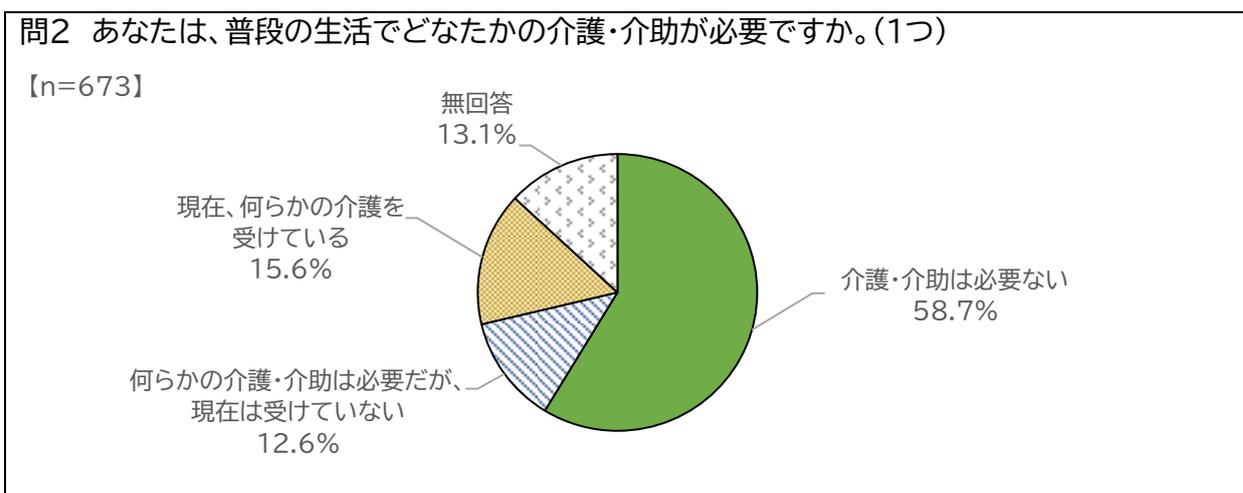
1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成



家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が34.2%と最も多く、次いで「1人暮らし」(27.2%)、「息子・娘との2世帯」(24.2%)、「その他」(8.0%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(4.0%)と続いている。

(2) 介護・介助の必要性

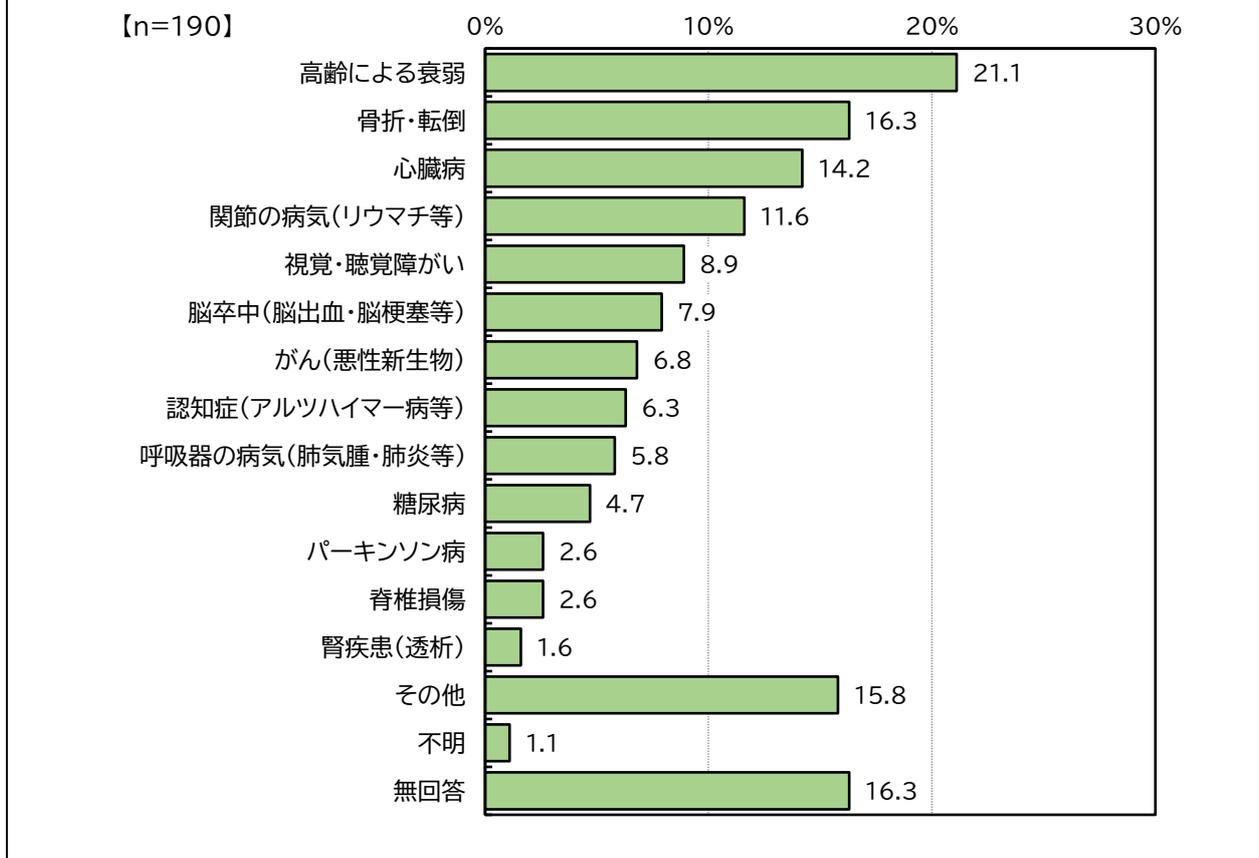


普段の生活で介護・介助が必要とするかについては、「介護・介助は必要ない」が58.7%と最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている(※介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が15.6%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が12.6%となっている。

(3) 介護・介助が必要になった主な原因

問2-1 問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きします。

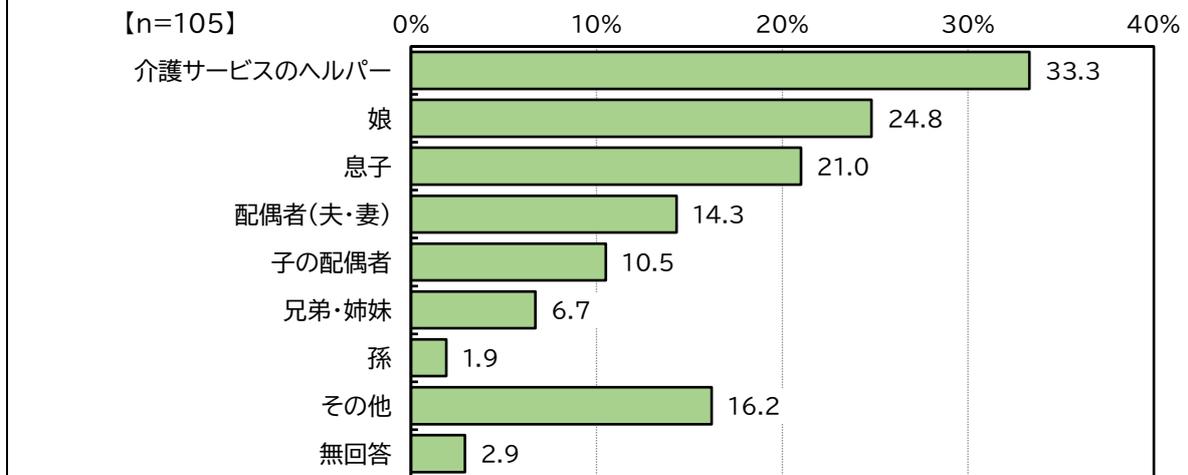
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)



介護・介助が必要と回答した190人に、介護・介助が必要になった原因を尋ねたところ、「高齢による衰弱」が21.1%と最も多く、次いで「骨折・転倒」(16.3%)、「心臓病」(14.2%)、「関節の病気(リウマチ等)」(11.6%)と続いている。

(4)主な介護・介助者

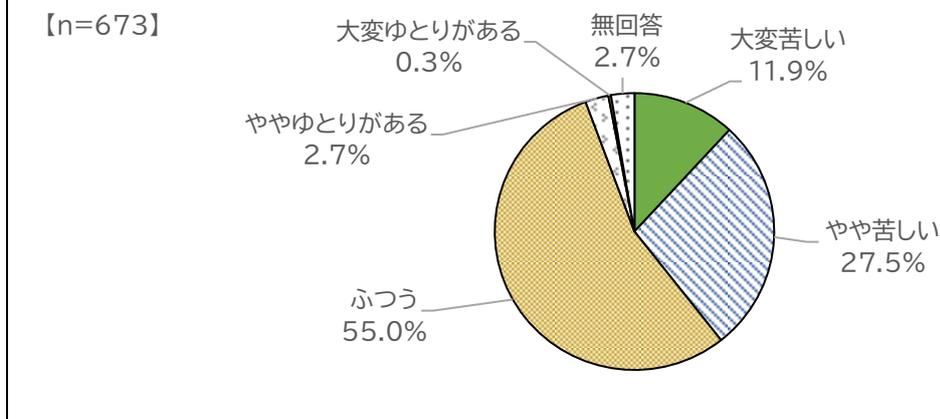
問2-2 問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方にお聞きします。
主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも)



介護・介助を受けていると回答した105人に、主な介護者・介助者を尋ねたところ「介護サービスのヘルパー」が33.3%と最も多く、次いで「娘」(24.8%)、「息子」(21.0%)、「配偶者(夫・妻)」(14.3%)と続いている。

(5)現在の暮らしの経済的状況

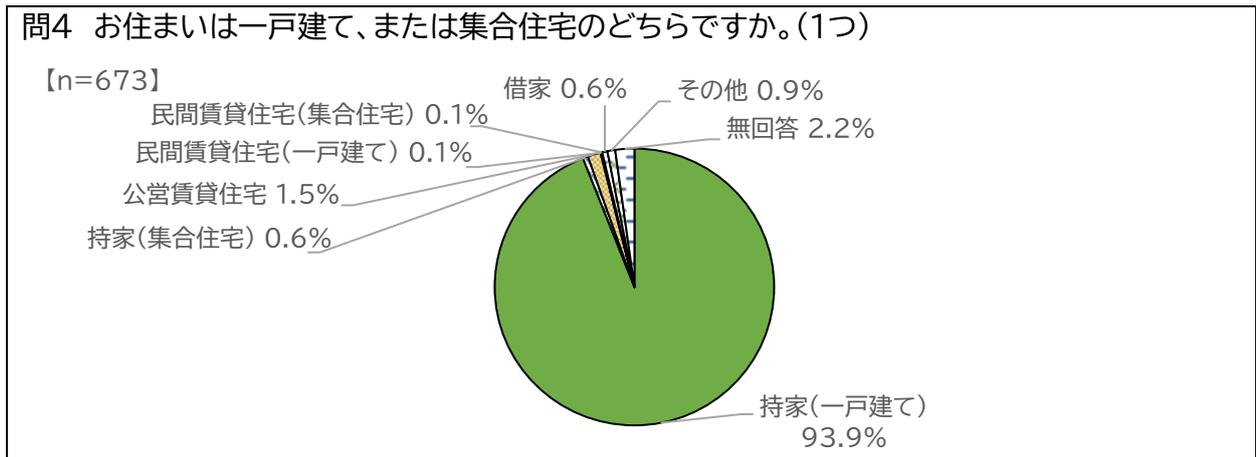
問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つ)



現在の暮らしの状況では、「ふつう」が55.0%で最も多く、以下、「やや苦しい」(27.5%)、「大変苦しい」(11.9%)、「ややゆとりがある」(2.7%)、「大変ゆとりがある」(0.3%)となっている。

大別して、『生活が苦しいと感じる割合』(「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計)は39.4%を占めている。

(6)住居の形態



一戸建てか集合住宅かについては、「持家(一戸建て)」が93.9%と大半を占めている。

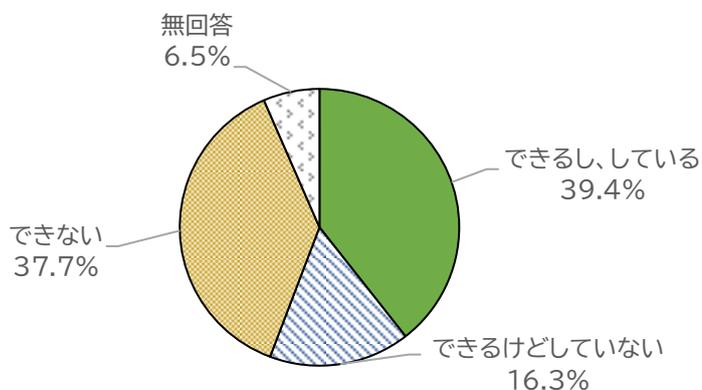
2 からだを動かすことについて

(1)階段昇降

問5 日常の生活動作についてうかがいます。

①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(1つ)

【n=673】

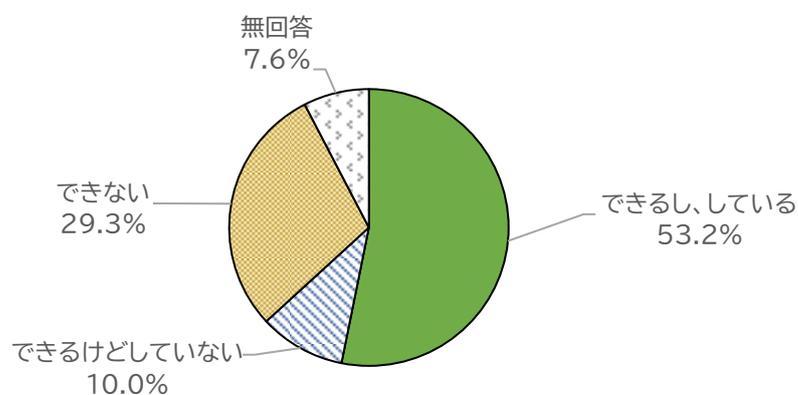


階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、運動器の機能低下を問う設問。該当設問5問のうち3問以上に該当すると運動機能が低下していると判定される。運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は37.7%となっている。

(2)起立

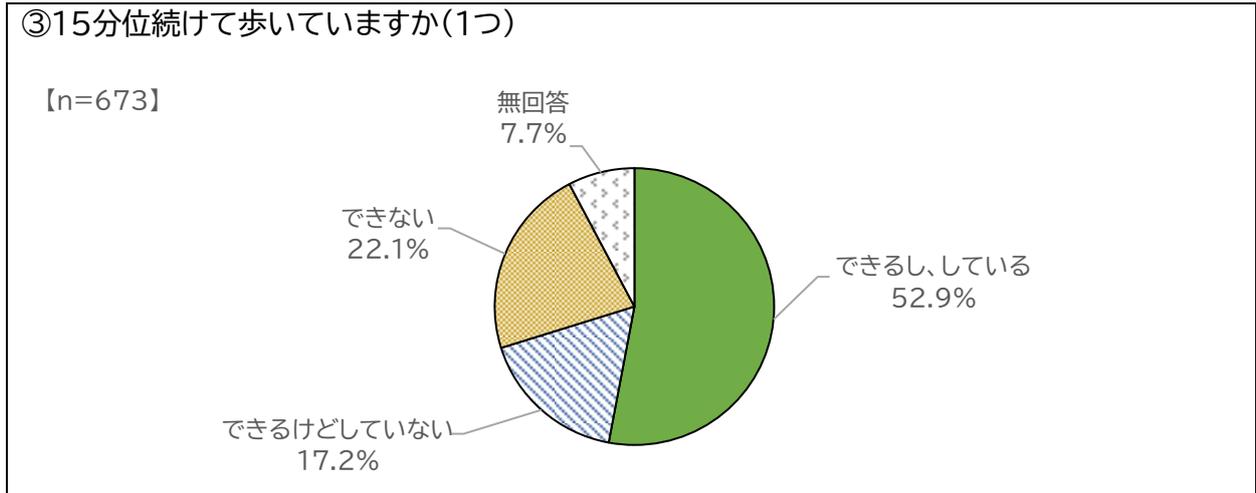
②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(1つ)

【n=673】



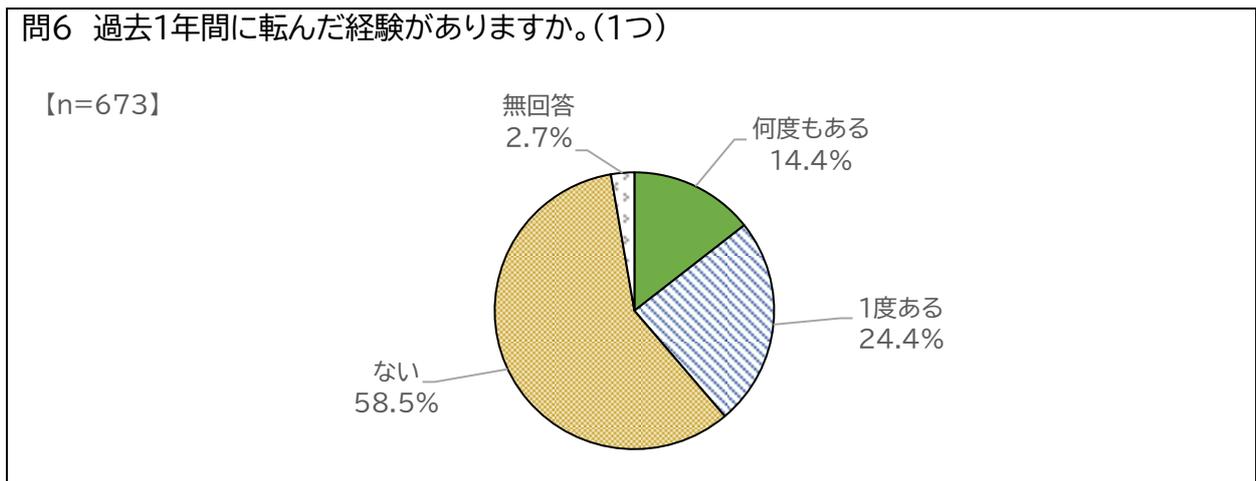
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは、運動器の機能低下を問う設問。運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は29.3%となっている。

(3) 継続的な歩行



15分位続けて歩いているかは、運動器の機能低下を問う設問。
運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は22.1%となっている。

(4) 転倒した経験

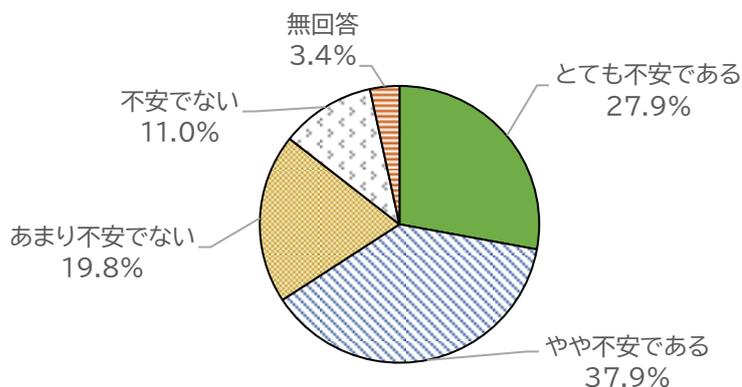


過去1年間に転んだことがあるかは、運動器の機能低下及び転倒リスクを問う設問。
運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる「何度もある」の割合は14.4%、「1度ある」の割合は24.4%となっている。

(5) 転倒に対する不安

問7 転倒に対する不安は大きいですか。(1つ)

【n=673】



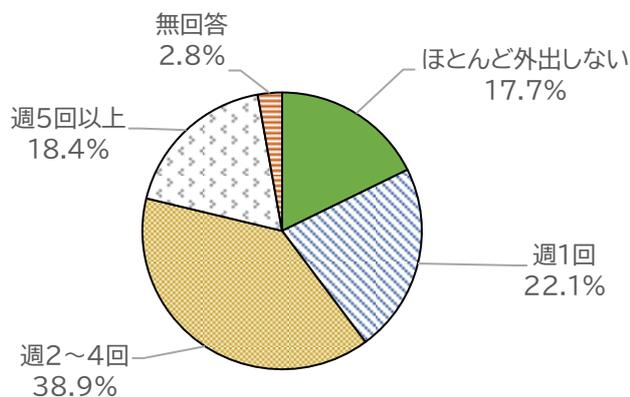
転倒に対する不安は、運動器の機能低下を問う設問。

運動器機能低下のチェック該当となる「とても不安である」の割合は27.9%、「やや不安である」の割合は37.9%となっている。

(6) 外出しているか

問8 週に1回以上は外出していますか。(1つ)

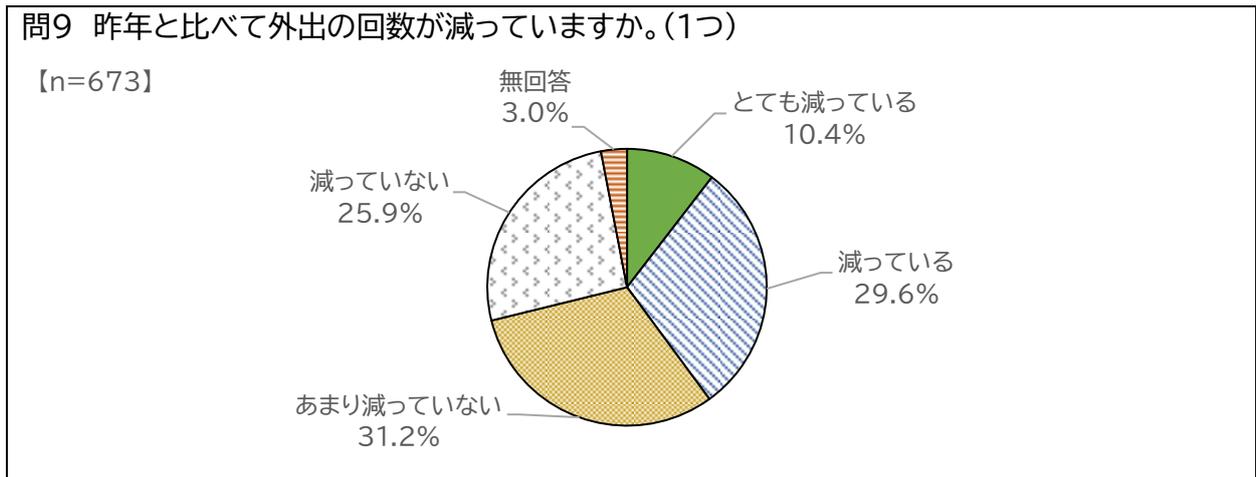
【n=673】



週に1回以上は外出しているかは、閉じこもり傾向を問う設問。

閉じこもり傾向のチェック該当となる「ほとんど外出しない」の割合は17.7%、「週1回」の割合は22.1%となっている。

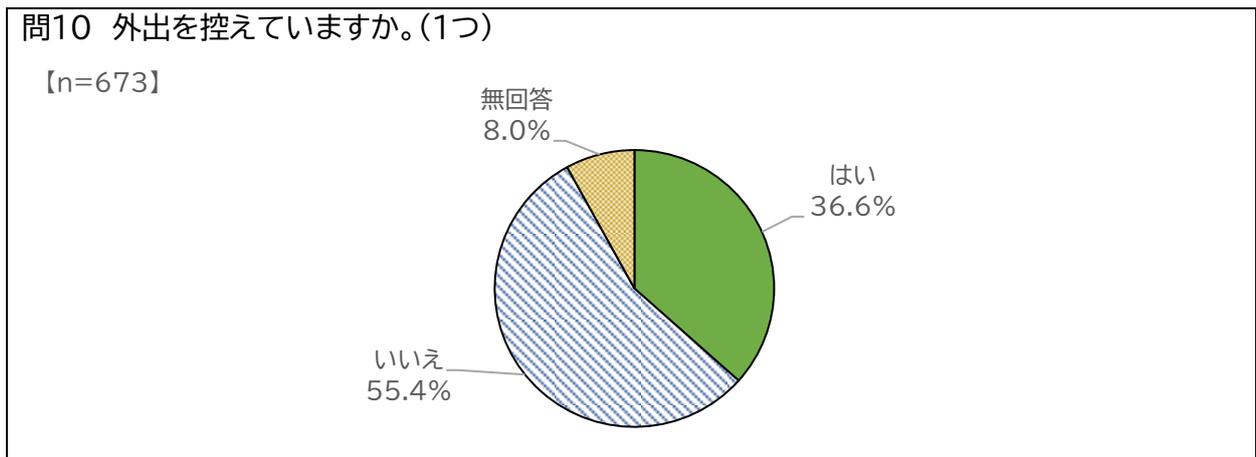
(7)外出頻度の減少



昨年と比べて外出の回数が減っているかは、「とても減っている」(10.4%)、「減っている」(29.6%)を合わせると、40.0%が減っていると回答している。

また、「減っていない」(25.9%)、「あまり減っていない」(31.2%)を合わせると、57.1%が減っていないと回答している。

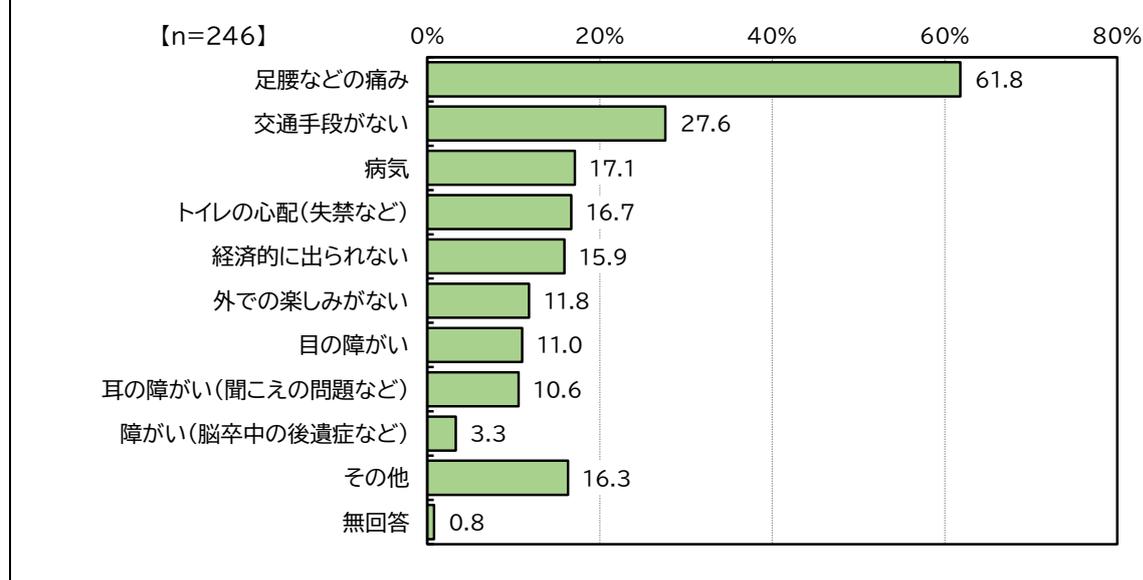
(8)外出を控えているか



外出を控えているかは、「はい」が36.6%、「いいえ」が55.4%となっている。

(9)外出を控える理由

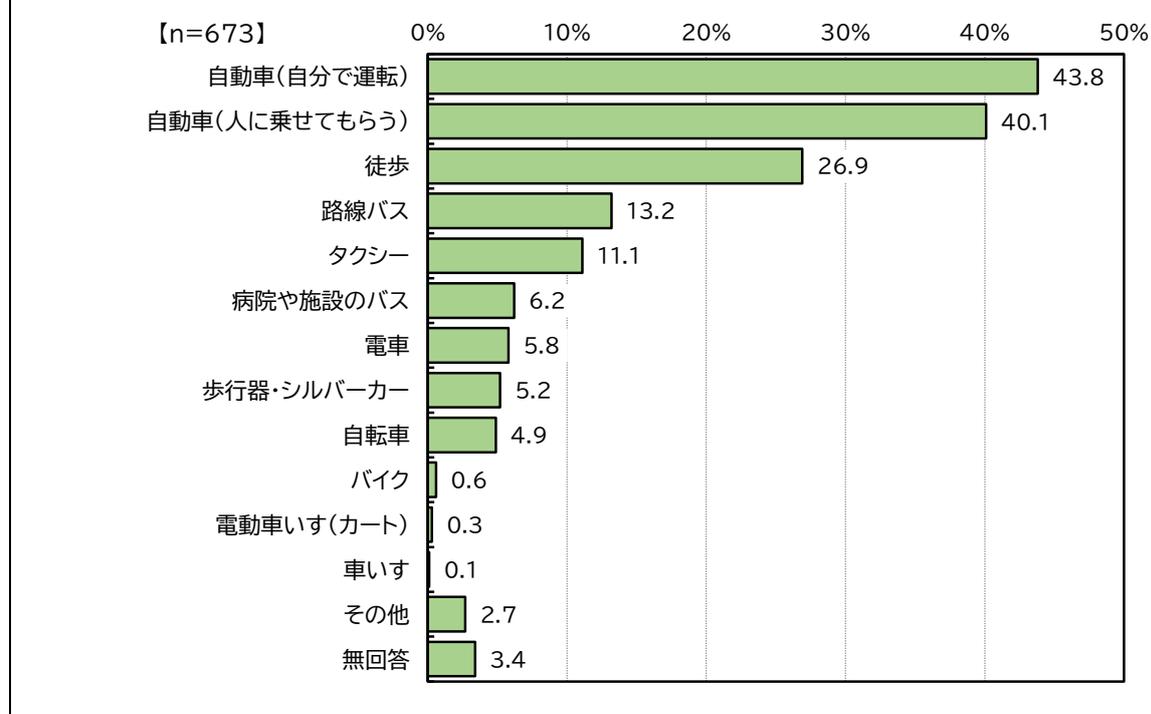
問10-1 問10で「1. はい」と答えた方(外出を控えている方)にお聞きます。
外出を控える理由は、次のどれですか。(いくつでも)



問10で「1. はい」と回答した246人にその理由を尋ねると、「足腰などの痛み」が61.8%と最も多く、次いで「交通手段がない」(27.6%)、「病気」(17.1%)、「トイレの心配(失禁など)」(16.7%)と続いている。

(10)外出する際の移動手段

問11 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

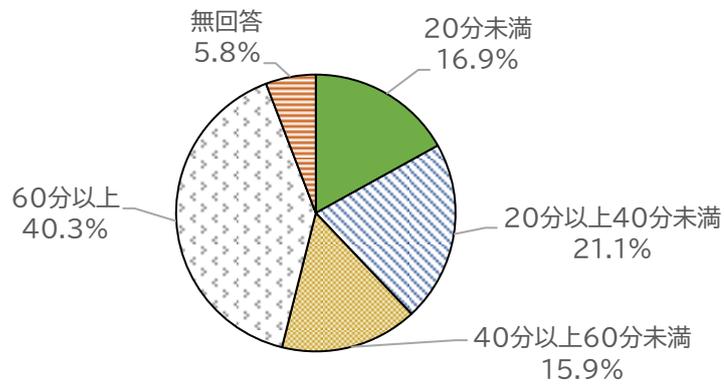


外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」が43.8%と最も多く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」(40.1%)、「徒歩」(26.9%)、「路線バス」(13.2%)、「タクシー」(11.1%)と続いている。

(11)体を動かす時間

問12 運動のほか、掃除や洗濯、買い物、散歩など体を動かす時間は1日にどのくらいありますか。(1つ)

【n=673】



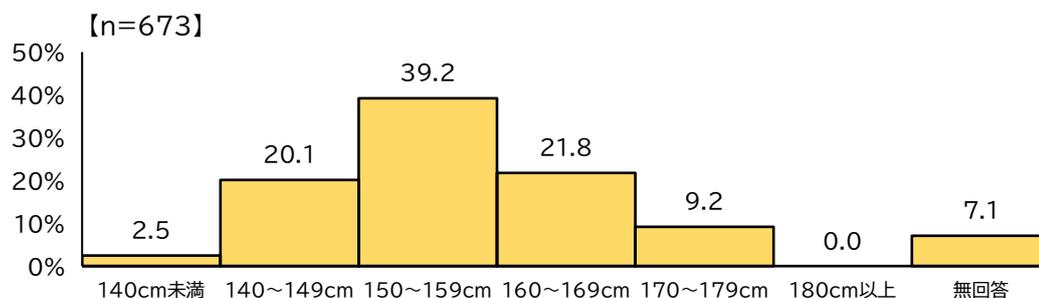
運動のほか、日常生活で体を動かす時間は、「60分以上」が40.3%と最も多く、次いで「20分以上40分未満」(21.1%)、「20分未満」(16.9%)、「40分以上60分未満」(15.9%)と続いている。

3 食べることについて

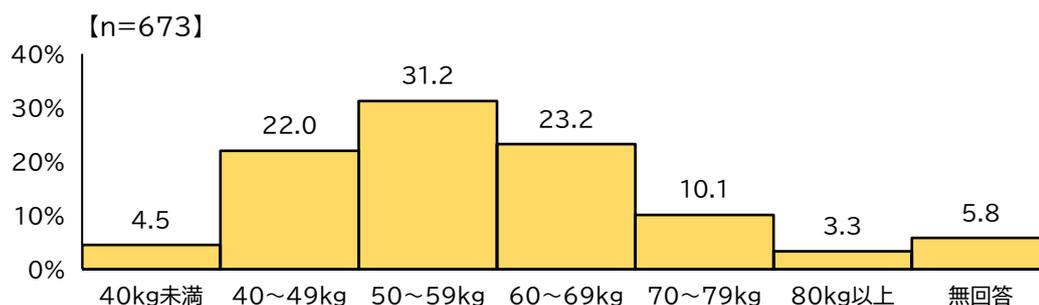
(1) 本人の身長・体重

問13あて名ご本人の身長、体重をお答えください。

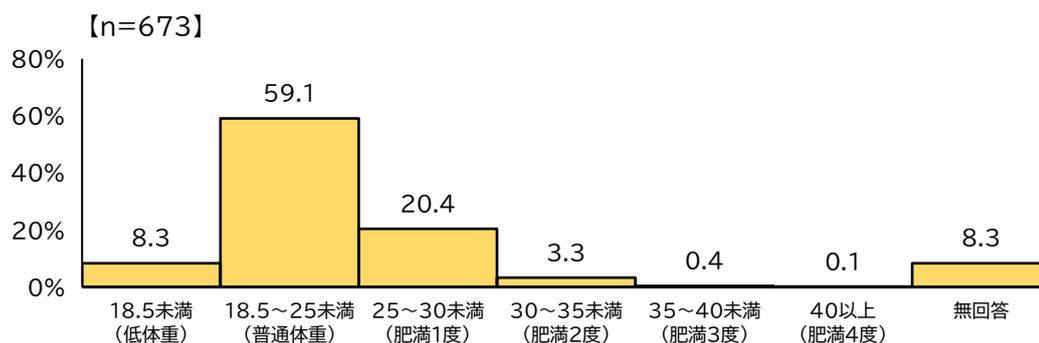
<身長>



<体重>



<BMI>



身長・体重は、BMIを算出し、低栄養の傾向を問う設問です。

身長は、「150~159cm」が39.2%と最も多くなっている。

体重は、「50~59kg」が31.2%と最も多くなっている。

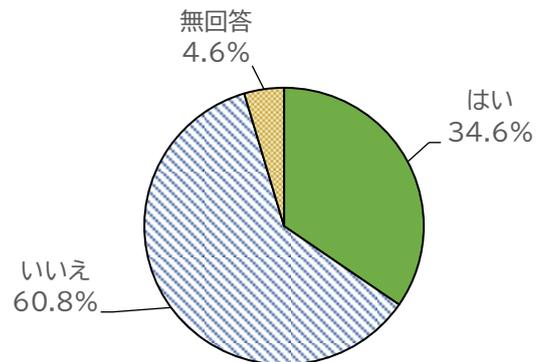
また、低栄養傾向のチェック該当となるBMI「18.5未満」の割合は、8.3%となっている。

(2) 固いものが食べにくくなったか

問14 口腔・栄養についてうかがいます。

①半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか(1つ)

【n=673】

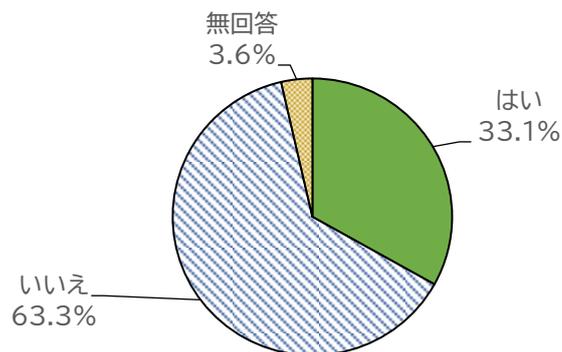


半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、口腔機能の低下を問う設問です。口腔機能の低下リスクのチェック該当となる「はい」の割合は34.6%となっている。

(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

②お茶や汁物等でむせることがありますか(1つ)

【n=673】

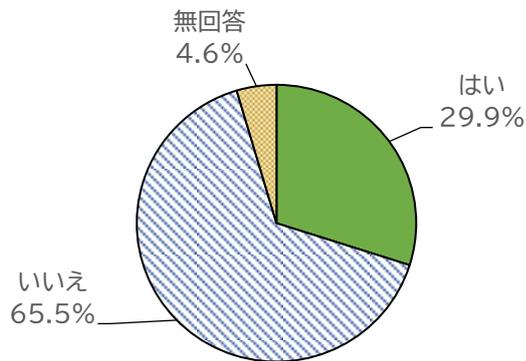


お茶や汁物等でむせることがあるかは、口腔機能の低下を問う設問です。口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は33.1%となっている。

(4)口の渴き

③口の渴きが気になりますか(1つ)

【n=673】

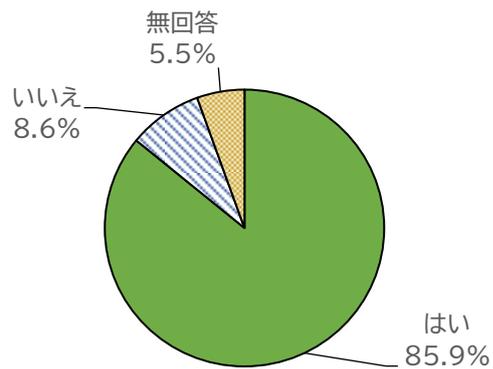


口の渴きが気になるかは、口腔機能の低下を問う設問です。
口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は29.9%となっている。

(5)歯磨きの習慣

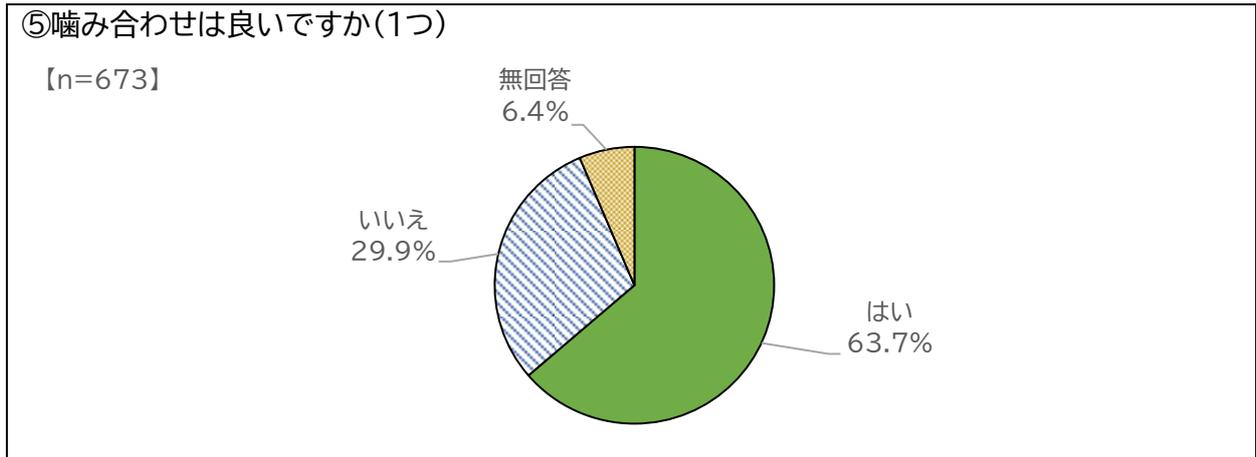
④歯磨き(人にやってもらう場合を含む)を毎日していますか(1つ)

【n=673】



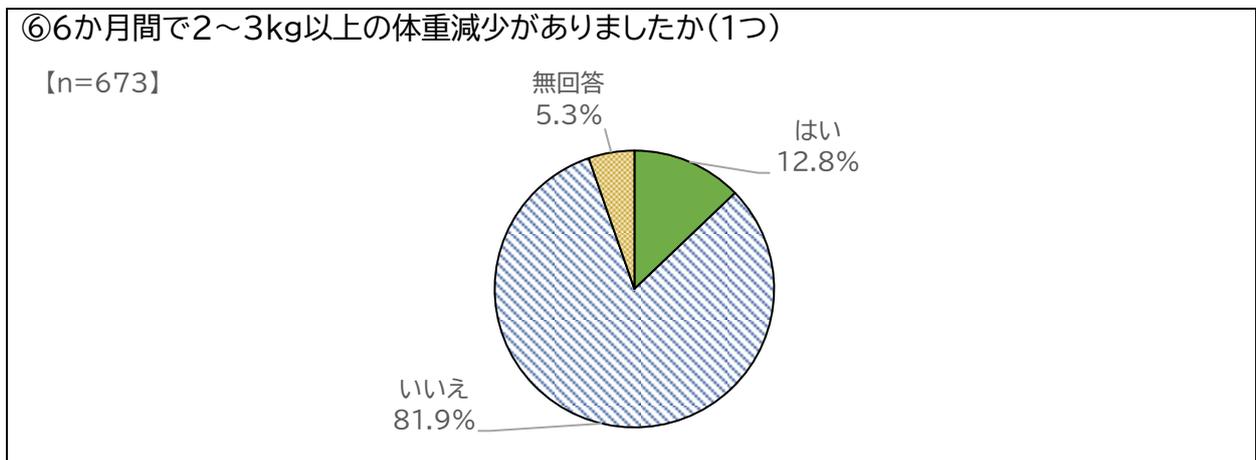
歯磨きを毎日しているか尋ねたところ、「はい」が85.9%、「いいえ」が8.6%となっている。

(6) 噛み合わせ



噛み合わせは良いかは、「はい」が63.7%、「いいえ」が29.9%となっている。

(7) 体重の減少

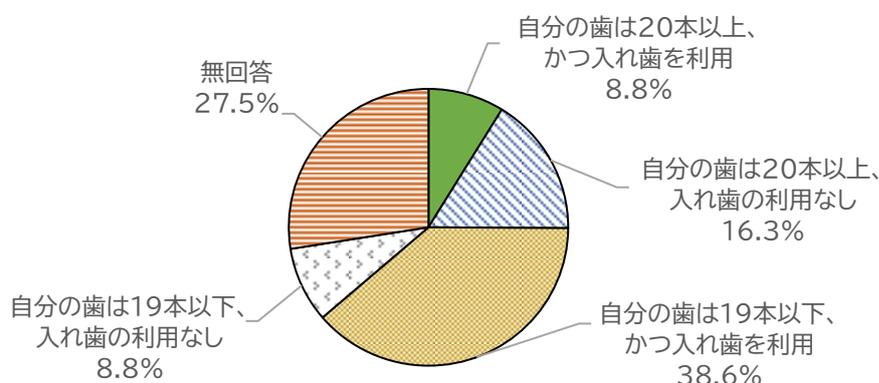


6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかは、低栄養傾向を問う設問です。低栄養傾向のチェック該当となる「はい」の割合は12.8%となっている。

(8) 歯の数と入れ歯の利用状況

問15 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)。(1つ)

【n=673】



歯の数と入れ歯の使用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が38.6%と最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が16.3%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」がともに8.8%となっている。

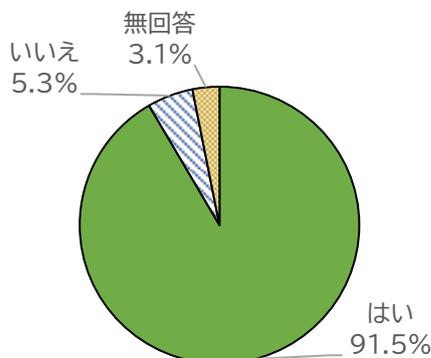
『自分の歯が20本以上の人』は25.1%、『入れ歯を利用している人』は47.4%となっている。

(9) 入れ歯の手入れ

問15-1 問15で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方にお聞きします。

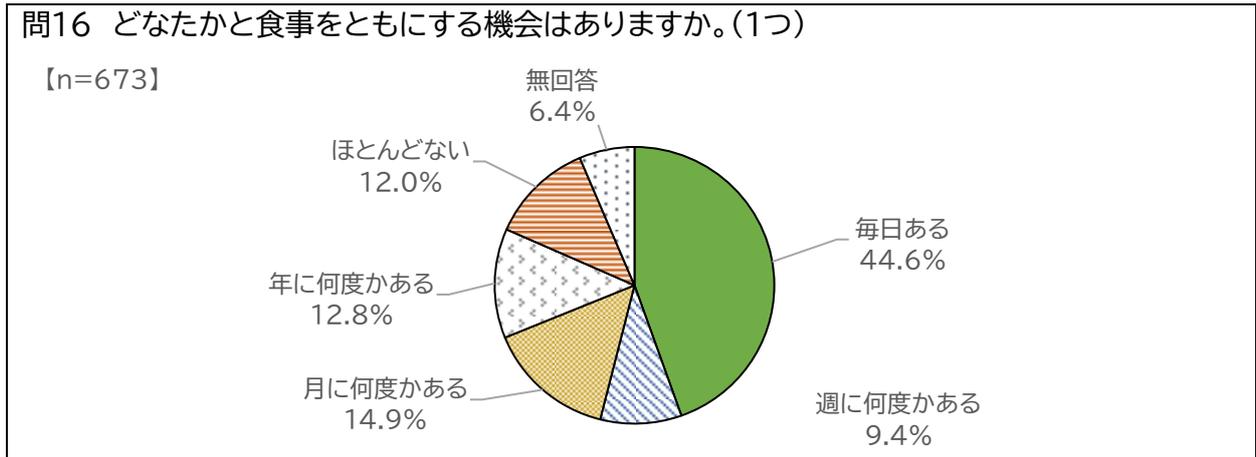
毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つ)

【n=319】



問15で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した319人に、毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねると、毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねると91.5%が「はい」と回答している。

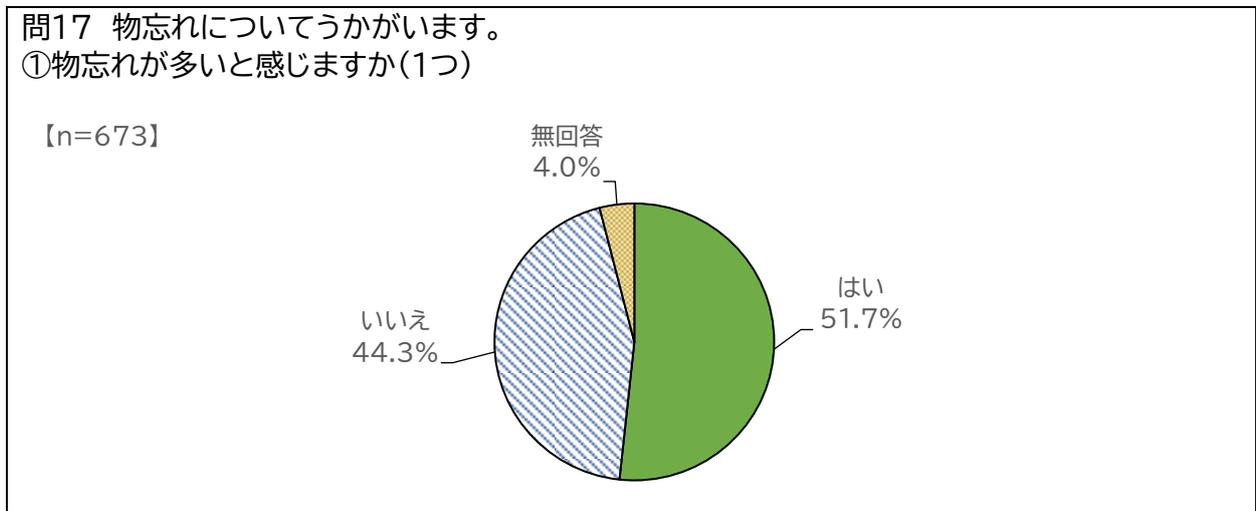
(10)誰かと食事をする機会



どなたかと食事をもにする機会があるかは「毎日ある」が44.6%と最も多く、次いで「月に何度かある」(14.9%)、「年に何度かある」(12.8%)、「週に何度かある」(9.4%)と続いている。また、「ほとんどない」という回答も12.0%あった。

4 毎日の生活について

(1)物忘れがあるか

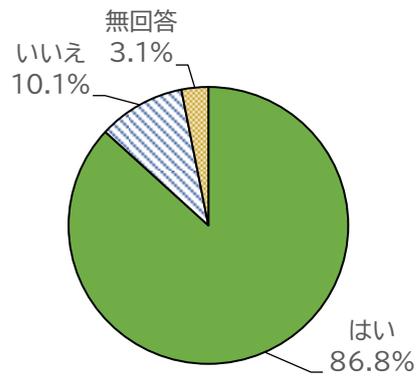


物忘れが多いと感じるかは、認知機能の低下を問う設問です。認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は51.7%となっている。

(2)電話をかけているか

②自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか(1つ)

【n=673】

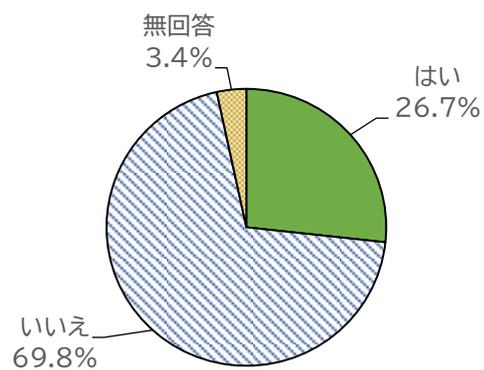


自分で電話番号を調べて電話をかけているかは、「はい」が86.8%、「いいえ」が10.1%となっている。

(3)日にちがわからないことがあるか

③今日が何月何日かわからない時がありますか(1つ)

【n=673】



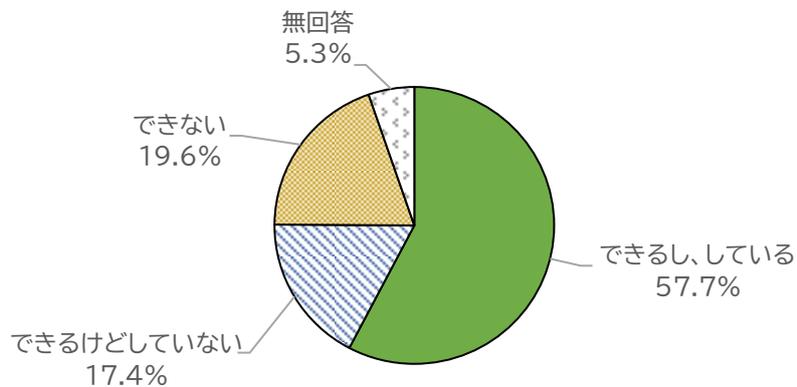
何月何日かわからない時があるかは、「はい」が26.7%、「いいえ」が69.8%となっている。

(4)一人での外出

問18 その他、日常生活についてうかがいます。

①バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(1つ)

[n=673]



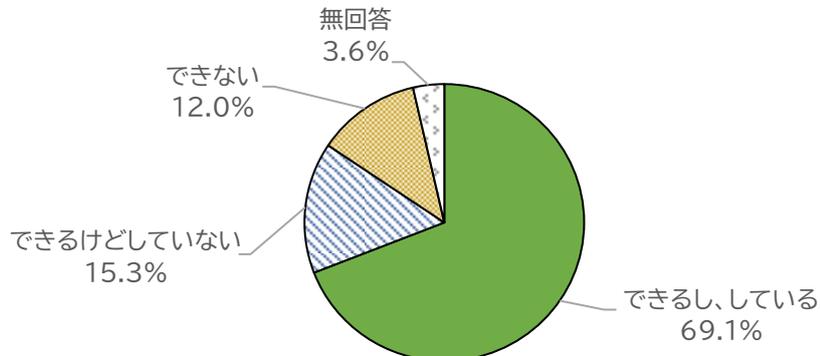
バスや電車を使って一人で外出しているかは、IADLの低下を問う設問。「できるし、している」、「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、該当設問5問の合計点でIADLの低下を評価します。(5点:高い、4点:やや低い、3点以下:低い)

IADL(手段的自立度)低下のチェック該当となる「できるし、している」の割合は57.7%、「できるけどしていない」の割合は17.4%となっている。

(5)食品・日用品の買い物

②自分で食品・日用品の買物をしていますか(1つ)

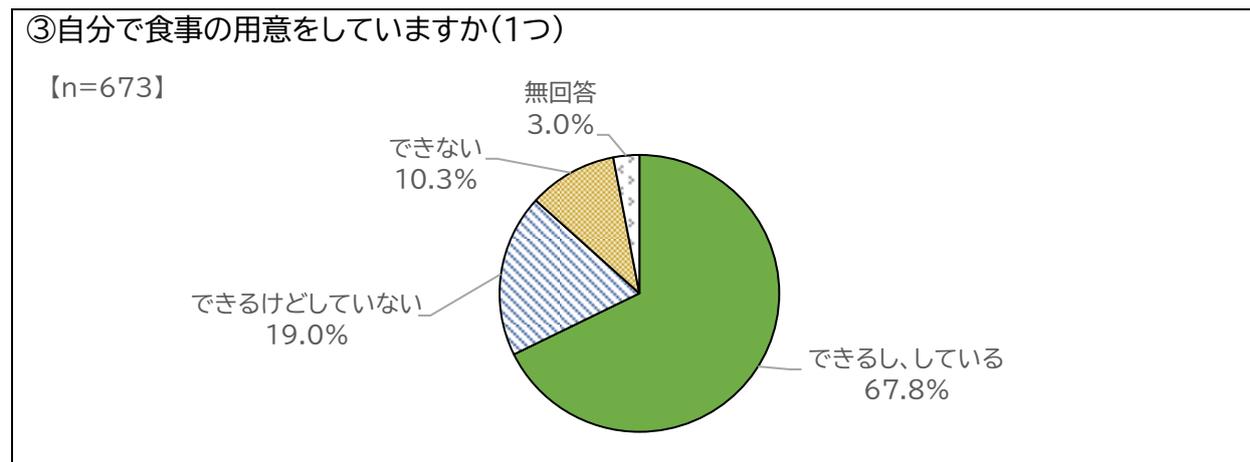
[n=673]



自分で食品・日用品の買物をしているかは、IADLの低下を問う設問。

IADL(手段的自立度)低下のチェック該当となる「できるし、している」の割合は69.1%、「できるけどしていない」の割合は15.3%となっている。

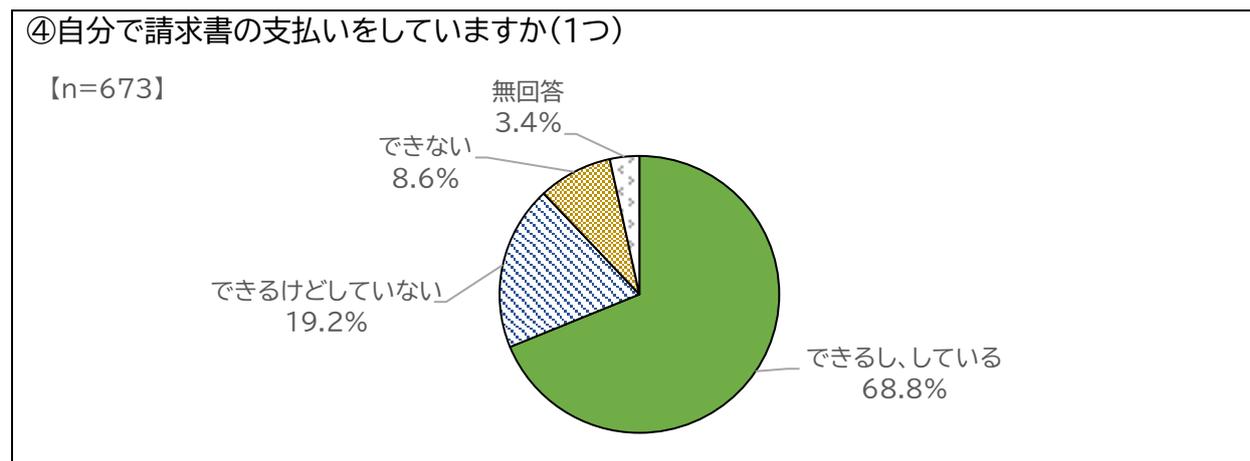
(6) 食事の用意



自分で食事の用意をしているかは、IADLの低下を問う設問。

IADL(手段的自立度)低下のチェック該当となる「できるし、している」の割合は67.8%、「できるけどしていない」の割合は19.0%となっている。

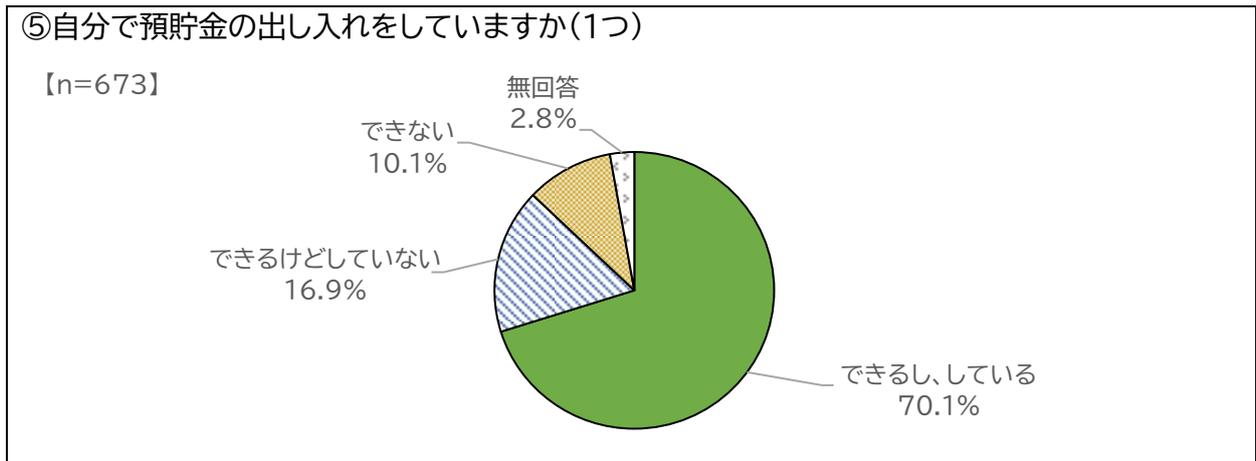
(7) 請求書の支払い



自分で請求書の支払いをしているかは、IADLの低下を問う設問。

IADL(手段的自立度)低下のチェック該当となる「できるし、している」の割合は68.8%、「できるけどしていない」の割合は19.2%となっている。

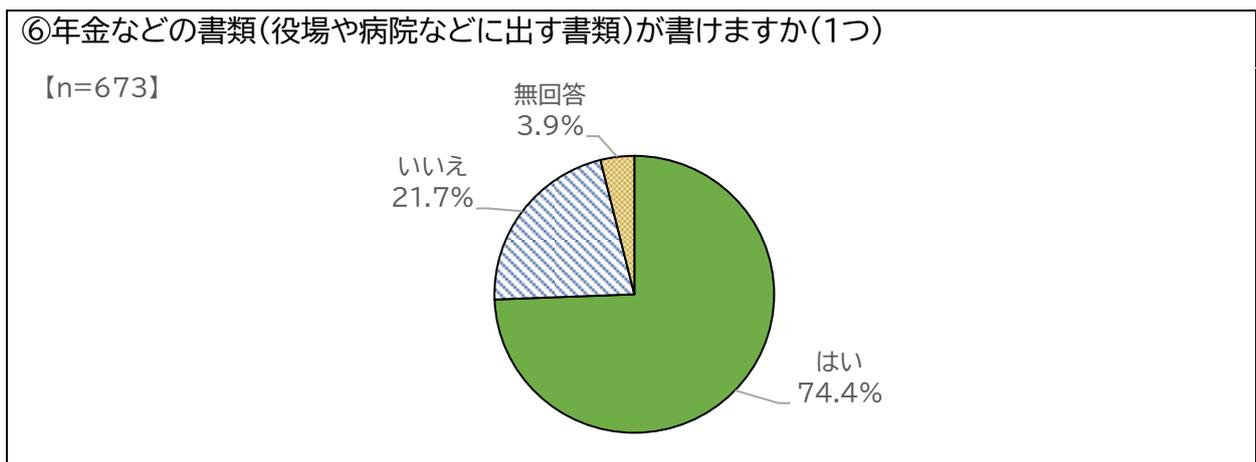
(8) 預貯金の出し入れ



自分で預貯金の出し入れをしているかは、IADLの低下を問う設問。

IADL(手段的自立度)低下のチェック該当となる「できるし、している」の割合は70.1%、「できるけどしていない」の割合は16.9%となっている。

(9) 年金などの書類が書けるか



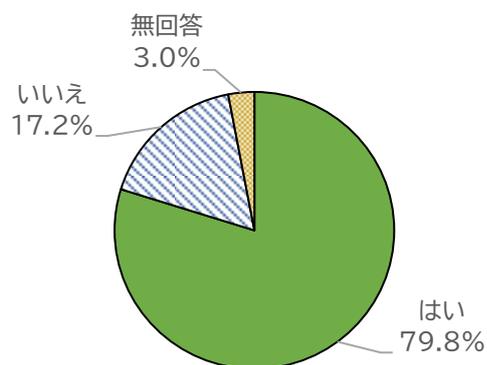
年金などの書類が書けるかは、知的能動性の低下を問う設問。「はい」と回答した場合を1点として、該当設問4問の合計点で知的能動性の低下を評価します。(4点:高い、3点:やや低い、2点以下:低い)

知的能動性低下のチェック該当となる「はい」の割合は74.4%となっている。

(10)新聞を読んでいるか

⑦新聞を読んでいますか(1つ)

【n=673】

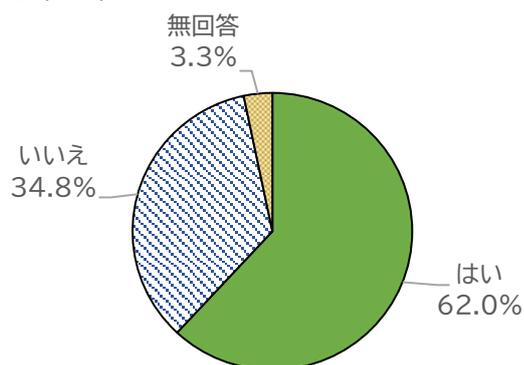


新聞を読んでいるかは、知的能動性の低下を問う設問。
知的能動性低下のチェック該当となる「はい」の割合は79.8%となっている。

(11)本や雑誌を読んでいるか

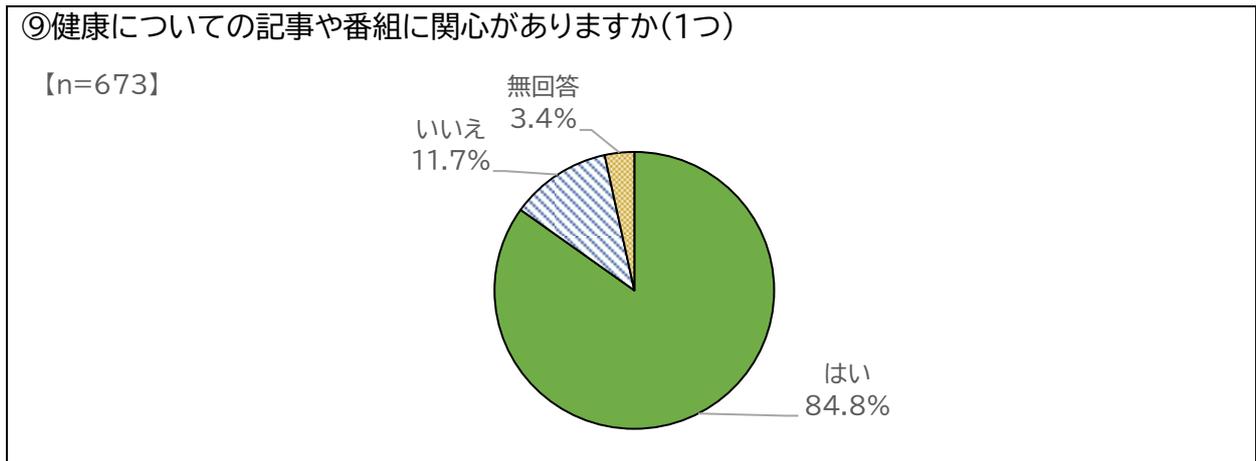
⑧本や雑誌を読んでいますか(1つ)

【n=673】



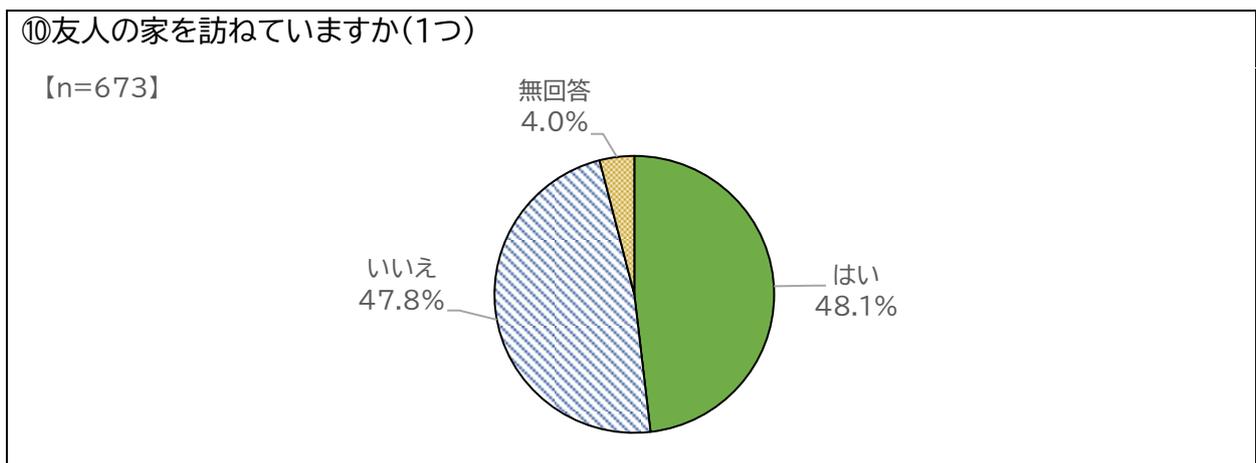
本や雑誌を読んでいるかは、知的能動性の低下を問う設問。
知的能動性低下のチェック該当となる「はい」の割合は62.0%となっている。

(12)健康についての記事や番組への関心



健康についての記事や番組に関心があるかは、知的能動性の低下を問う設問。知的能動性低下のチェック該当となる「はい」の割合は84.8%となっている。

(13)友人宅への訪問



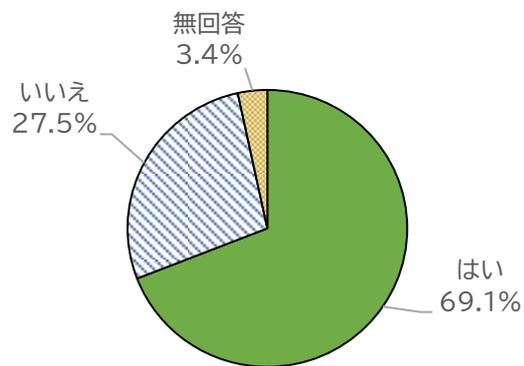
友人宅を訪ねているかは、社会的役割の低下を問う設問。「はい」と回答した場合を1点として、該当設問4問の合計点で社会的役割の低下を評価します。(4点:高い、3点:やや低い、2点以下:低い)

社会的役割の低下のチェック該当となる「はい」の割合は48.1%となっている。

(14) 相談にのっているか

① 家族や友人の相談にのっていますか(1つ)

【n=673】

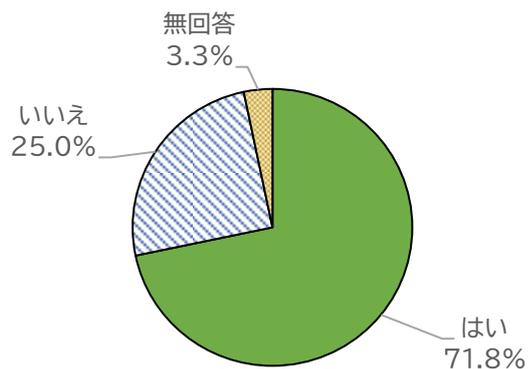


家族や友人の相談にのっているかは、社会的役割の低下を問う設問。
社会的役割の低下のチェック該当となる「はい」の割合は69.1%となっている。

(15) 病人の見舞いができるか

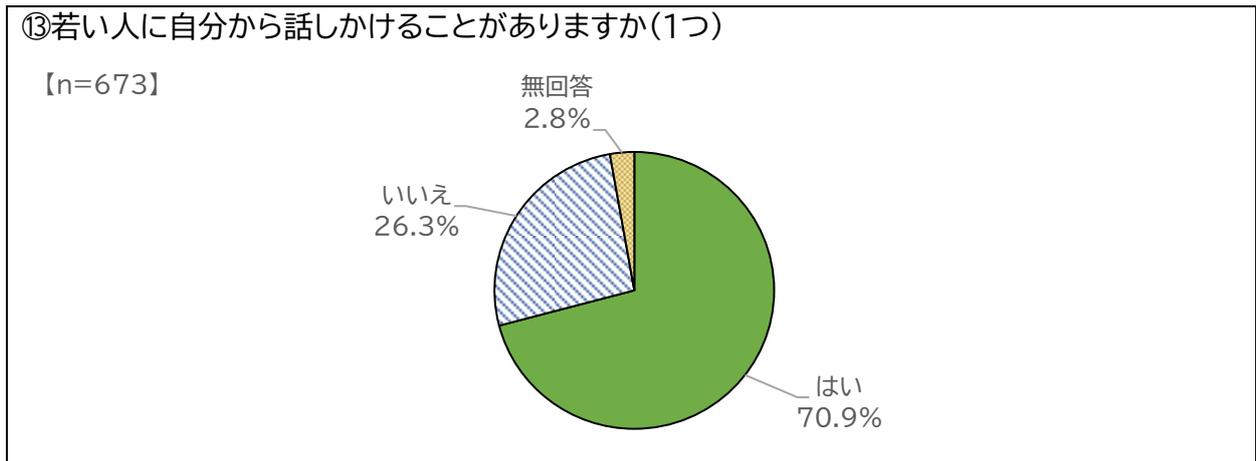
② 病人を見舞うことができますか(1つ)

【n=673】



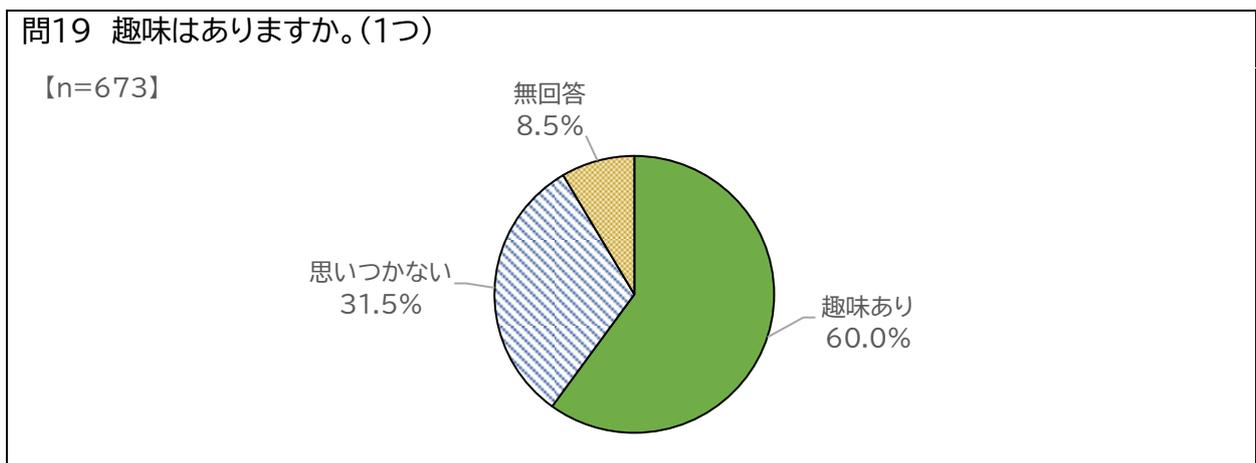
病人の見舞いができるかは、社会的役割の低下を問う設問。
社会的役割の低下のチェック該当となる「はい」の割合は71.8%となっている。

(16)若い人への話しかけ



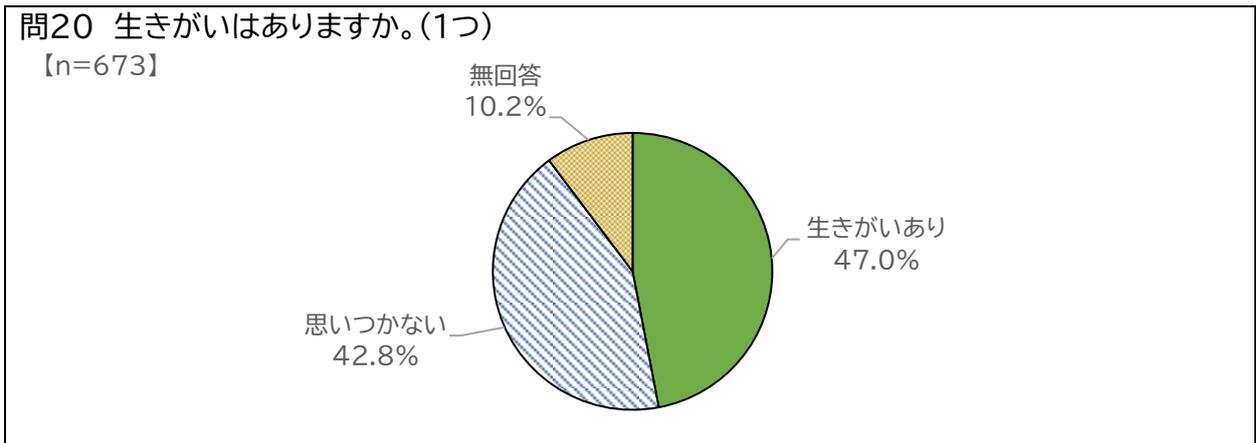
若い人に話しかけることがあるかは、社会的役割の低下を問う設問。
社会的役割低下のチェック該当となる「はい」の割合は70.9%となっている。

(17)趣味はあるか



趣味はあるかは、「趣味あり」が60.0%、「思いつかない」が31.5%となっている。
また、趣味がある方の具体的な内容では、「家庭菜園・ガーデニング」、「釣り」、「グラウンドゴルフ」、「読書」、「カラオケ」などの回答が多くあった。

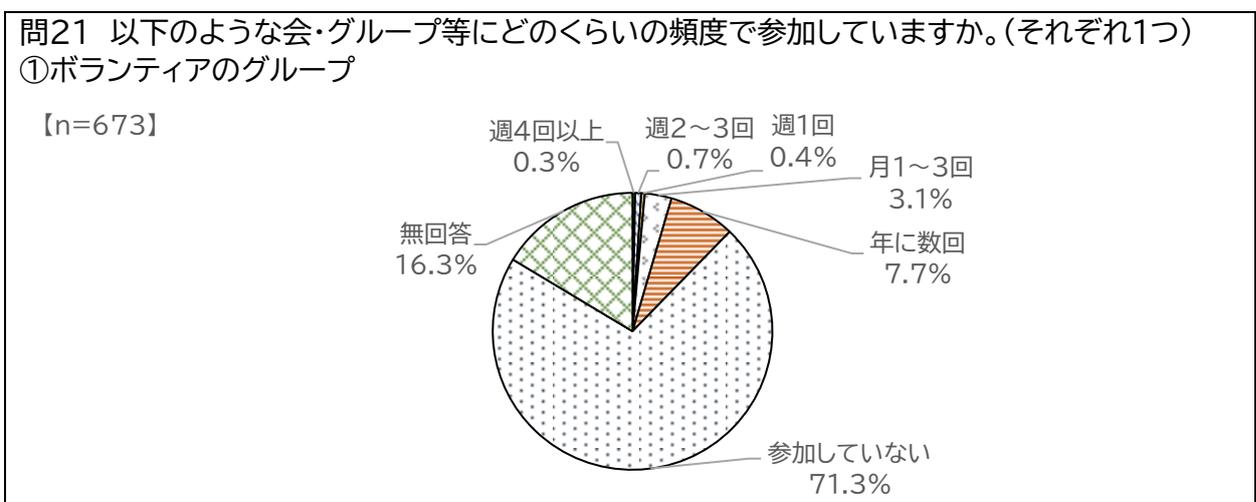
(18)生きがいはあるか



生きがいがあるかは、「生きがいあり」が47.0%、「思いつかない」が42.8%となっている。
また、生きがいがある方の具体的な内容では、「子ども・孫に会う」、「家庭菜園・ガーデニング」、「仕事」、「健康づくり」、「趣味」などの回答が多くあった。

5 地域での活動について

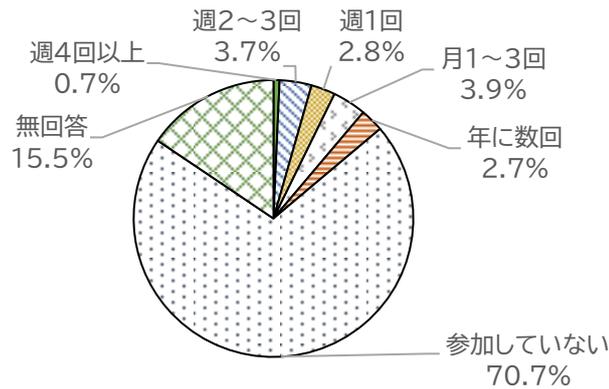
(1)会・グループへの参加状況



ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の12.2%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が7.7%で最も多くなっている。
また、71.3%は「参加していない」と回答している。

②スポーツ関係のグループやクラブ

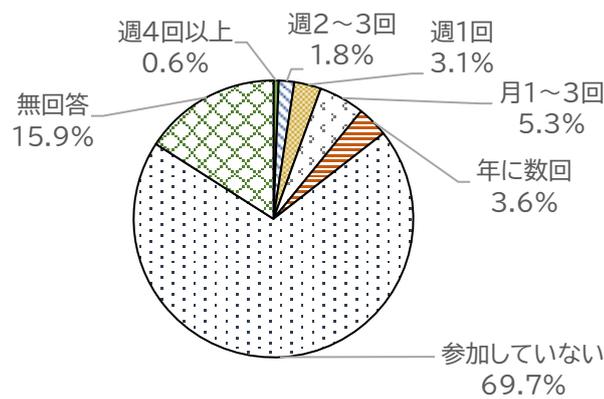
【n=673】



スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の13.8%が活動に参加しており、参加頻度としては「月1~3回」が3.9%で最も多くなっている。
また、70.7%は「参加していない」と回答している。

③趣味関係のグループ

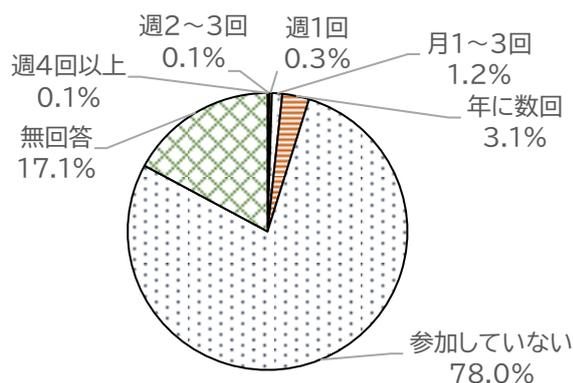
【n=673】



趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の14.4%が活動に参加しており、参加頻度としては「月に1~3回」が5.3%で最も多くなっている。
また、69.7%は「参加していない」と回答している。

④学習・教養サークル

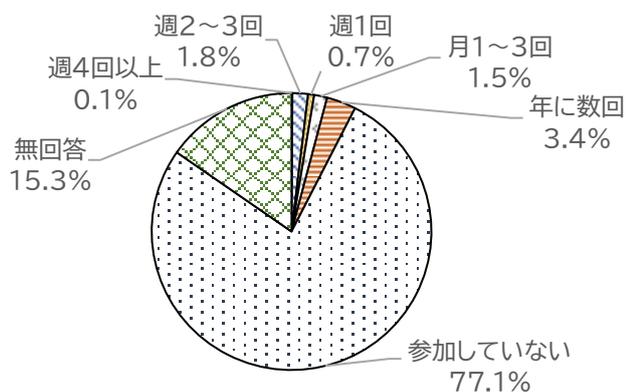
【n=673】



学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の4.8%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が3.1%で最も多くなっている。
また、78.0%は「参加していない」と回答している。

⑤サロンや介護予防教室など介護予防のための通いの場

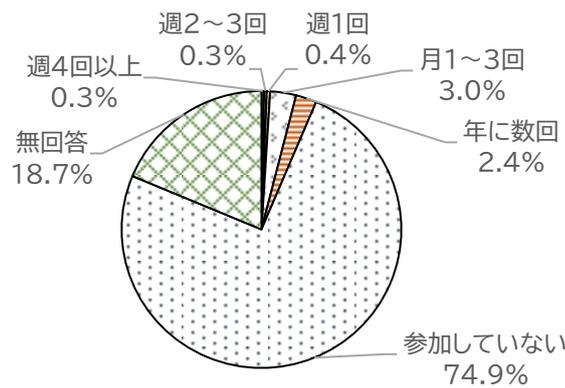
【n=673】



介護予防のための通いの場にどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の7.5%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が3.4%で最も多くなっている。
また、77.1%は「参加していない」と回答している。

⑥老人クラブ

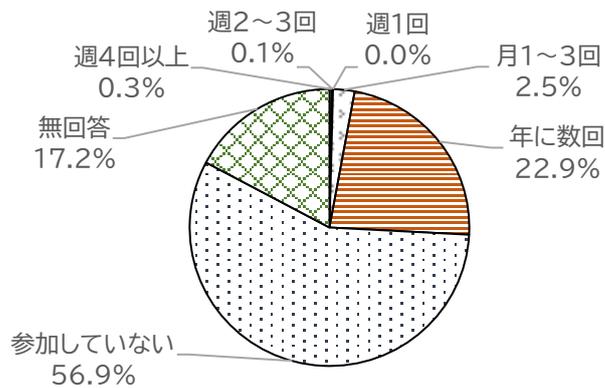
【n=673】



老人クラブにどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の6.4%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が2.4%で最も多くなっている。
また、74.9%は「参加していない」と回答している。

⑦町内会・自治会

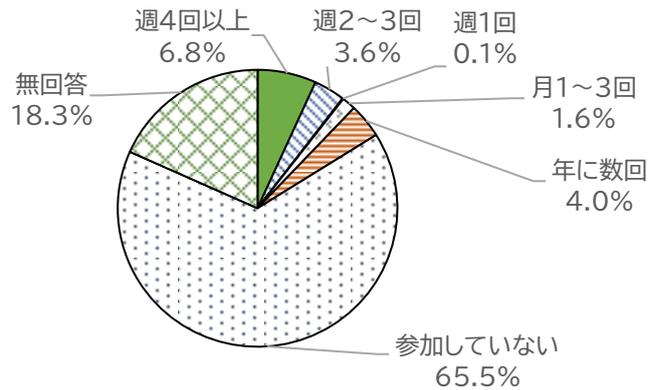
【n=673】



町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の25.8%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が22.9%で最も多くなっている。
また、56.9%は「参加していない」と回答している。

⑧収入のある仕事

【n=673】



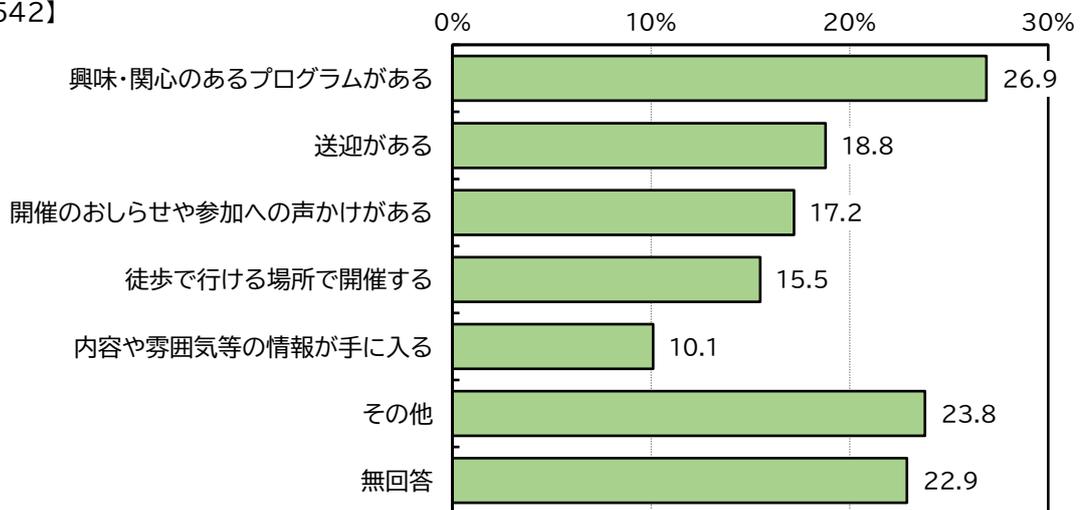
収入のある仕事にどのくらいの頻度で参加しているかは、全体の16.1%が活動に参加しており、参加頻度としては「週4回以上」が6.8%で最も多くなっている。
また、65.5%は「参加していない」と回答している。

(2)介護予防のための通いの場への参加条件

問22 問21⑤「サロンや介護予防教室など介護予防のための通いの場」で「5. 年に数回」「6. 参加していない」とお答えの方にお聞きます。

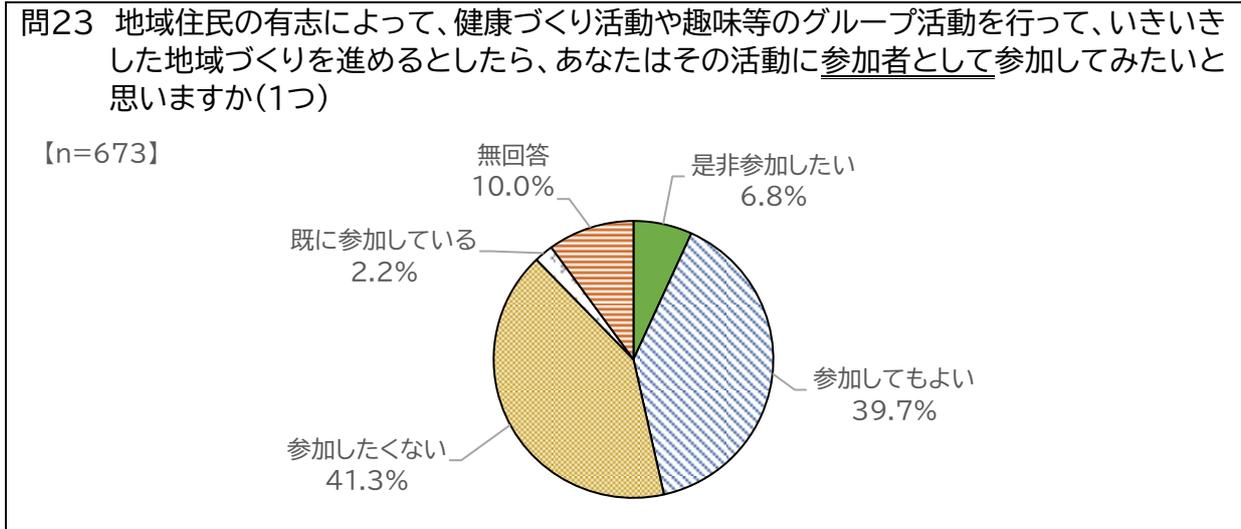
どのような条件が整えば、参加してみたいと思いますか。(いくつでも)

【n=542】



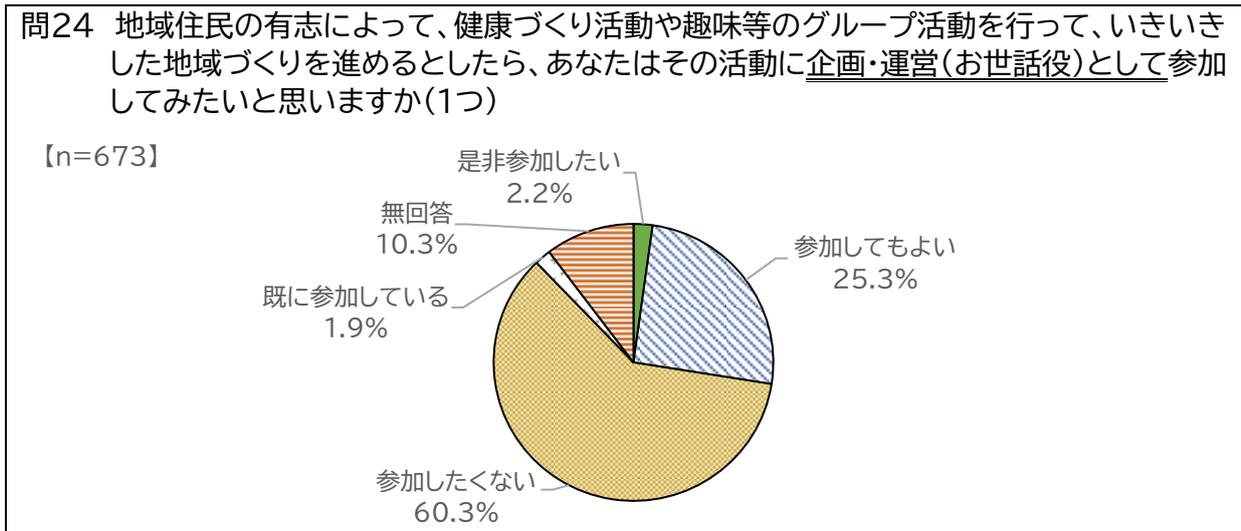
問21⑤「サロンや介護予防教室など介護予防のための通いの場」で「5. 年に数回」「6. 参加していない」と回答した542人に、どのような条件が整えば参加してみたいか尋ねると、「興味・関心のあるプログラムがある」が26.9%と最も多く、次いで「送迎がある」(18.8%)、「開催のおしらせや参加への声かけがある」(17.2%)、「徒歩で行ける場所で開催する」(15.5%)、「内容や雰囲気等の情報が手に入る」(10.1%)となっている。

(3) 地域活動への参加者としての参加希望



地域住民による活動に参加者として参加してみたいかは、「是非参加したい」(6.8%)、「参加してもよい」(39.7%)を合わせると、46.5%に参加意向がある。

(4) 地域活動への企画・運営者としての参加希望



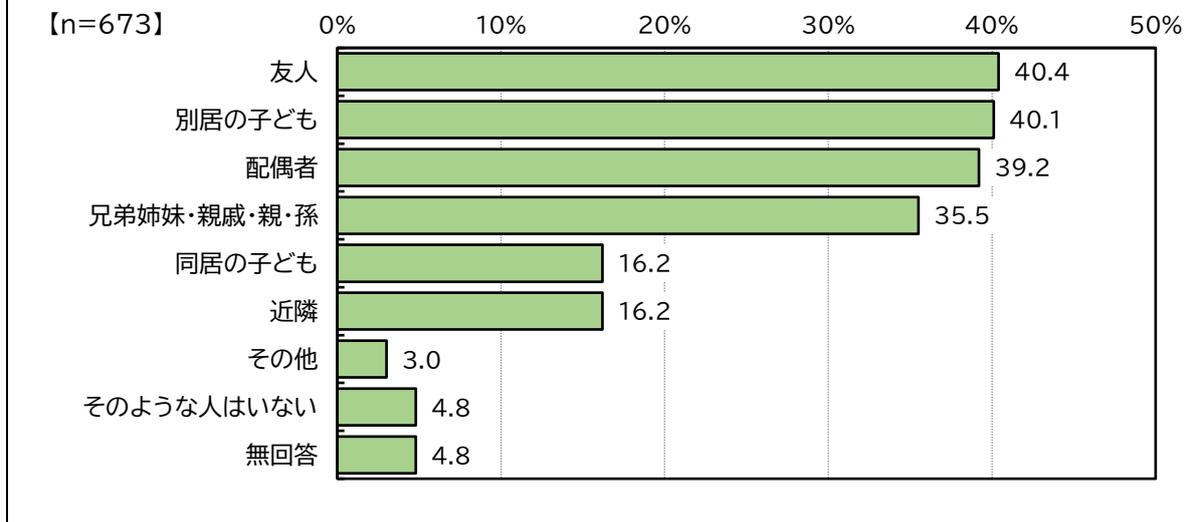
地域住民による活動に企画・運営者として参加してみたいかは、「是非参加したい」(2.2%)、「参加してもよい」(25.3%)を合わせると、27.5%に参加意向がある。

6 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問25 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてうかがいます。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

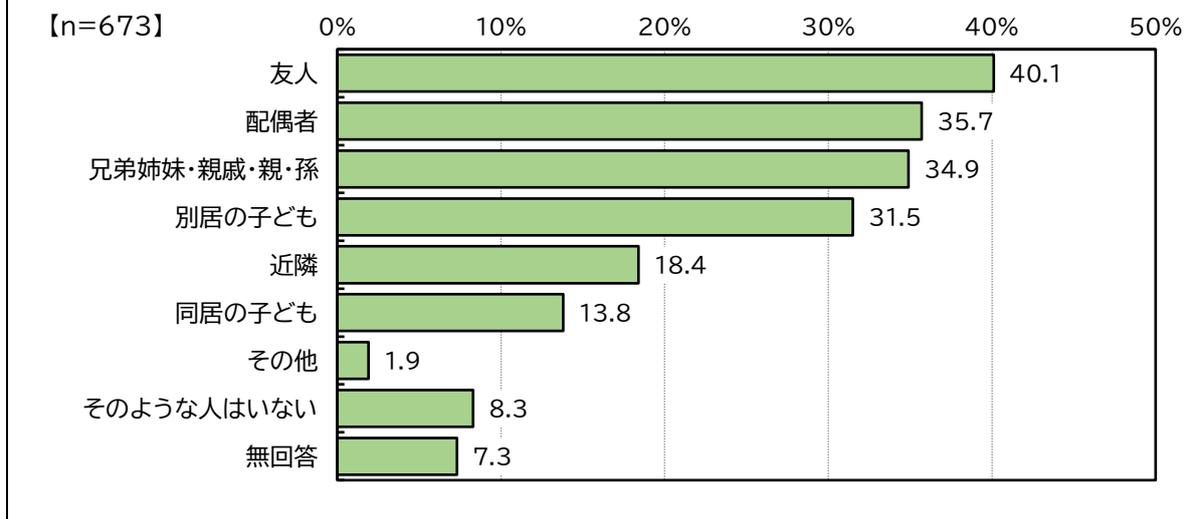


心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「友人」が40.4%と最も多く、次いで「別居の子ども」(40.1%)、「配偶者」(39.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(35.5%)と続いている。

また、4.8%は「そのような人はいない」と回答している。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

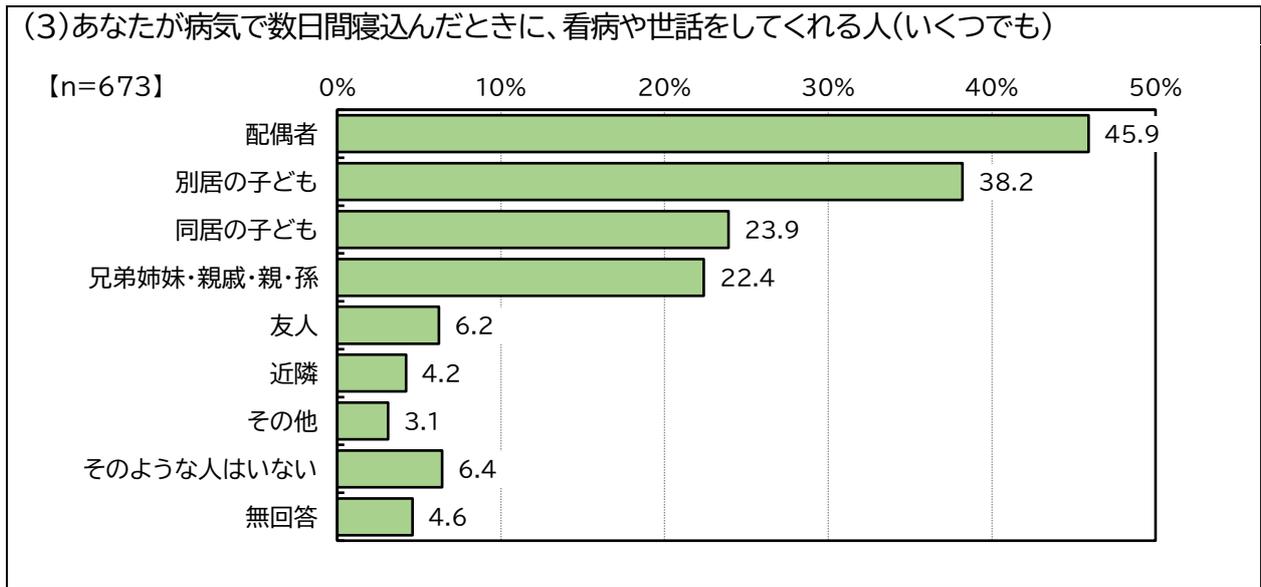
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)



反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「友人」が40.1%と最も多く、次いで「配偶者」(35.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.9%)、「別居の子ども」(31.5%)と続いている。

また、8.3%は「そのような人はいない」と回答している。

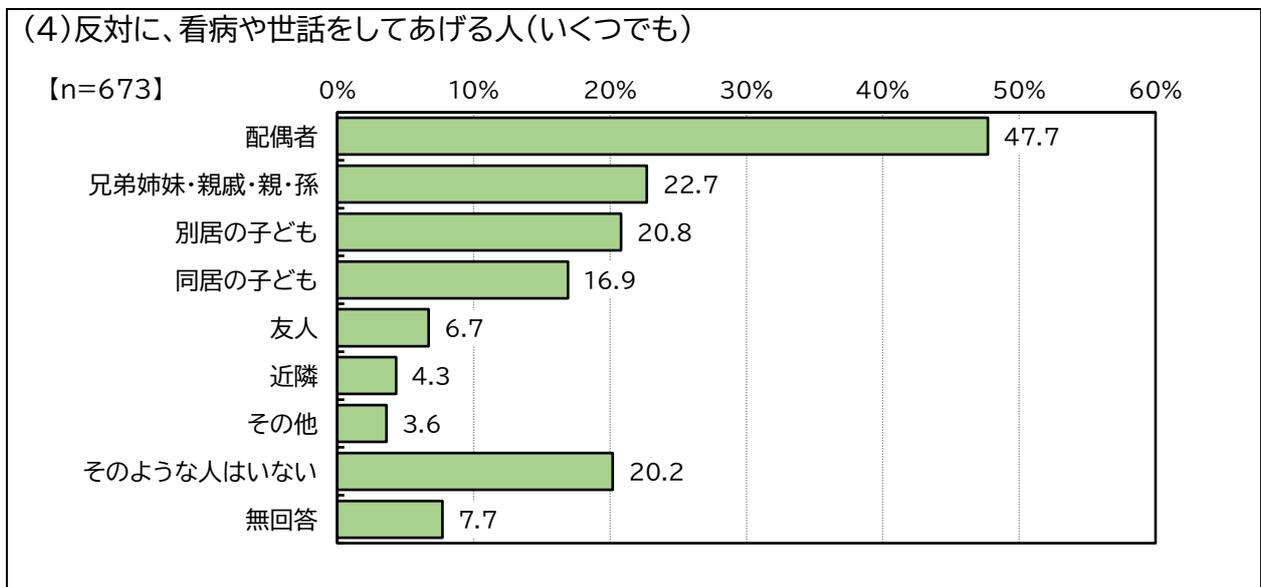
(3)看病や世話をしてくれる人



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が45.9%と最も多く、次いで「別居の子ども」(38.2%)、「同居の子ども」(23.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(22.4%)と続いている。

また、6.4%は「そのような人はいない」と回答している。

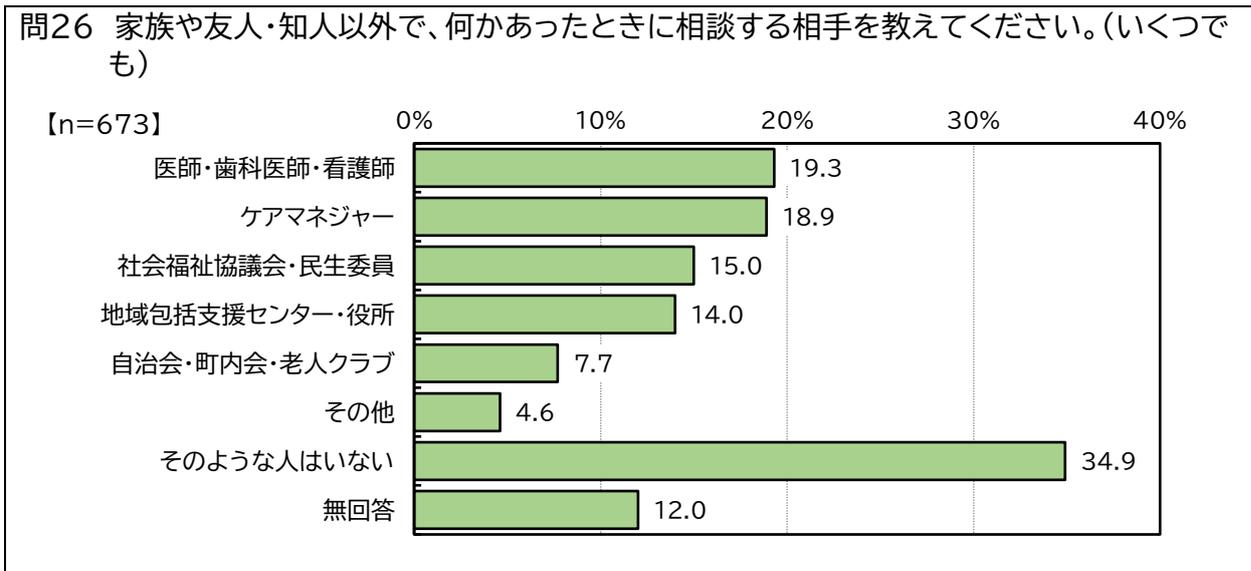
(4)看病や世話をしてあげる人



反対に、看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が47.7%と最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(22.7%)、「別居の子ども」(20.8%)、「同居の子ども」(16.9%)と続いている。

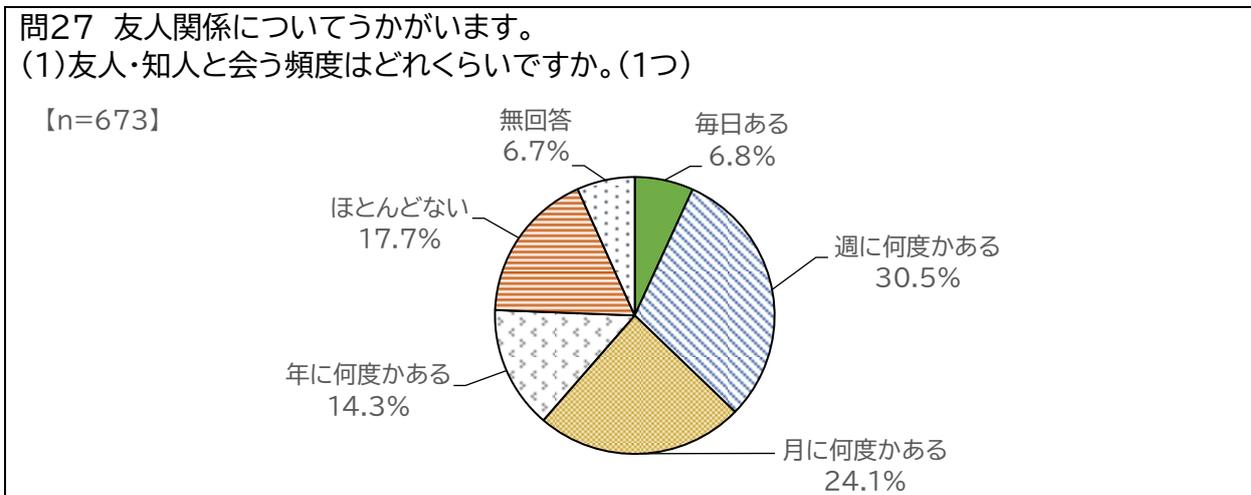
また、20.2%は「そのような人はいない」と回答している。

(5) 相談相手



家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「医師・歯科医師・看護師」が19.3%と最も多く、次いで「ケアマネジャー」(18.9%)、「社会福祉協議会・民生委員」(15.0%)、「地域包括支援センター・役所」(14.0%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(7.7%)と続いている。また、34.9%が「そのような人はいない」と回答している。

(6) 友人・知人と会う頻度



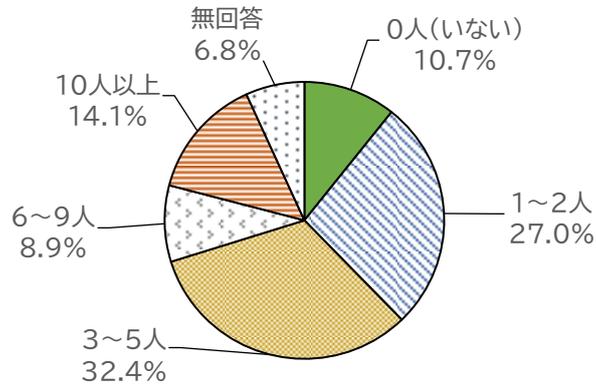
友人・知人と会う頻度については、友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」が30.5%と最も多く、次いで「月に何度かある」(24.1%)、「年に何度かある」(14.3%)、「毎日ある」(6.8%)と続いている。

また、17.7%が「ほとんどない」と回答している。

(7)1か月間に会った友人・知人の数

(2)この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つ)

【n=673】

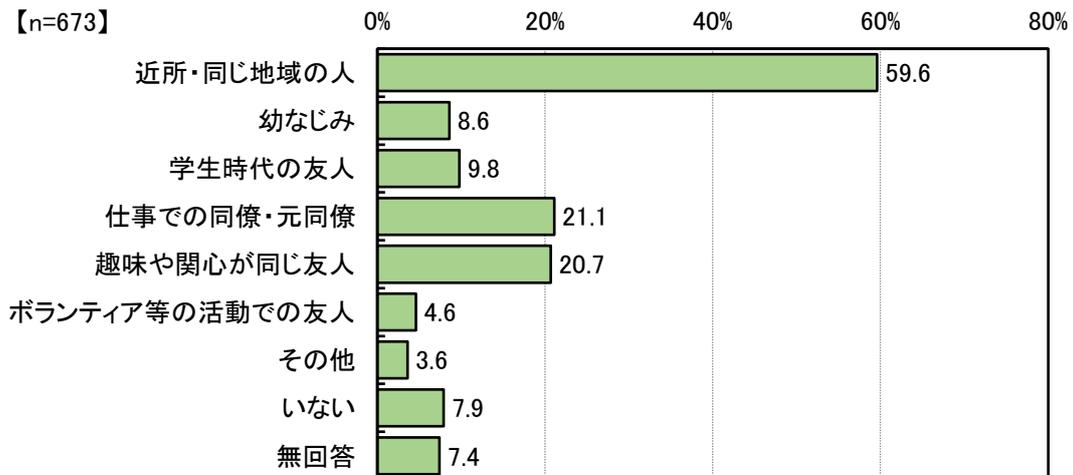


この1か月間、何人の友人・知人と会ったかは、「3~5人」が32.4%と最も多く、次いで「1~2人」(27.0%)、「10人以上」(14.1%)、「0人(いない)」(10.7%)、「6~9人」(8.9%)と続いている。

(8)よく会う友人・知人との関係

(3)よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

【n=673】



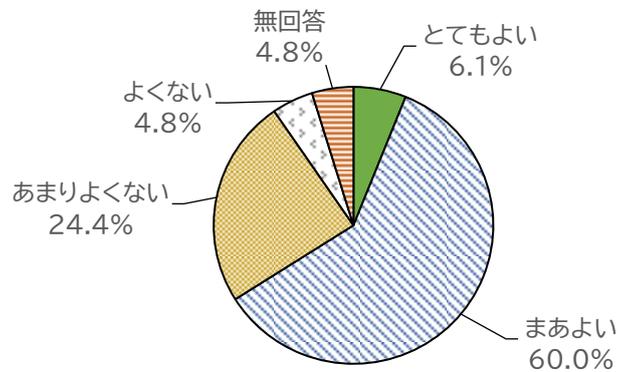
「近所・同じ地域の人」が59.6%と最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」(21.1%)、「趣味や関心が同じ友人」(20.7%)、「学生時代の友人」(9.8%)、「幼なじみ」(8.6%)と続いている。

7 健康について

(1)主観的健康感

問28 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つ)

【n=673】



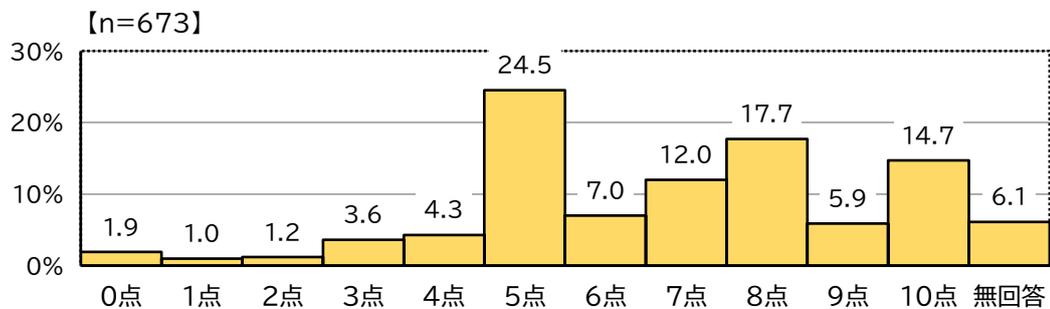
現在の健康状態は、「とてもよい」(6.1%)、「まあよい」(60.0%)を合わせると、66.1%が健康状態はよいと回答している。

また、「よくない」(4.8%)、「あまりよくない」(24.4%)を合わせると、29.2%が健康状態はよくないと回答している。

(2)主観的幸福感

問29 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つ)

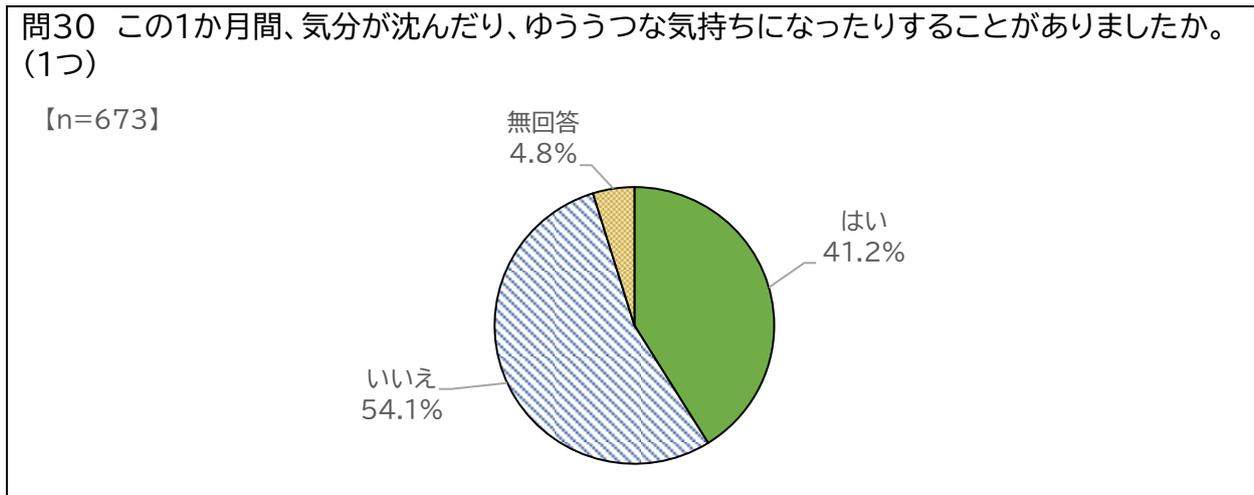
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



現在どの程度幸せかは、ちょうど中間にあたる「5点」が24.5%と最も多く、次いで「8点」が17.7%、「10点」が14.7%と続いている、5点以上の回答が8割以上を占めている。

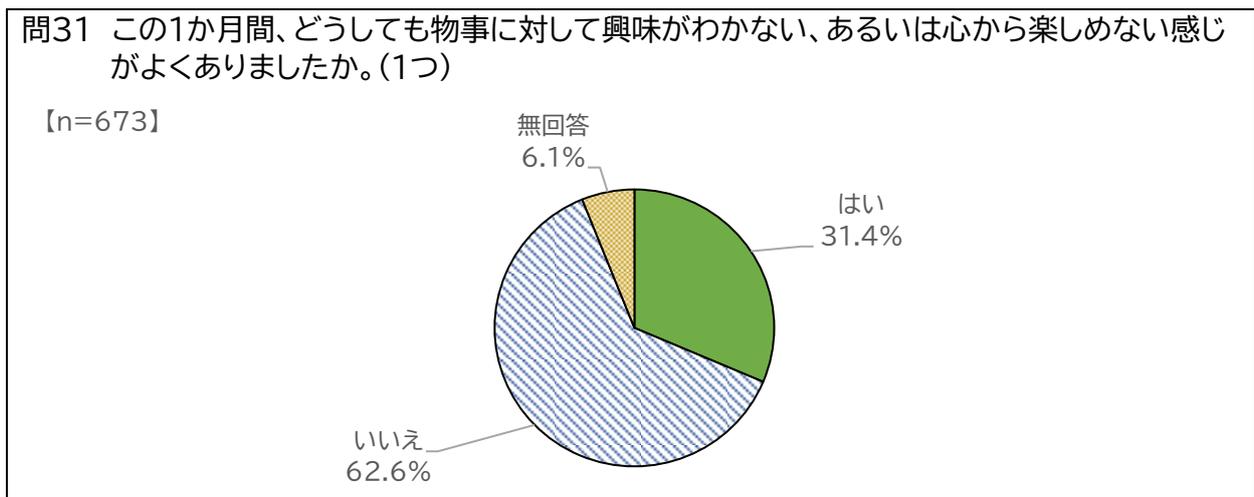
なお、平均は、6.6点となっている。

(3)最近1か月間の気分の状態



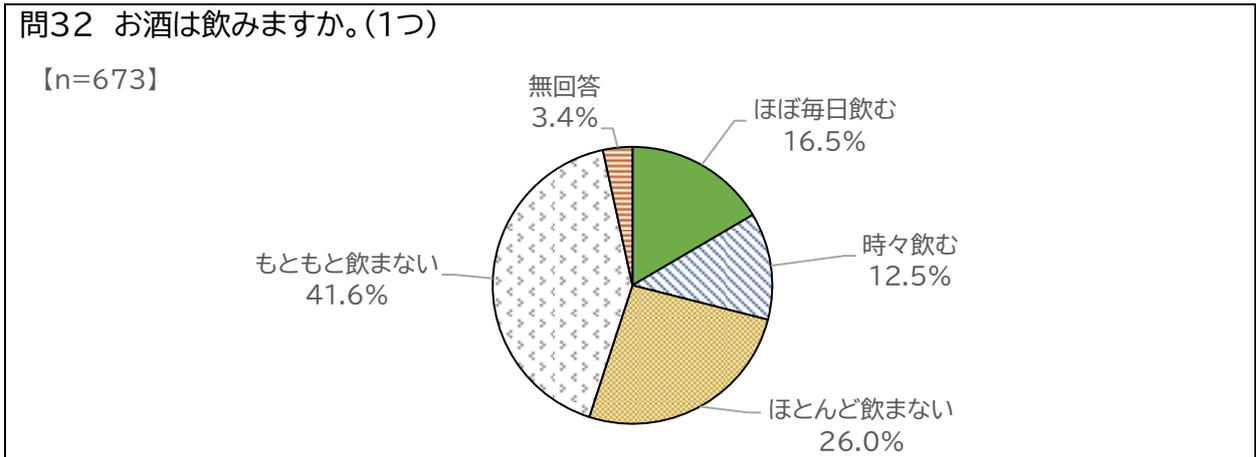
気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかは、うつ傾向を問う設問です。該当設問2問のうちいずれかに該当するとうつ傾向と判定されます。うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は41.2%となっている。

(4)最近1か月間の物事に対する心の状態



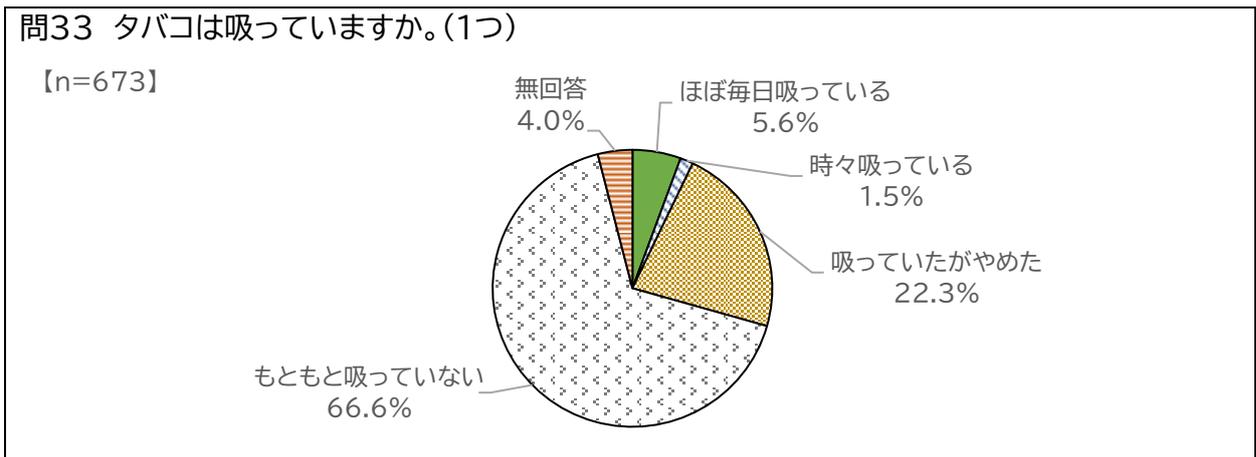
物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがあったかは、うつ傾向を問う設問です。うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は31.4%となっている。

(5) 飲酒の状況



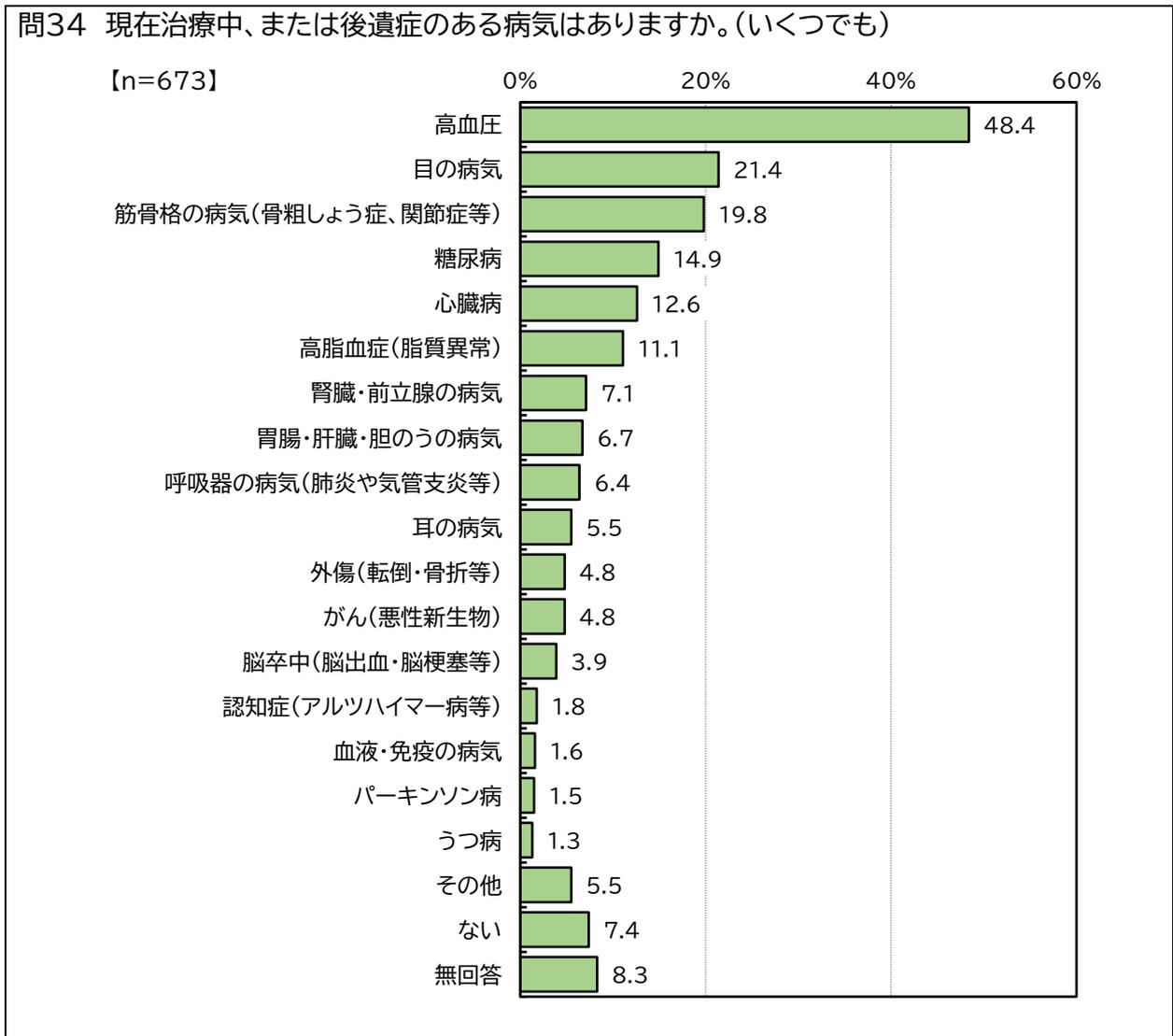
飲酒については、「もともと飲まない」が41.6%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」(26.0%)、「ほぼ毎日飲む」(16.5%)、「時々飲む」(12.5%)となっている。

(6) 喫煙の状況



喫煙については、「もともと吸っていない」が66.6%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(22.3%)、「ほぼ毎日吸っている」(5.6%)、「時々吸っている」(1.5%)となっている。

(7)治療中の病気



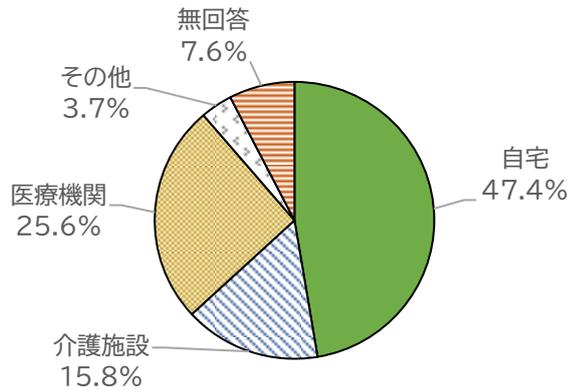
現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が48.4%と最も多く、次いで「目の病気」(21.4%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(19.8%)、「糖尿病」(14.9%)、「心臓病」(12.6%)と続いている。

また、7.4%は「ない」と回答している。

(8)どこで最期を迎えたいか

問35 将来の話として、どこで最後を迎えることを希望しますか。(1つ)

【n=673】



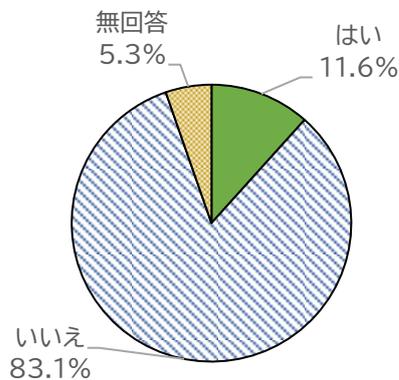
将来の話として、どこで最後を迎えたいかは「自宅」が47.4%と最も多く、次いで「医療機関」(25.6%)、「介護施設」(15.8%)となっている。

8 認知症や認知症にかかる相談窓口の把握について

(1)認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

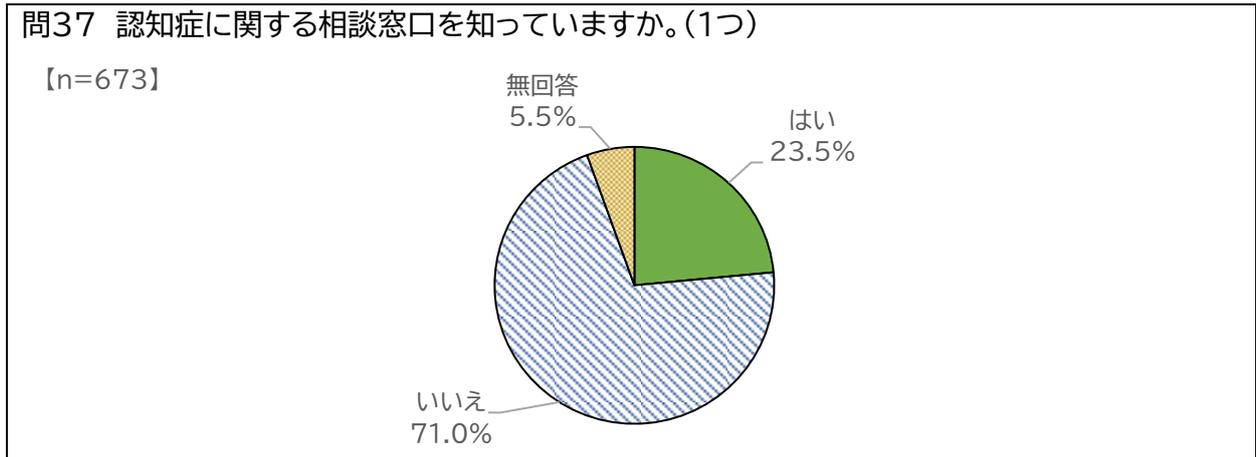
問36 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つ)

【n=673】



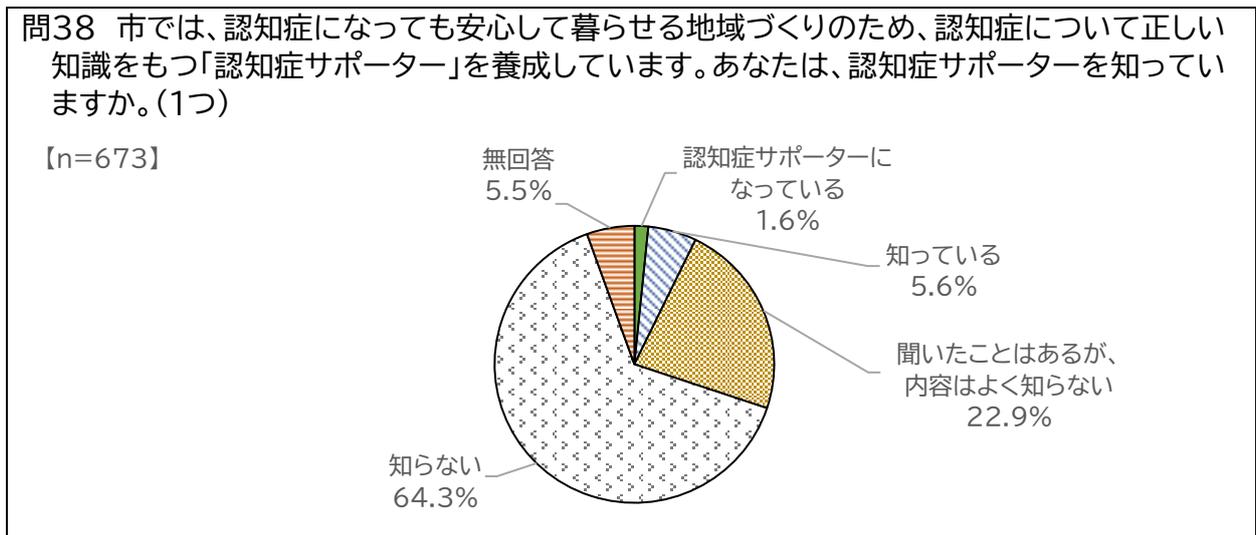
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかは、「はい」が11.6%、「いいえ」が83.1%となっている。

(2) 認知症に関する相談窓口の認知度



認知症に関する相談窓口を知っているかは、「はい」が23.5%、「いいえ」が71.0%となっている。

(3) 認知症サポーターについて

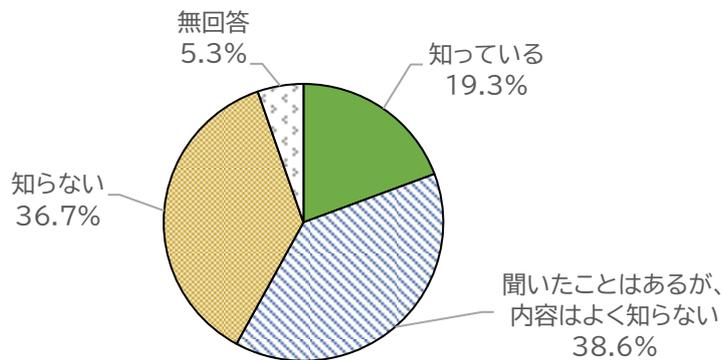


認知症サポーターを知っているかは、「知らない」が64.3%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(22.9%)、「知っている」(5.6%)、「認知症サポーターになっている」(1.6%)となっている。

(4)成年後見制度について

問39 認知症等により財産管理に不安がある方々を法的に保護し支援する「成年後見制度」を知っていますか。(1つ)

【n=673】



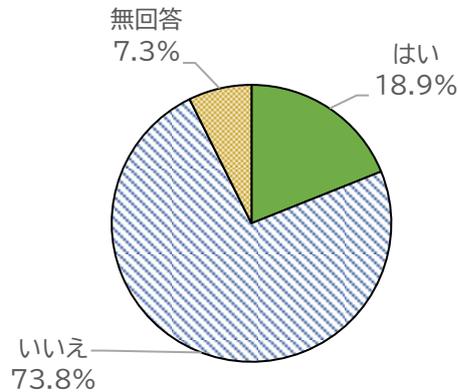
成年後見制度を知っているかは、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が38.6%と最も多く、次いで「知らない」(36.7%)、「知っている」(19.3%)となっている。

9 介護保険について

(1)介護保険・総合事業のサービス利用状況

問40 現在介護保険のサービスまたは総合事業のサービスを利用していますか。(1つ)

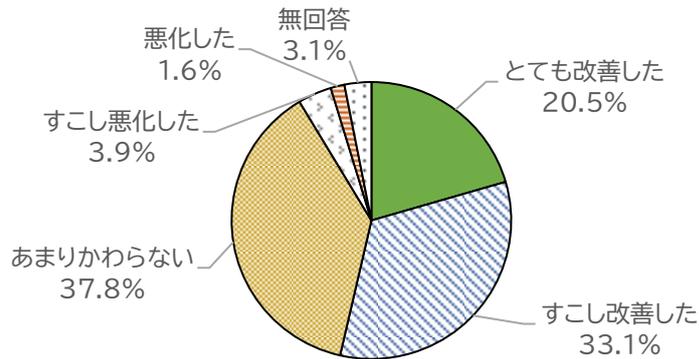
【n=673】



現在介護保険のサービスまたは総合事業のサービスを利用しているかは、「はい」が18.9%と、「いいえ」が73.8%となっている。

問40-1 問40で「1. はい」と答えた方にお聞きします。
 サービスを利用する前と現在とでは、健康状態に変化がありましたか。(1つ)

【n=127】



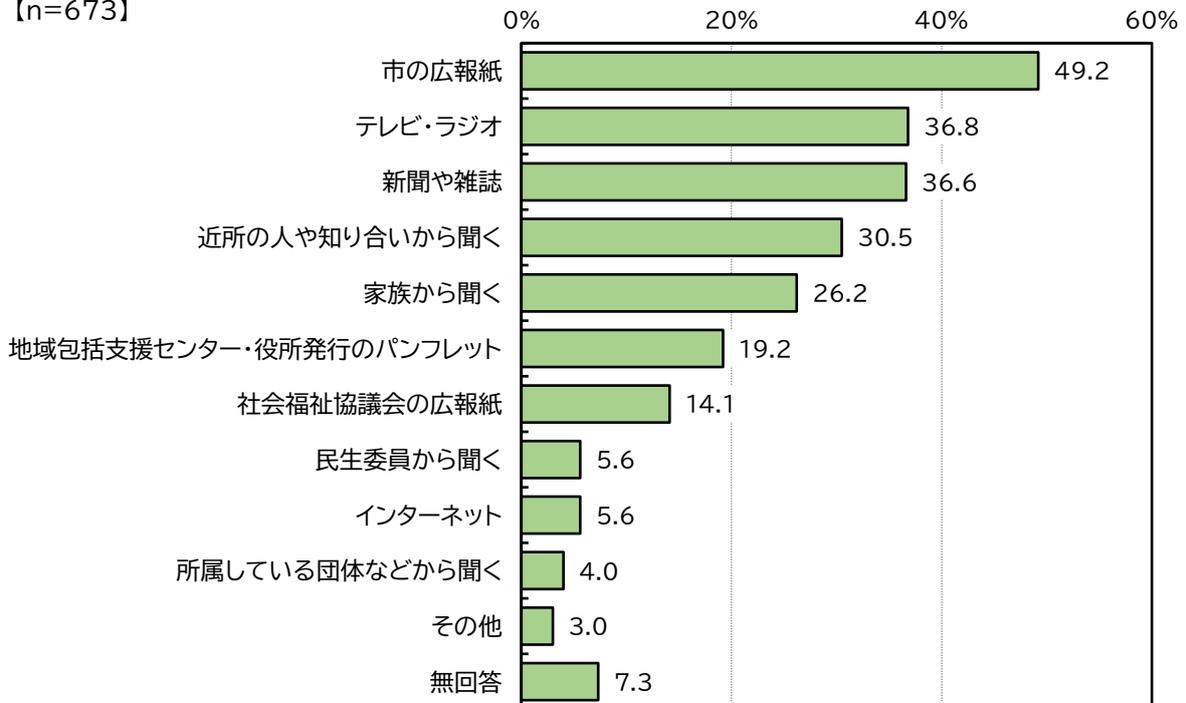
問40で「1. はい」と回答した127人に、利用する前と現在とで健康状態に変化があったか尋ねると、「あまりかわらない」が37.8%と最も多く、次いで「すこし改善した」(33.1%)、「とても改善した」(20.5%)、「すこし悪化した」(3.9%)、「悪化した」(1.6%)となっている。

10 高齢者福祉について

(1) 高齢者福祉に関する情報源

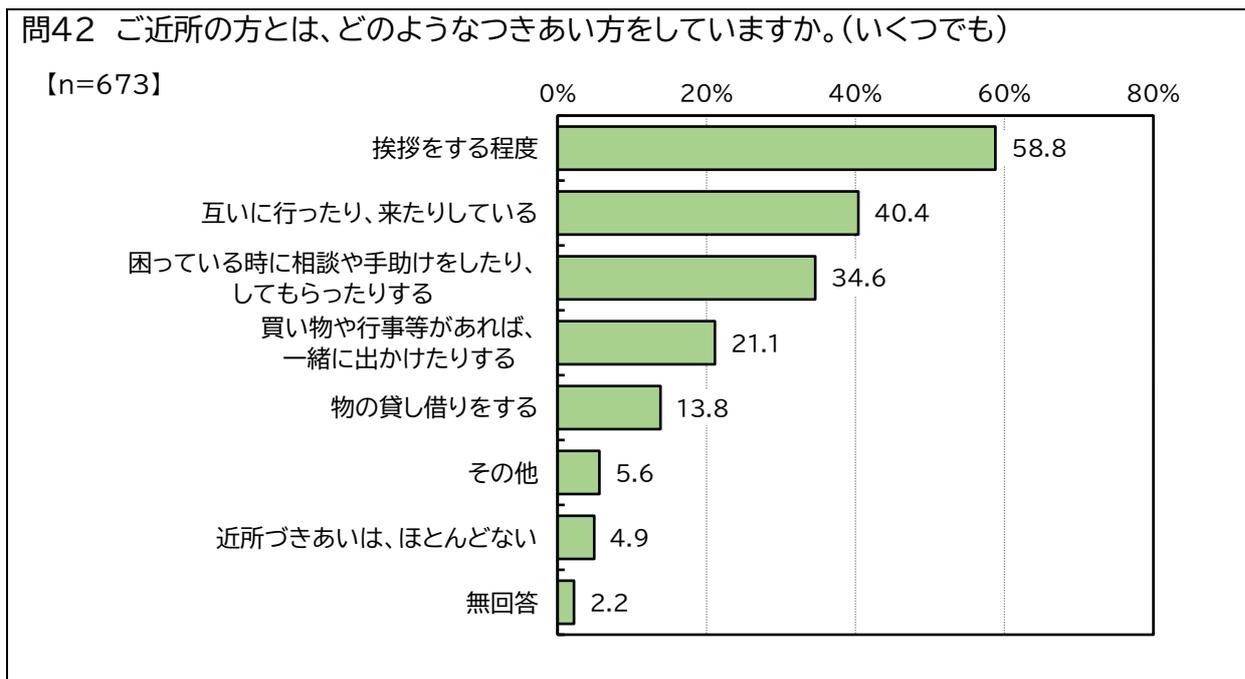
問41 あなたは高齢者福祉について、いろいろな情報や知識をどのように得ていますか。(いくつでも)

【n=673】



高齢者福祉に関する情報や知識をどのように得ているかは、「市の広報紙」が49.2%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」(36.8%)、「新聞や雑誌」(36.6%)、「近所の人や知り合いから聞く」(30.5%)、「家族から聞く」(26.2%)と続いている。

(2)ご近所とのつきあい方



ご近所の方と、どのようなつきあい方をしているかは、「挨拶をする程度」が58.8%と最も多く、次いで「互に行ったり、来たりしている」(40.4%)、「困っている時に相談や手助けをしたり、してもらったりする」(34.6%)、「買い物や行事等があれば、一緒に出かけたりする」(21.1%)、「物の貸し借りをする」(13.8%)と続いている。

11 リスク分析

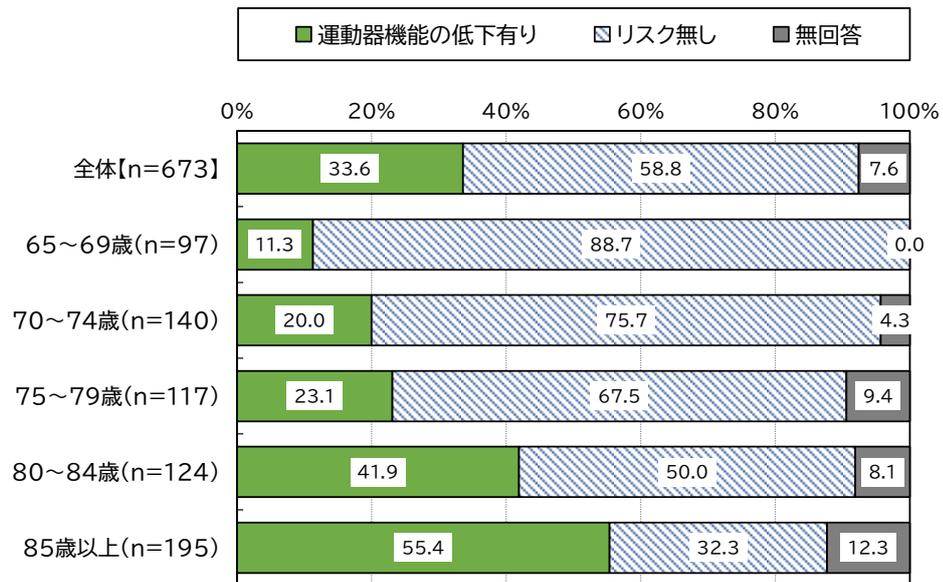
(1)運動器機能の低下

【リスク判定方法】

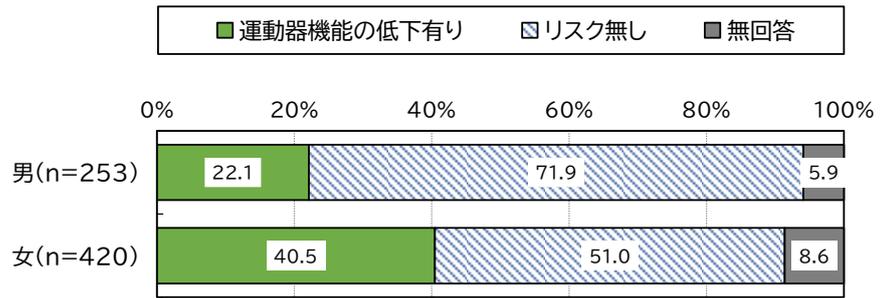
下記の設問で3問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. <u>できない</u>
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. <u>できない</u>
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. <u>できない</u>
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. <u>何度もある</u> 2. <u>1度ある</u> 3. ない
転倒に対する不安は大きいですか	1. <u>とても不安である</u> 2. <u>やや不安である</u> 3. あまり不安でない 4. 不安でない

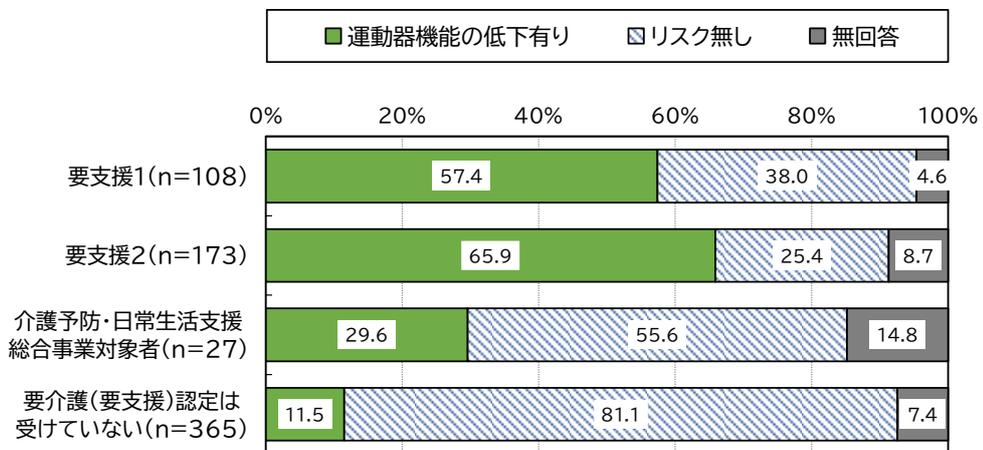
■年齢別運動器機能の低下状況



■男女別運動器機能の低下状況



■認定状況別運動器機能の低下状況



運動器の機能低下状況は、全体の33.6%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれて該当者が多くなる傾向となっており、85歳以上の55.4%が該当者となっている。

男女別では、「男」の22.1%、「女」の40.5%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「要支援2」の65.9%、「要支援1」の57.4%が該当者となっている。

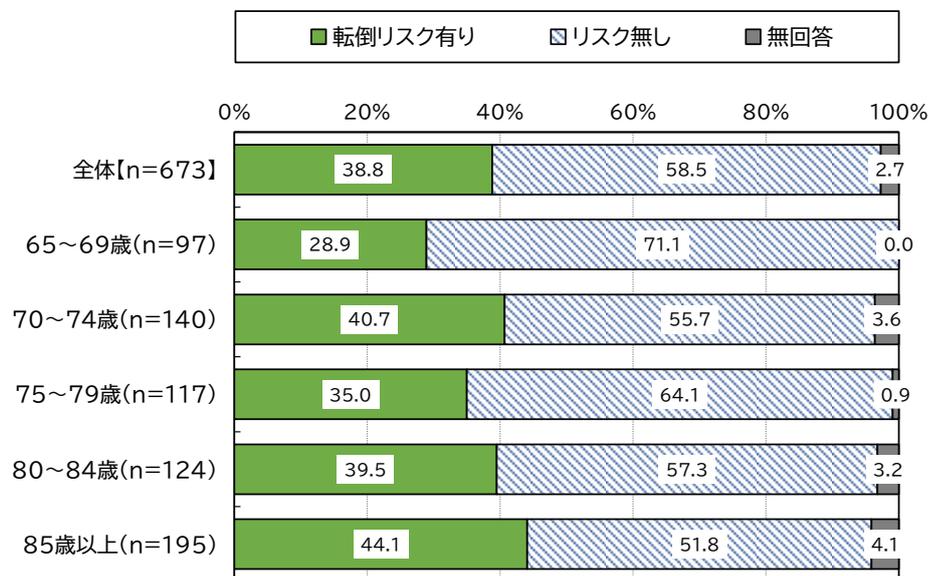
(2) 転倒リスク

【リスク判定方法】

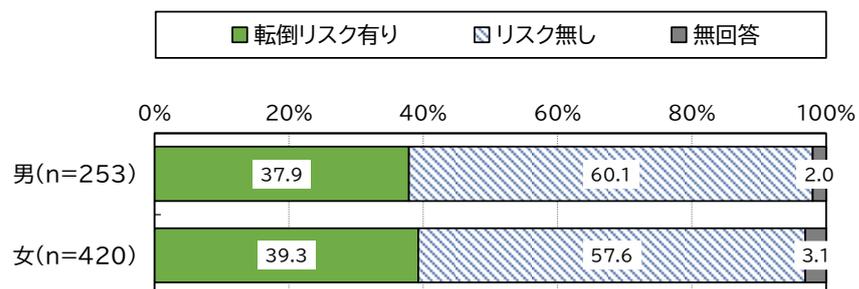
下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

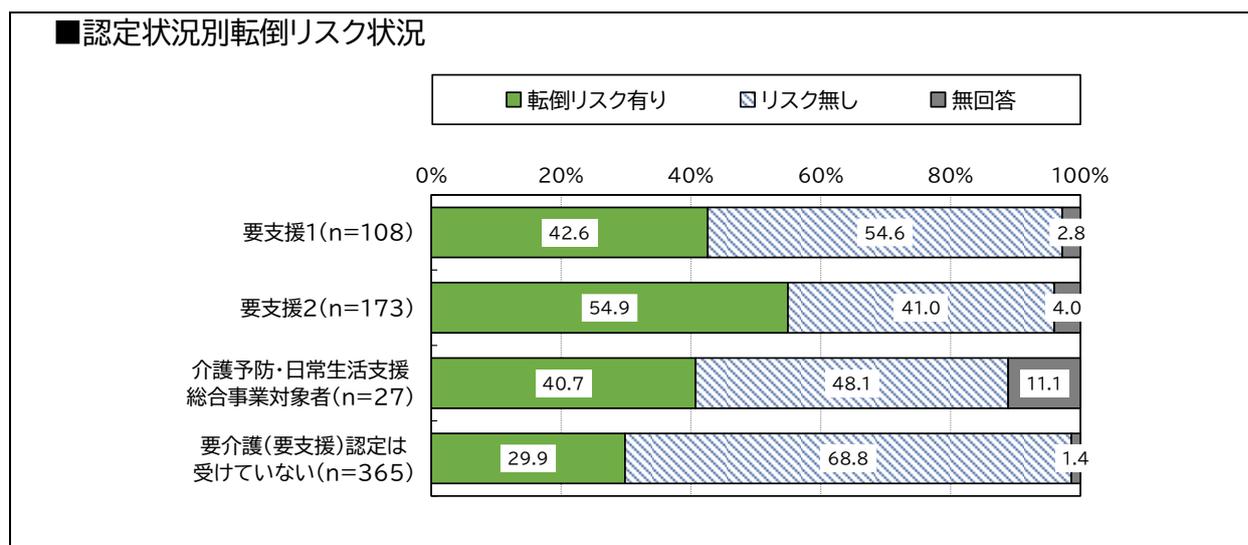
設問内容	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

■ 年齢別転倒リスク状況



■ 男女別転倒リスク状況





転倒リスク状況は、全体の38.8%が該当者となっている。

年齢別では、85歳以上に該当者が多く、4割以上が該当者となっている。

男女別では、「男」の37.9%、「女」の39.3%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「要支援2」の54.9%、「要支援1」の42.6%が該当者となっている。

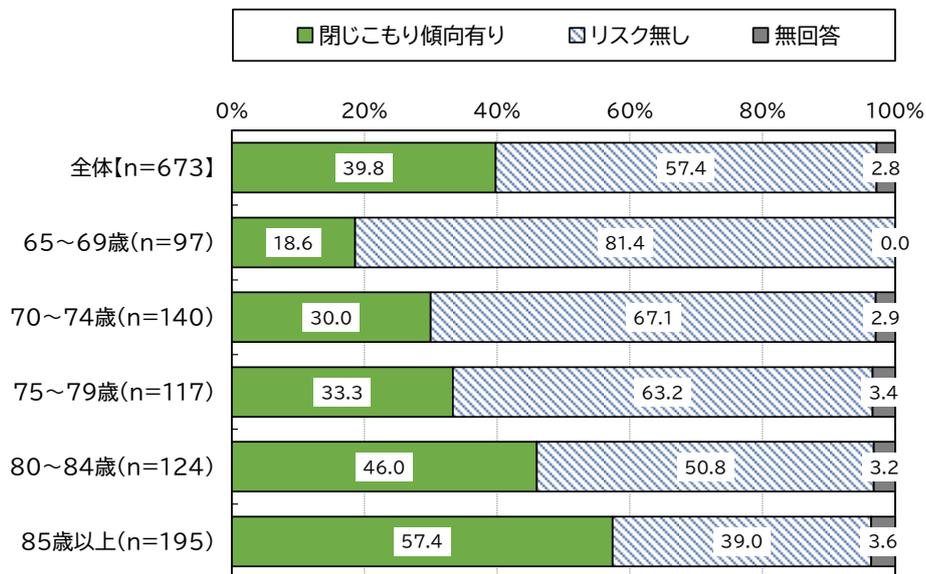
(3)閉じこもり傾向

【リスク判定方法】

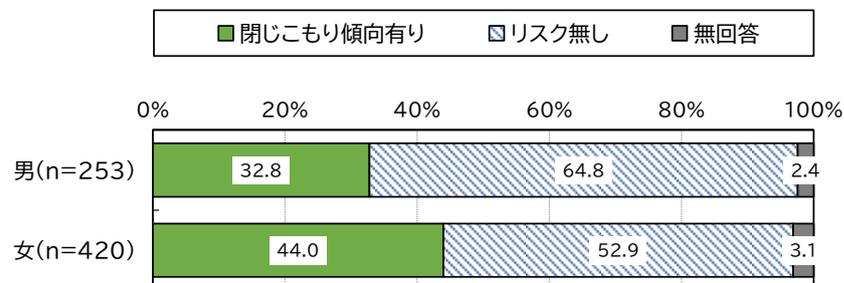
下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

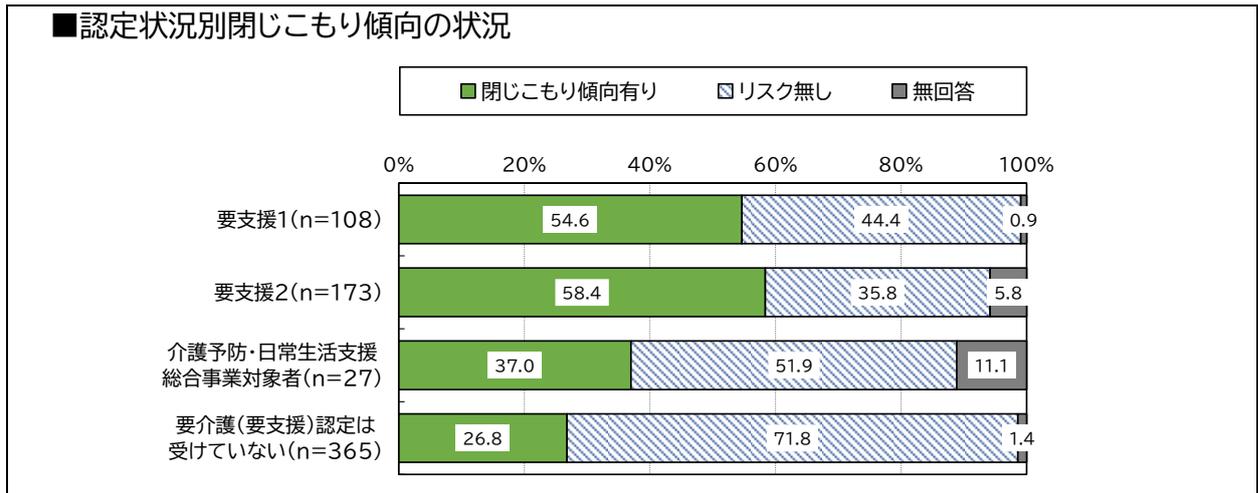
設問内容	選択肢
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない
	2. 週1回
	3. 週2~4回
	4. 週5回以上

■年齢別閉じこもり傾向の状況



■男女別閉じこもり傾向の状況





閉じこもり傾向は、全体の39.8%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれて該当者が多くなる傾向となっており、85歳以上の57.4%が該当者となっている。

男女別では、「男」の32.8%、「女」の44.0%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「要支援2」の58.4%、「要支援1」の54.6%が該当者となっている。

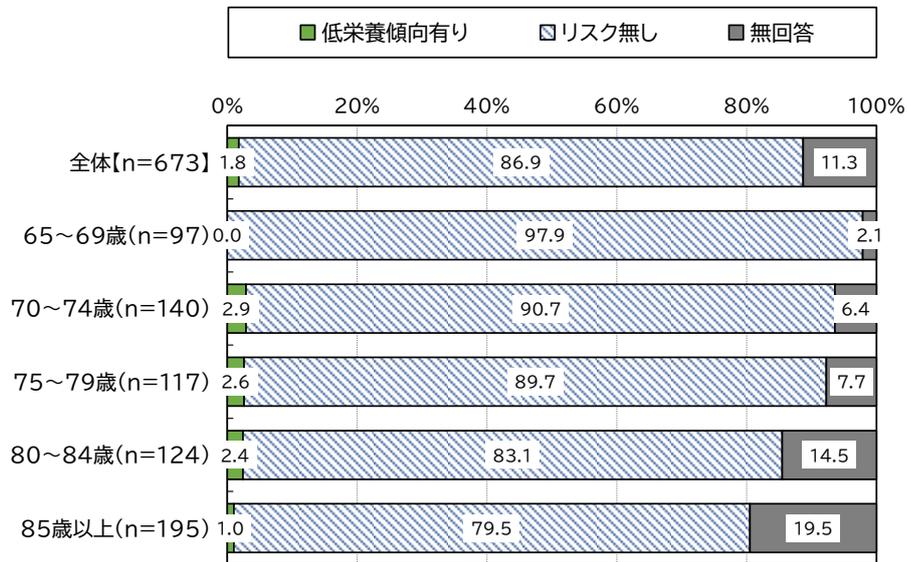
(4)低栄養傾向

【リスク判定方法】

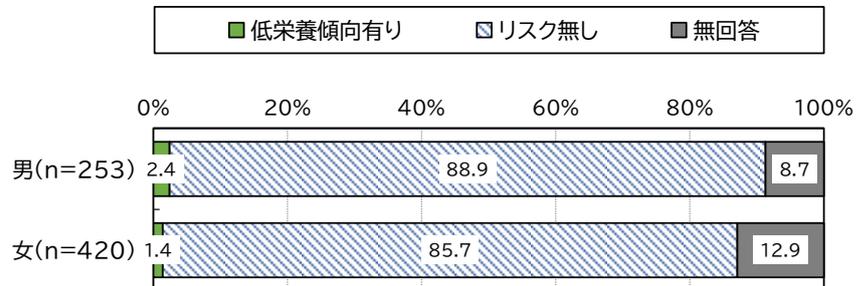
下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

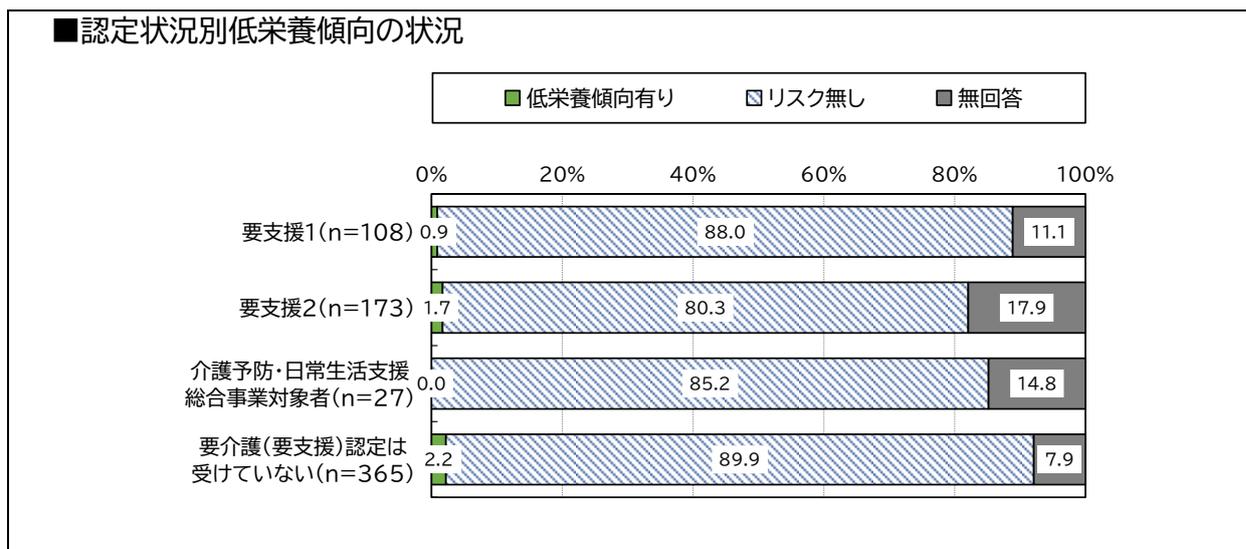
設問内容	選択肢
身長・体重	身長・体重から算出される BMI(体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)})が 18.5 以下の場合、低栄養が疑われる
6ヶ月間で2~3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ

■年齢別低栄養傾向の状況



■男女別低栄養傾向の状況





低栄養傾向の状況は、全体の1.8%が該当者となっている。

年齢別では、70～74歳の2.9%が該当者となっている。

男女別では、「男」の2.4%、「女」の1.4%が該当者となっており、男性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「要介護(要支援)認定は受けていない」の2.2%、「要支援2」の1.7%が該当者となっている。

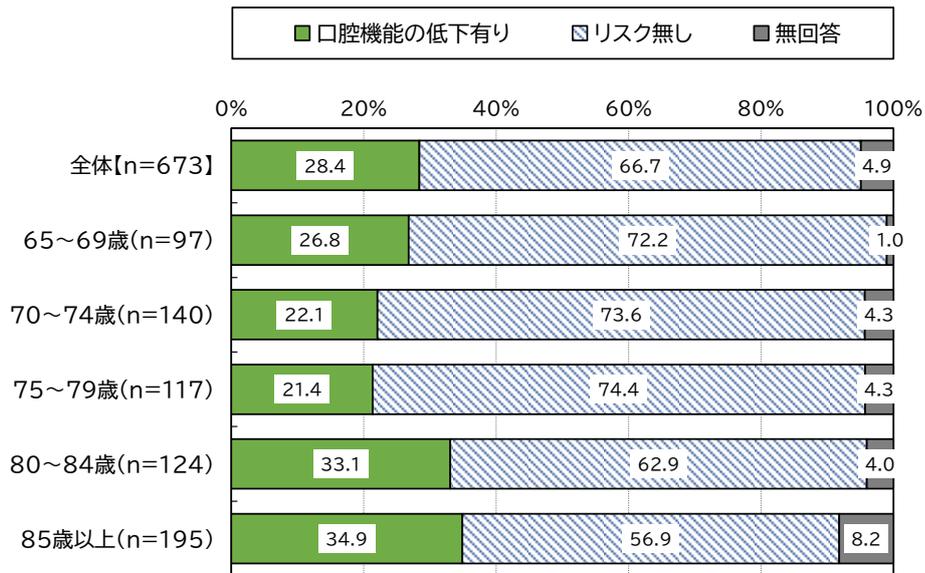
(5) 口腔機能の低下

【リスク判定方法】

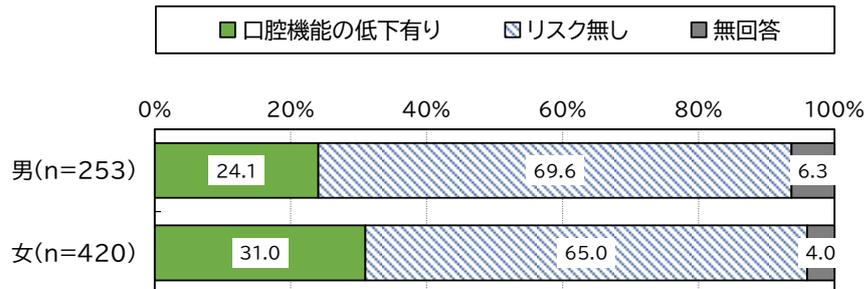
下記の設問で2問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

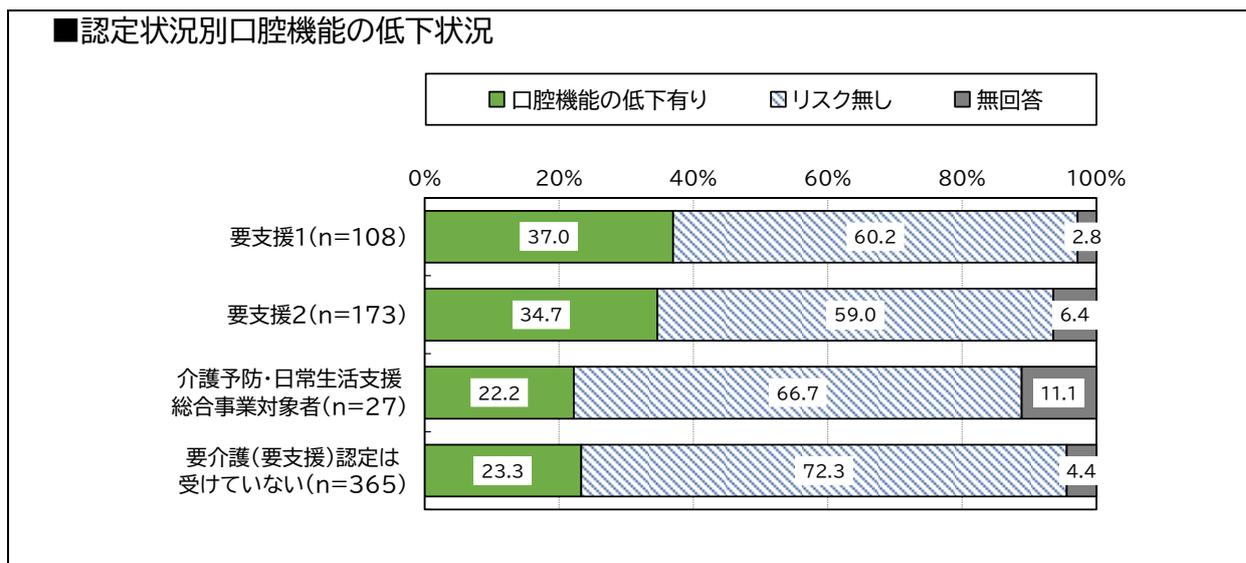
設問内容	選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
口の渴きが気になりますか	1. はい 2. いいえ

■ 年齢別口腔機能の低下状況



■ 男女別口腔機能の低下状況





口腔機能の低下状況は、全体の28.4%が該当者となっている。

年齢別では、80歳以上に該当者が多く、3割以上が該当者となっている。

男女別では、「男」の24.1%、「女」の31.0%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「要支援1」の37.0%、「要支援2」の34.7%が該当者となっている。

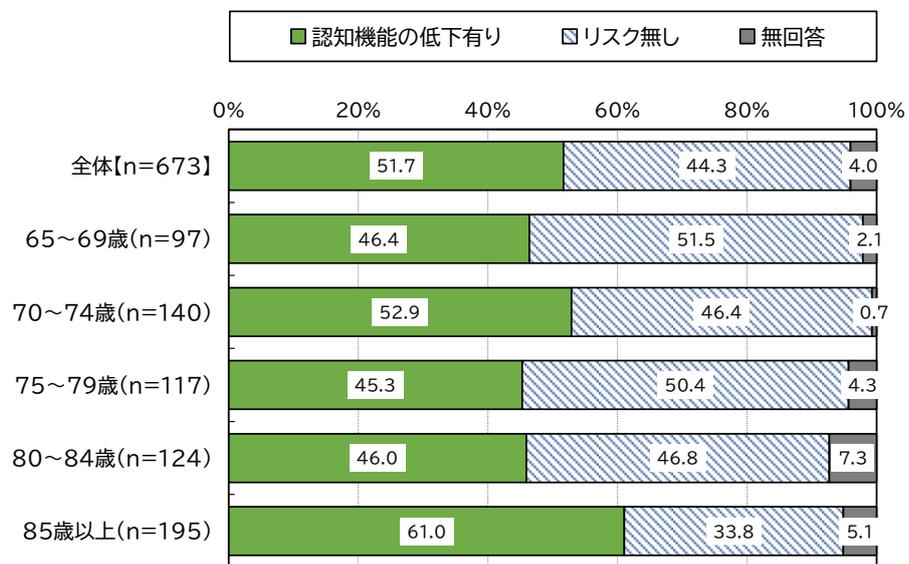
(6) 認知機能の低下

【リスク判定方法】

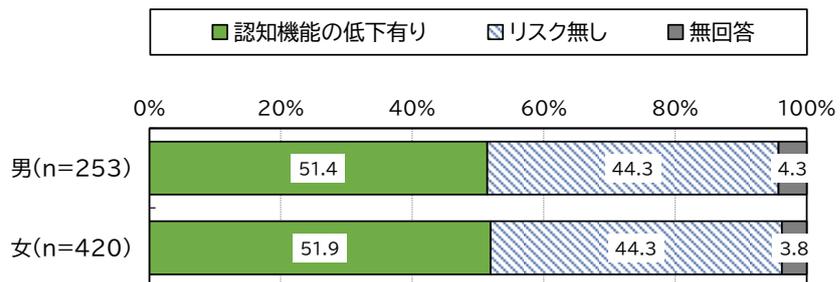
下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

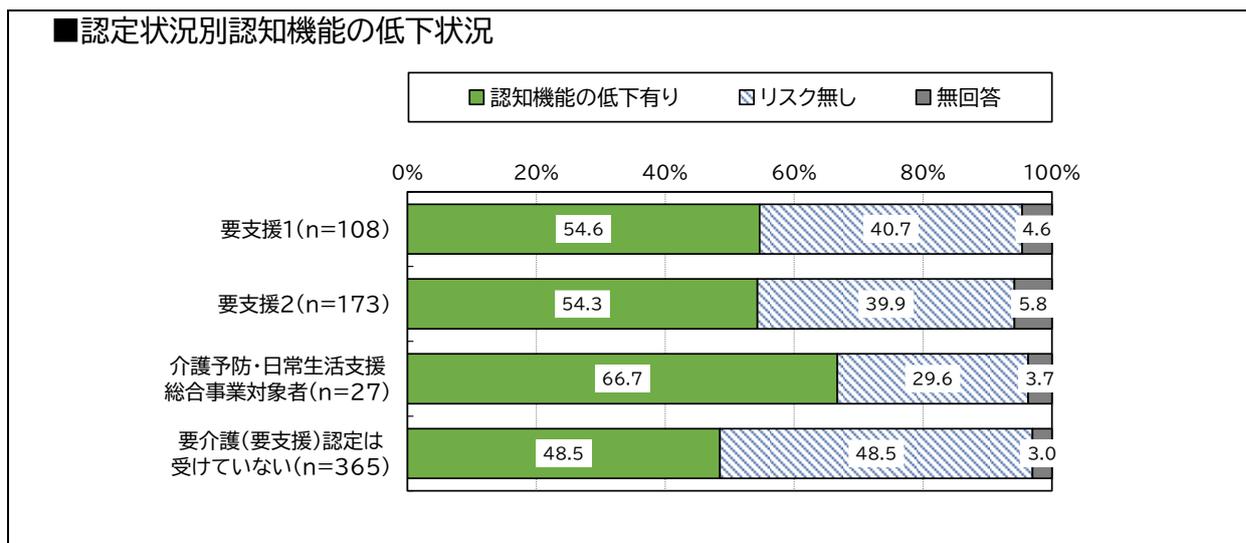
設問内容	選択肢
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

■ 年齢別認知機能の低下状況



■ 男女別認知機能の低下状況





認知機能の低下状況は、全体の51.7%が該当者となっている。

年齢別では、85歳以上の6割以上が該当者となっている。

男女別では、「男」の51.4%、「女」の51.9%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」の66.7%、「要支援1」の54.6%が該当者となっている。

(7) IADL(手段的自立度)の低下

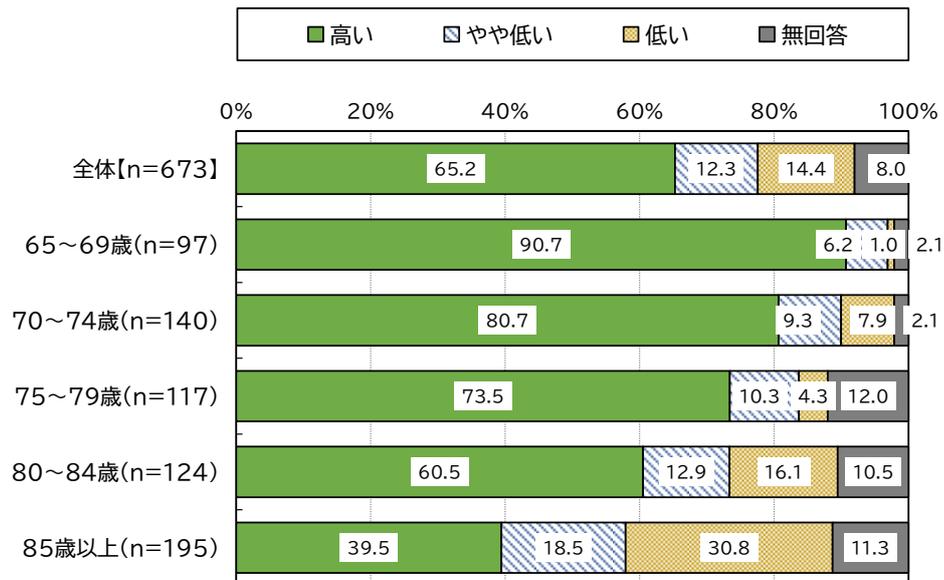
【リスク判定方法】

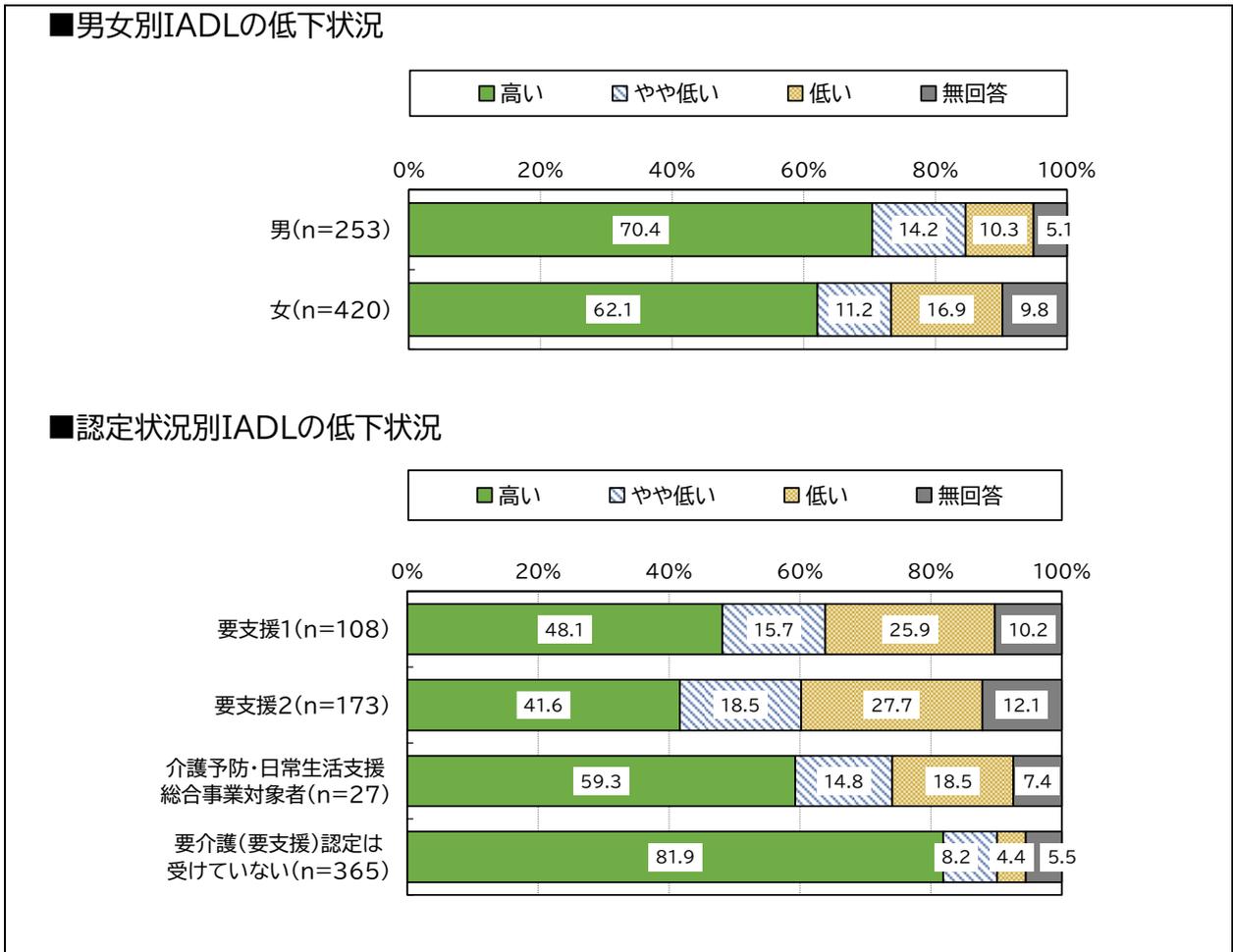
下記の設問で、5点満点中、4点以下を「低下」として評価します。(5点:高い、4点:やや低い、3点以下:低い)

IADLは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

設問内容	選択肢	点
バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している	1点
	2. できるけどしていない	1点
	3. できない	0点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している	1点
	2. できるけどしていない	1点
	3. できない	0点
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している	1点
	2. できるけどしていない	1点
	3. できない	0点
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している	1点
	2. できるけどしていない	1点
	3. できない	0点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している	1点
	2. できるけどしていない	1点
	3. できない	0点

■年齢別IADLの低下状況





IADLの低下は、「やや低い」、「低い」を低下者とする、全体の26.7%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれて該当者が多くなる傾向にあり、85歳以上の49.3%が該当者となっている。

男女別では、「男」の24.5%、「女」の28.1%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「要支援2」の46.2%、「要支援1」の41.6%が該当者となっている。

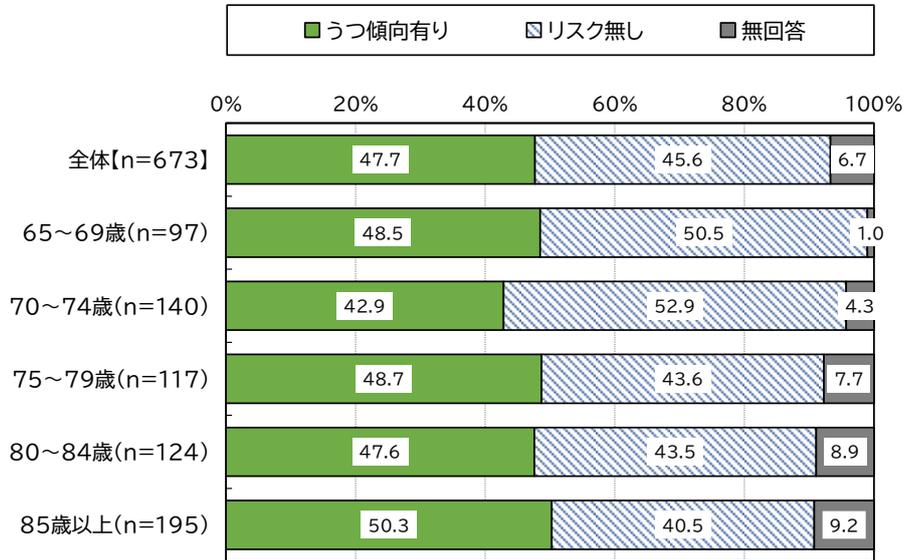
(8)うつ傾向

【リスク判定方法】

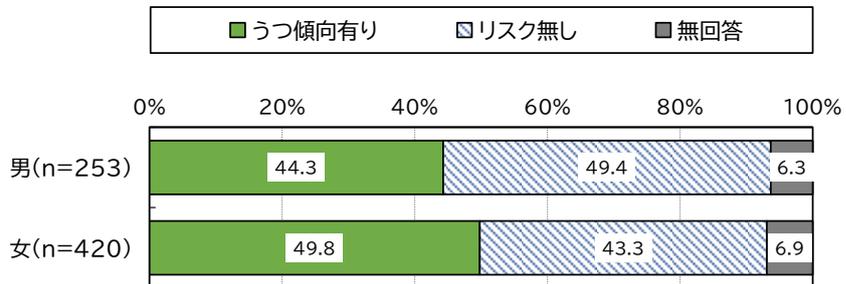
下記の設問で1問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

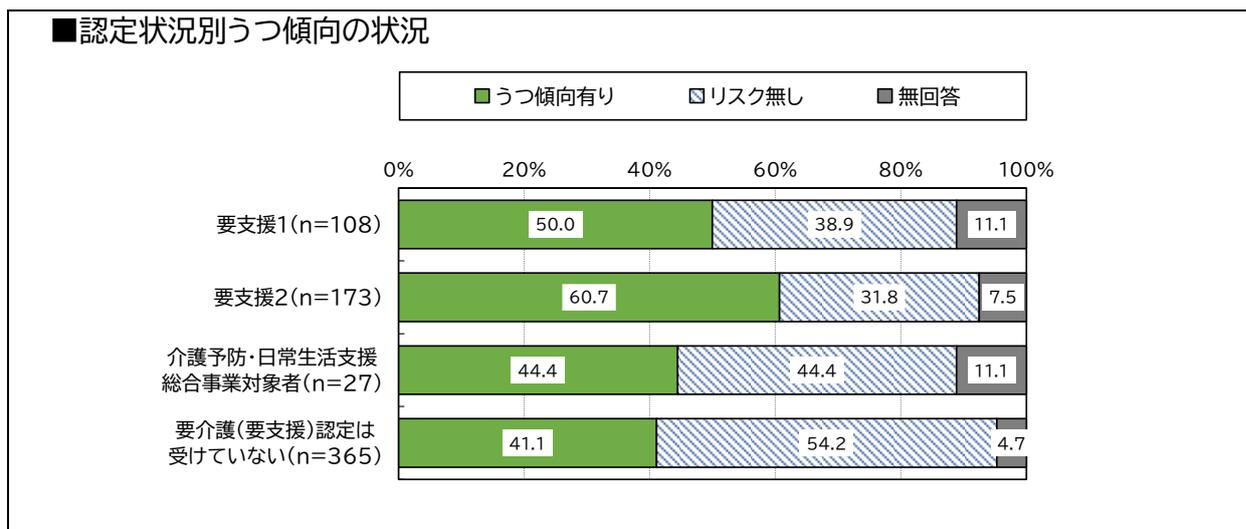
設問内容	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

■年齢別うつ傾向の状況



■男女別うつ傾向の状況





うつ傾向は、全体の47.7%が該当者となっている。

年齢別では、全ての年代で4割以上の人が該当者となっている。

男女別では、「男」の44.3%、「女」の49.8%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「要支援2」の60.7%、「要支援1」の50.0%が該当者となっている。

(9)知的能動性の低下

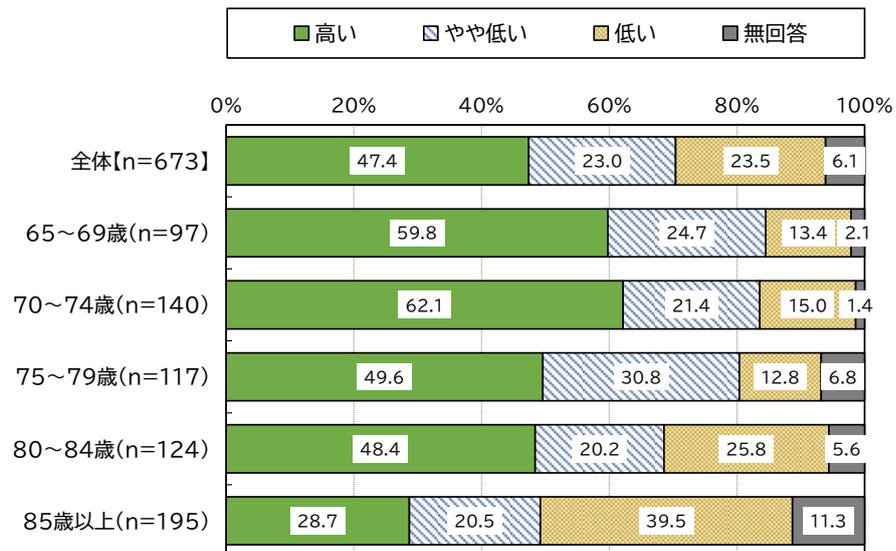
【リスク判定方法】

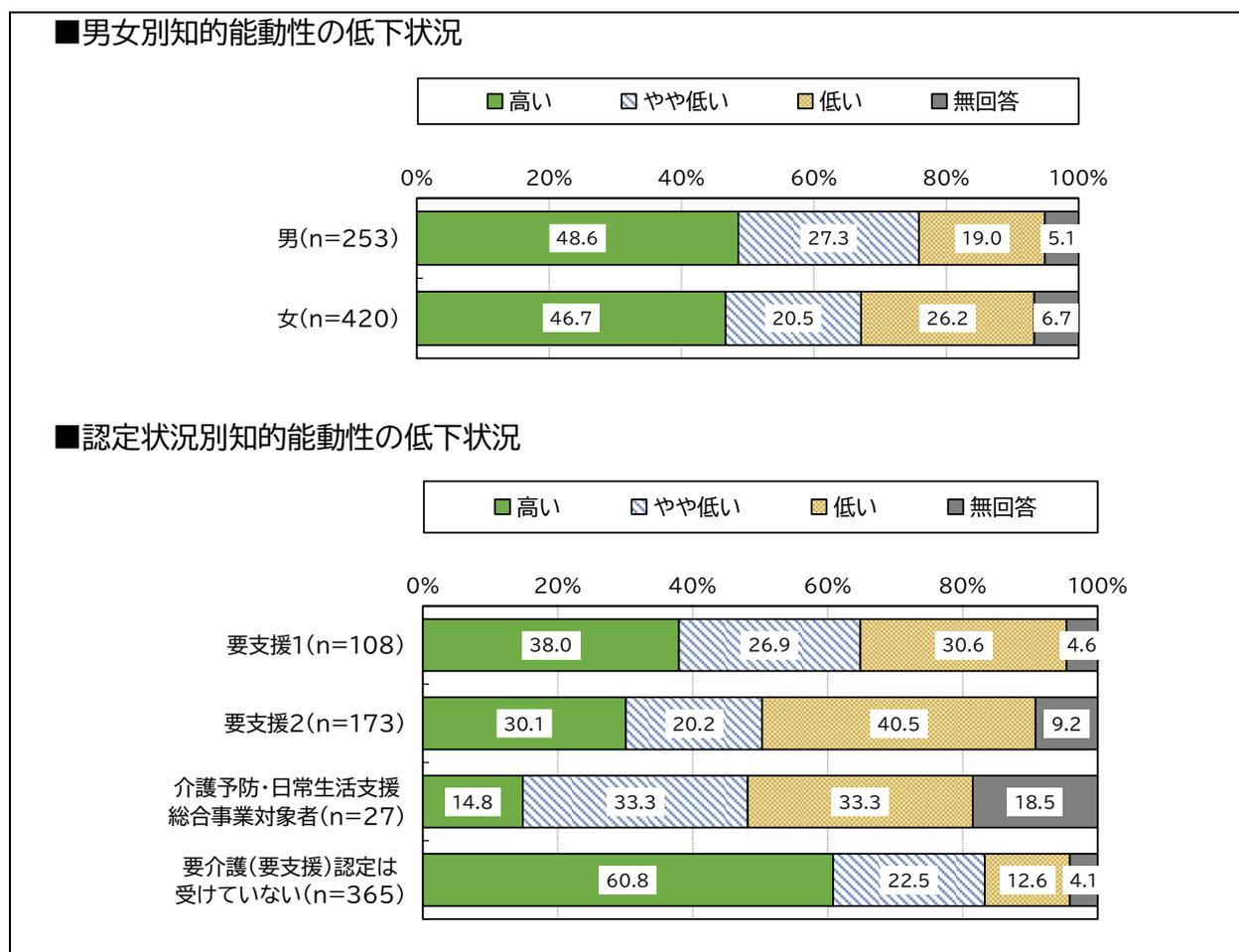
下記の設問で、4点満点中、3点以下を「低下」として評価します。(4点:高い、3点:やや低い、2点以下:低い)

知的能動性は、探索、創作、余暇活動などの知的な活動をすることです。

設問内容	選択肢	得点
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
新聞を読んでいますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点

■年齢別知的能動性の低下状況





知的能動性の低下は、「やや低い」、「低い」を低下者とする、全体の46.5%が該当者となっている。

年齢別では、85歳以上が最も多く60.0%が該当者となっている。

男女別では、「男」の46.3%、「女性」の46.7%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」の66.6%、「要支援2」の60.7%が該当者となっている。

(10)社会的役割の低下

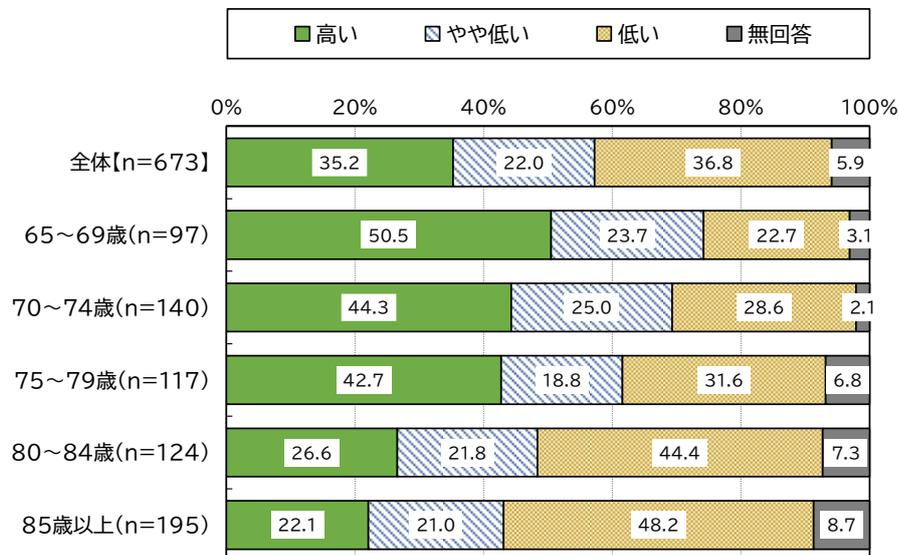
【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、3点以下を「低下」として評価します。(4点:高い、3点:やや低い、2点以下:低い)

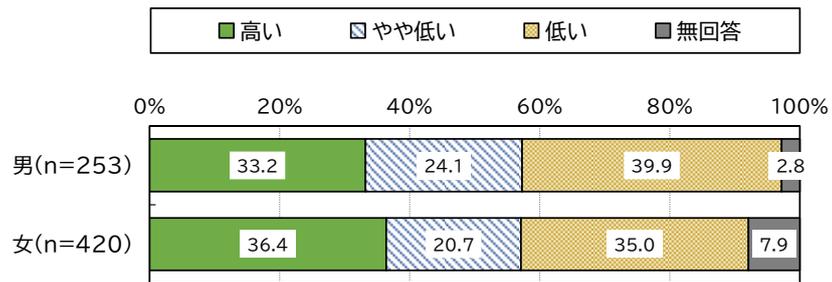
社会的役割は、仲間と会食の機会を持ったり、地域の活動に参加したりするなど、地域で社会的な役割を果たすことです。

設問内容	選択肢	点
友人の家を訪ねていますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
病人を見舞うことができますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点

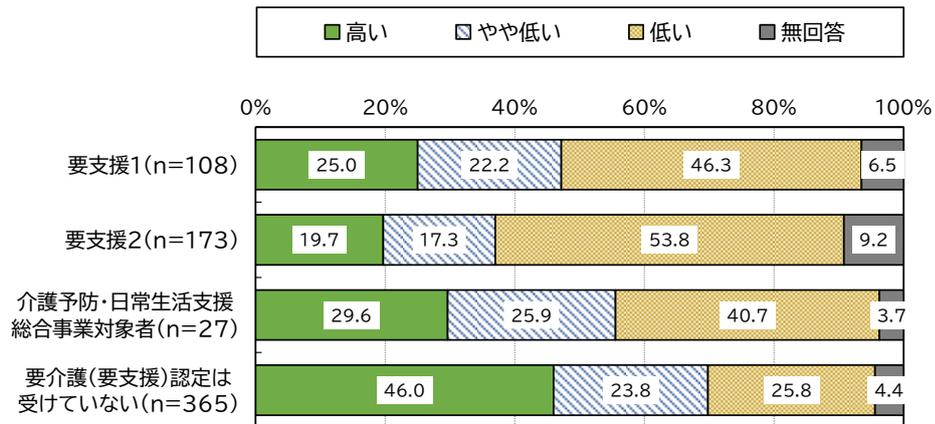
■年齢別社会的役割の低下状況



■男女別社会的役割の低下状況



■認定状況別社会的役割の低下状況



社会的役割の低下は、「やや低い」、「低い」を低下者とする、全体の58.8%が該当者となっている。

年齢別では、85歳以上が最も多く69.2%が該当者となっている。

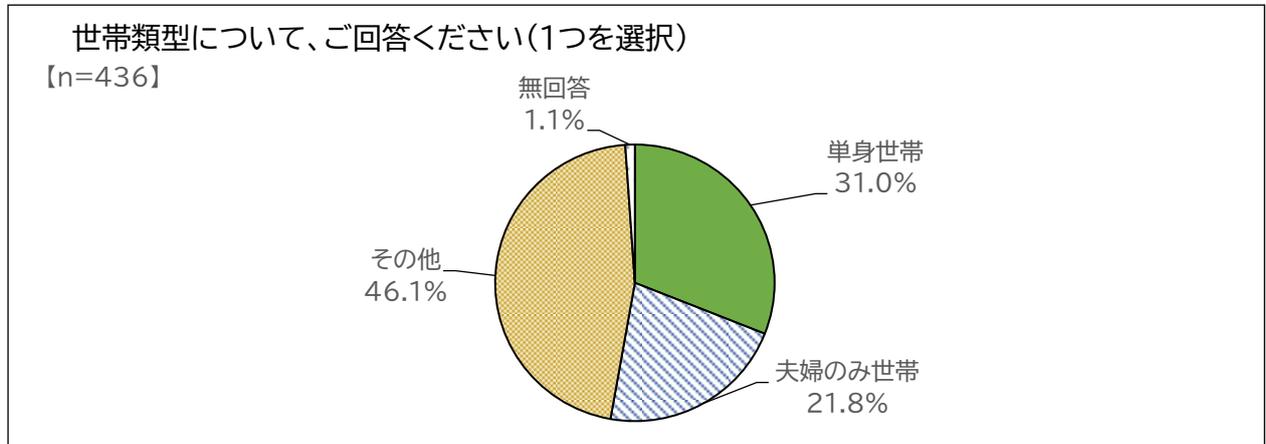
男女別では、「男性」の64.0%、「女性」の55.7%が該当者となっており、男性に該当者が多くなっている。

認定状況別では、「要支援2」の71.1%、「要支援1」の68.5%が該当者となっている。

在宅介護実態調査

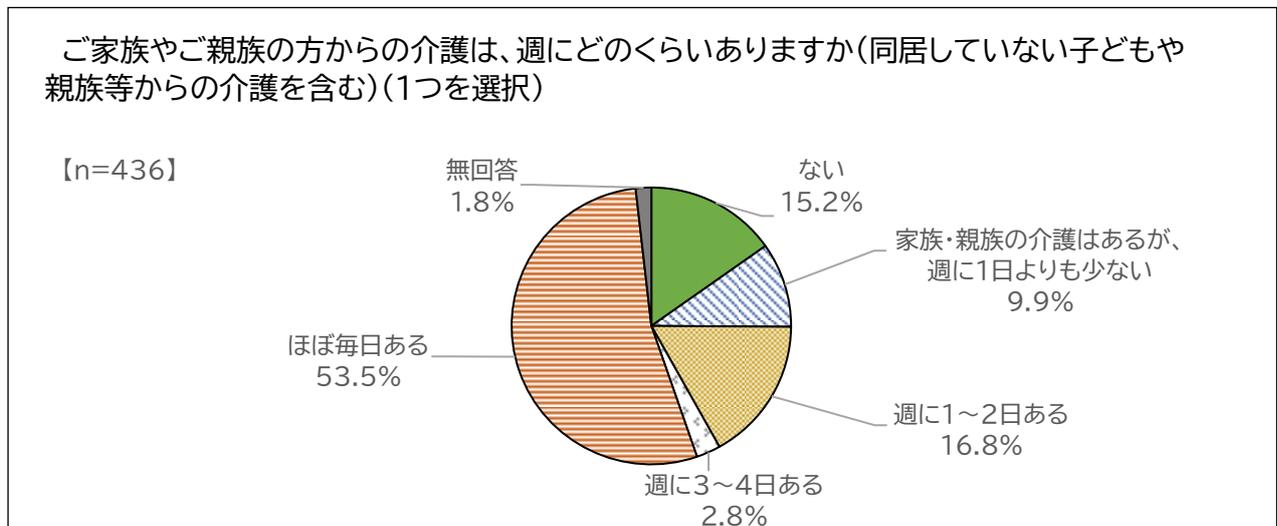
1 在宅介護実態調査集計結果

(1)世帯



世帯は、「単身世帯」が31.0%、「夫婦のみ世帯」が21.8%、「その他」が46.1%となっている。

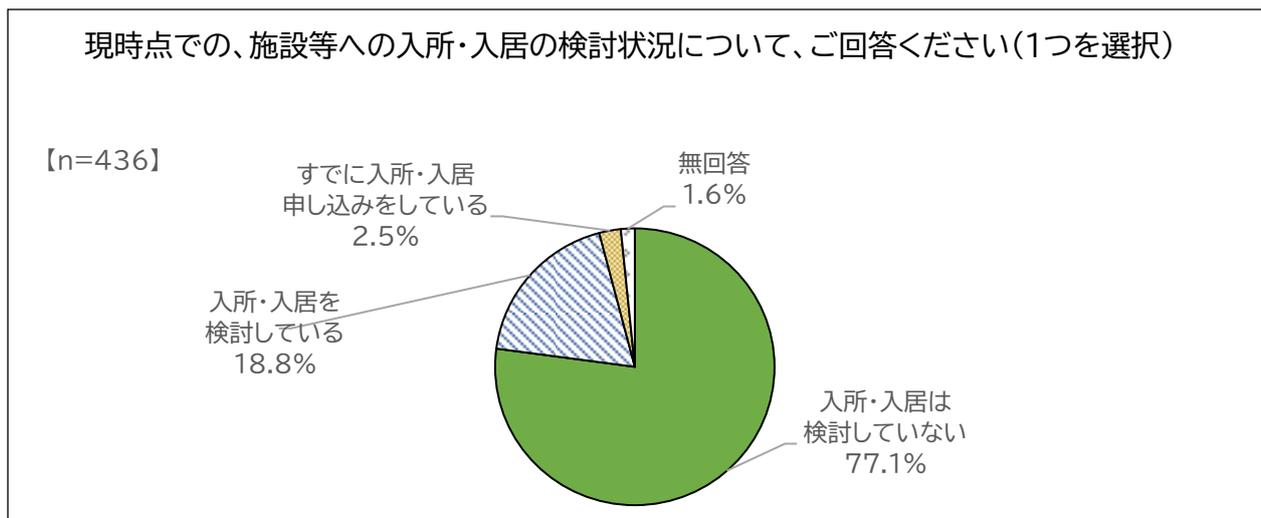
(2)ご家族やご親族の方からの介護について



ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいあるかは、「ほぼ毎日ある」が53.5%となっている。その他、「週に1~2日ある」(16.8%)、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」(9.9%)、「週に3~4日ある」(2.8%)となっており、8割以上が家族や親族からの介護を受けている。

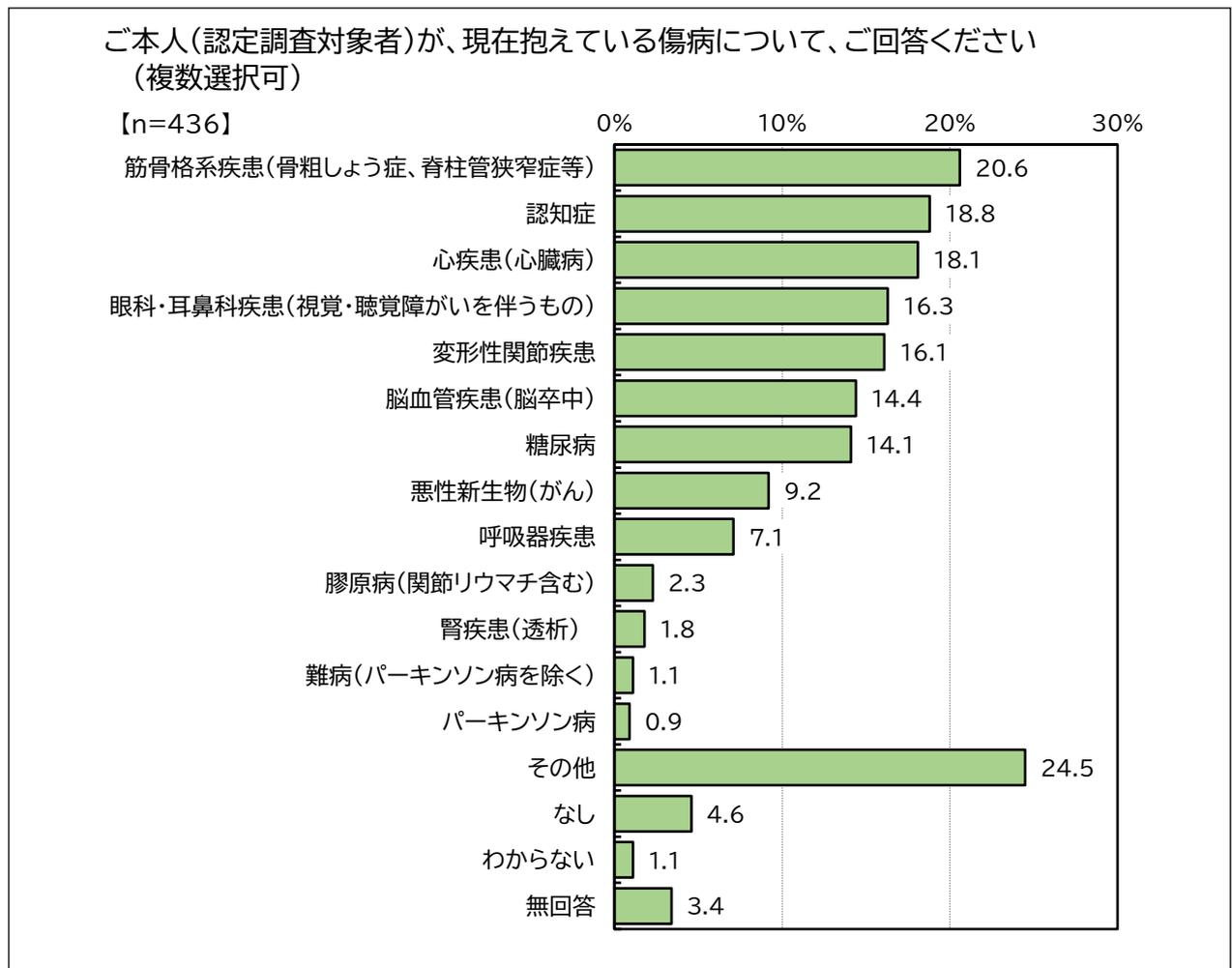
また、15.2%が「ない」と回答している。

(3)施設等への入所・入居の検討状況



施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が77.1%と最も多く、「入所・入居を検討している」が18.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が2.5%となっている。

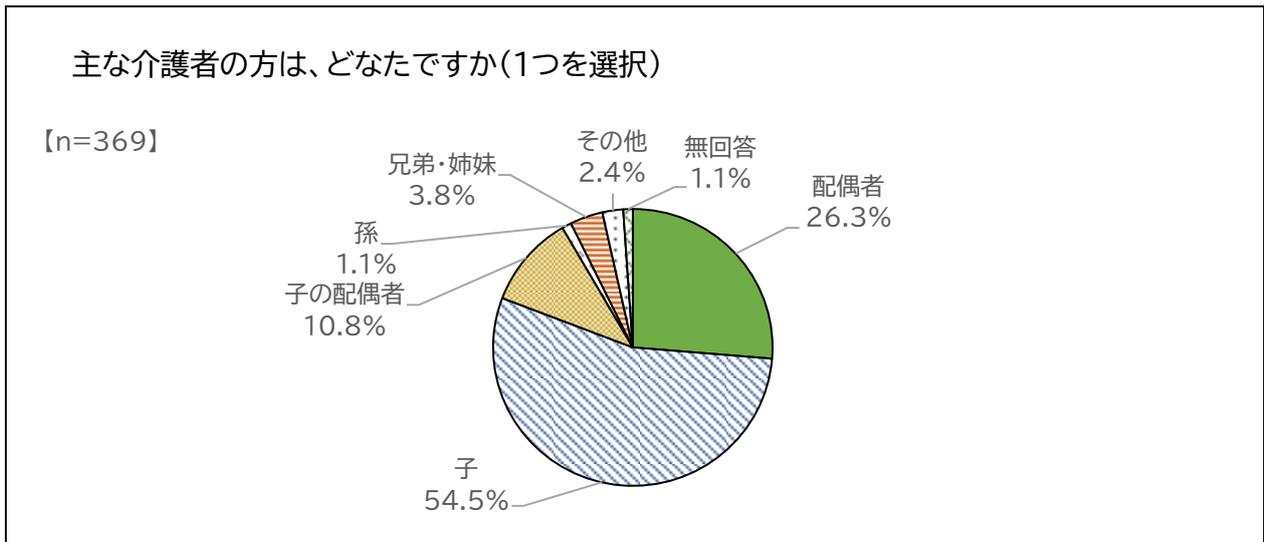
(4)現在抱えている傷病について



現在抱えている傷病は、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が20.6%と最も多く、次いで「認知症」(18.8%)と最も多く、「心疾患(心臓病)」(18.1%)、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障がいを伴うもの)」(16.3%)と続いている。

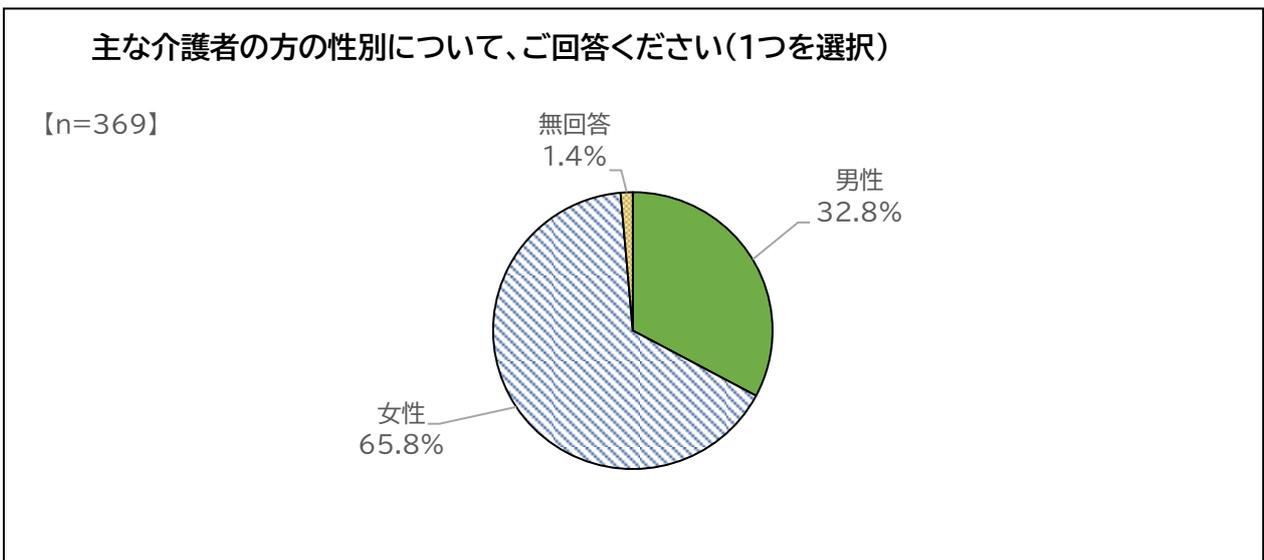
また、4.6%が「なし」と回答している。

(5) 主な介護者



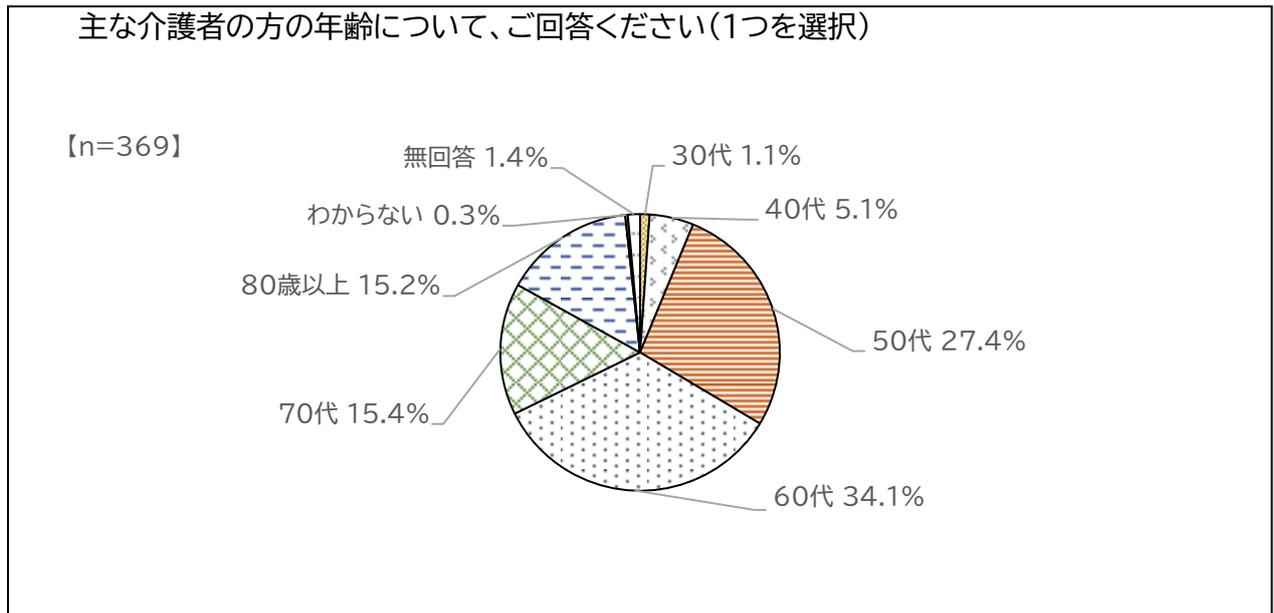
主な介護者は、「子」が54.5%と最も多く、次いで「配偶者」(26.3%)、「子の配偶者」10.8%)と続いている。

(6) 主な介護者の性別



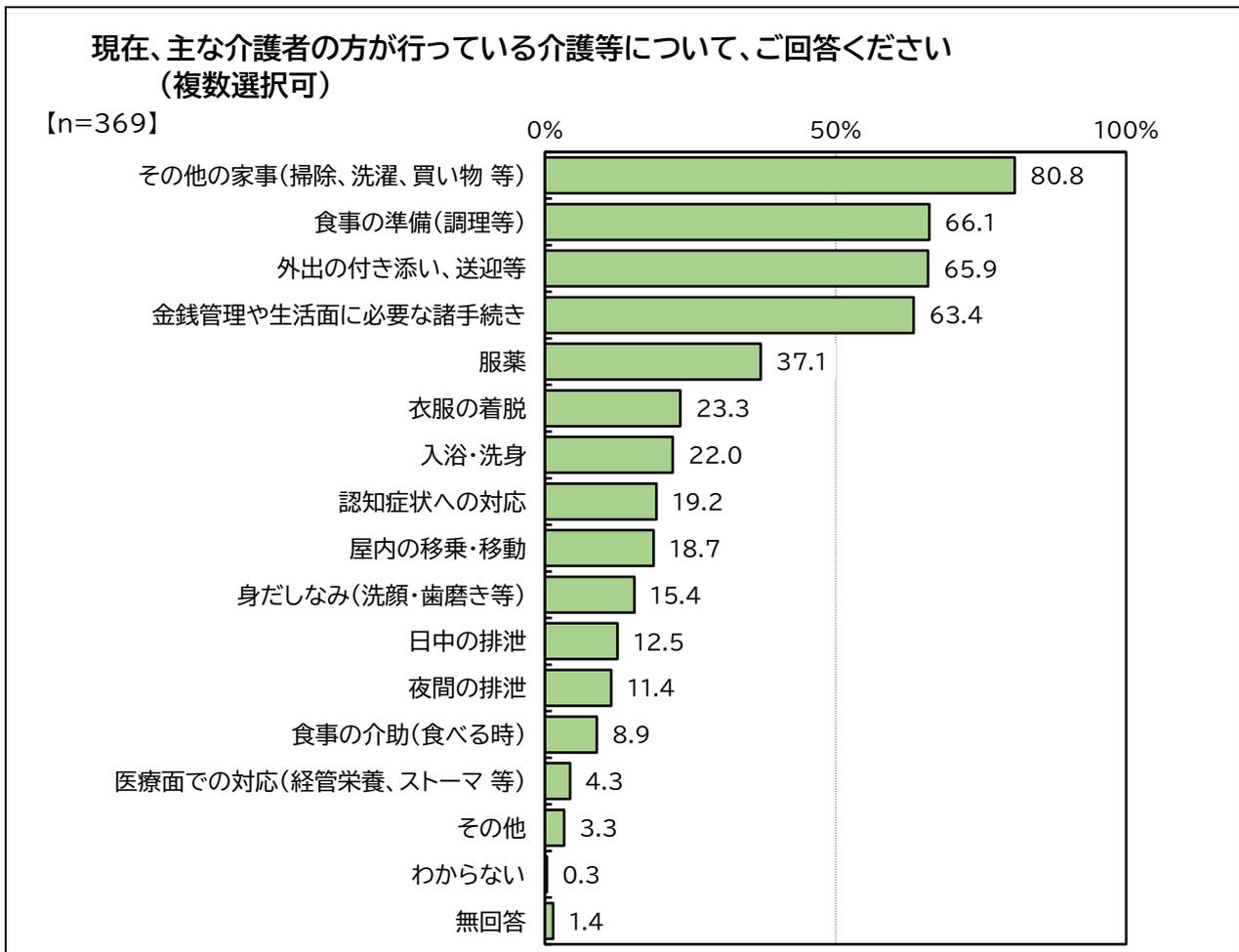
主な介護者の性別は、「男性」が32.8%、「女性」が65.8%となっている。

(7) 主な介護者の年齢



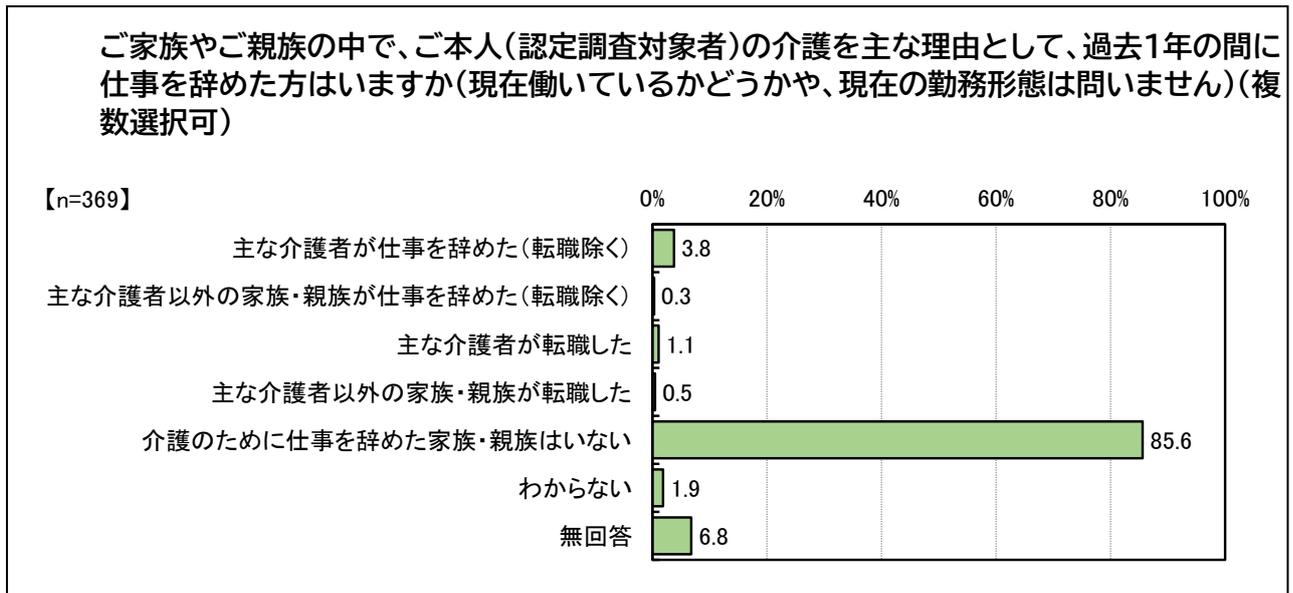
主な介護者の年齢は、「60代」が34.1%で最も多く、次いで「50代」(27.4%)、「70代」(15.4%)、「80歳以上」(15.2%)と続いている。

(8) 主な介護者の方が行っている介護等について



主な介護者が行っている介護等の内容は、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が80.8%で最も多く、次いで「食事の準備(調理等)」(66.1%)、「外出の付き添い、送迎等」(65.9%)と続いている。

(9) 介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるか

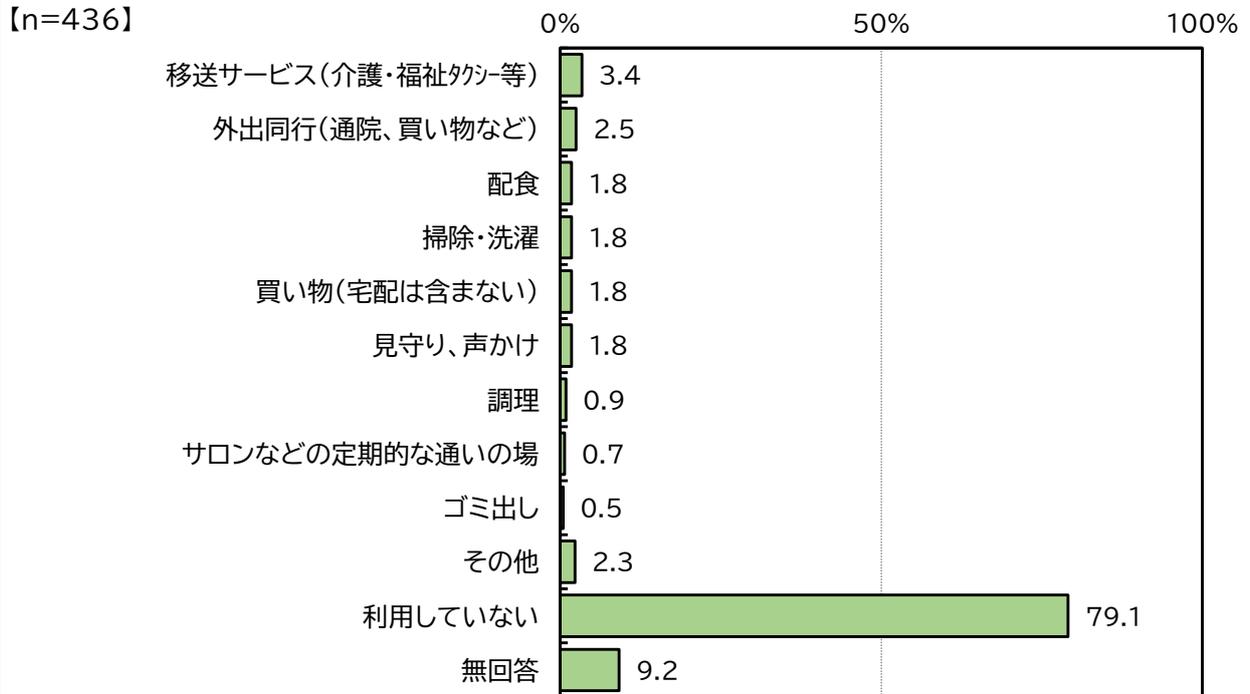


家族や親族の中で、介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかは、85.6%が「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答している。

その他、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(3.8%)、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」(0.3%)、「主な介護者が転職した」(1.1%)、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」(0.5%)となっており、介護を理由として離職や転職した家族や親族が5.7%いる。

(10)「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて

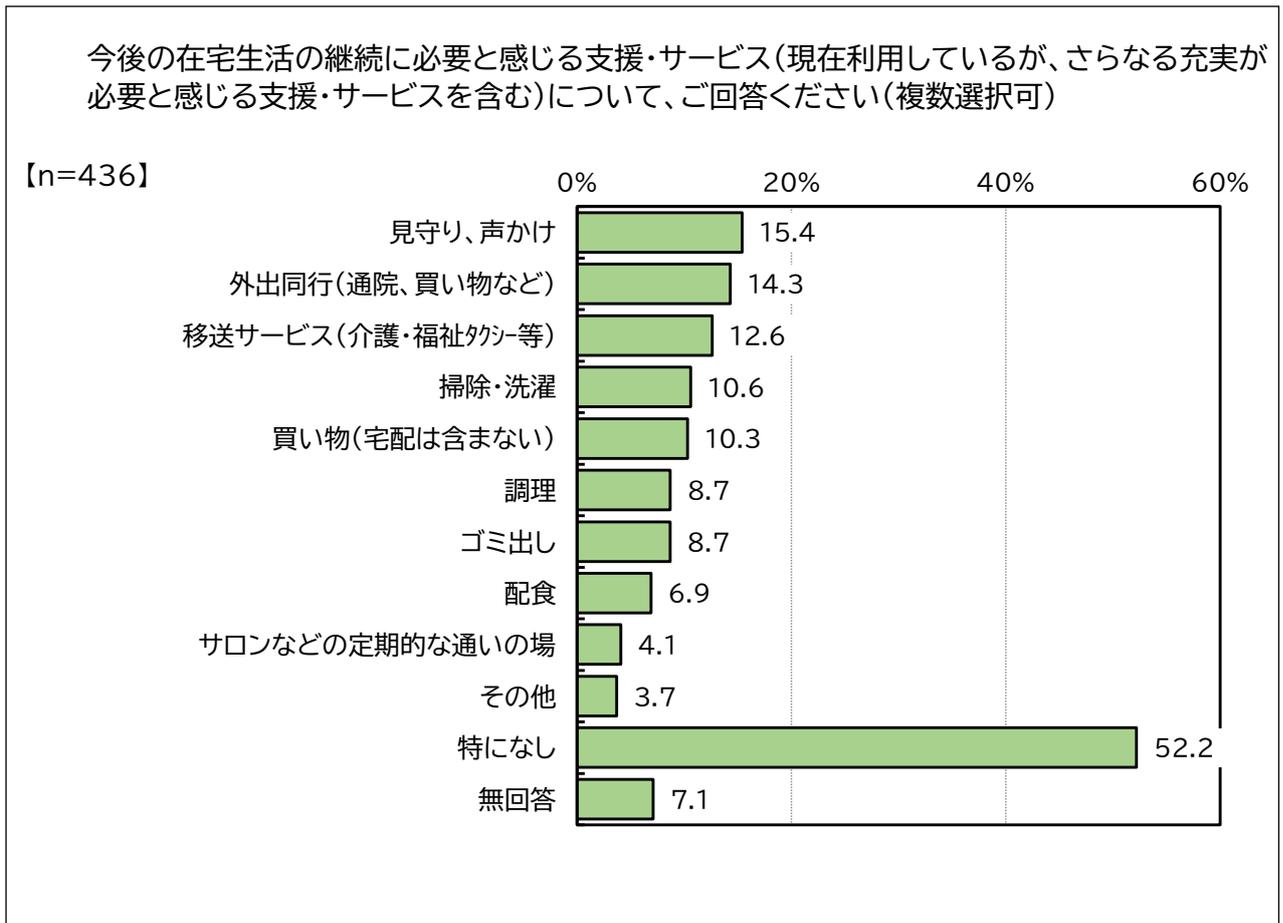
現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)



現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が3.4%で最も多く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」(2.5%)、「配食」、「掃除・洗濯」、「買い物(宅配は含まない)」、「見守り、声かけ」(1.8%)と続いている。

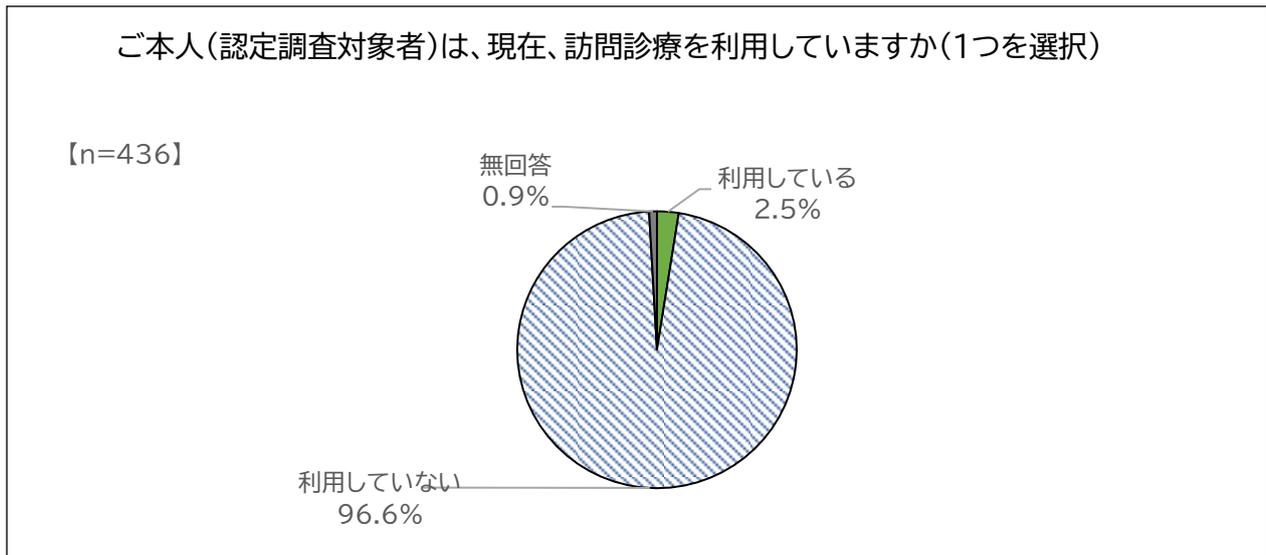
また、79.1%は「利用していない」と回答している。

(11)在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて



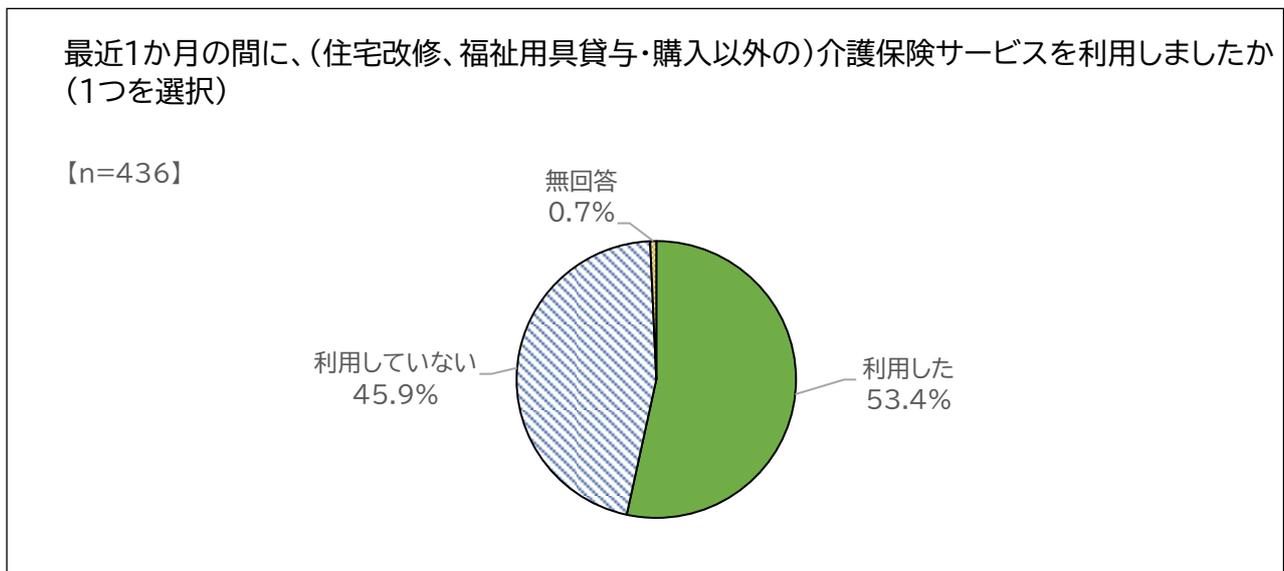
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)は、「見守り、声かけ」が15.4%で最も多く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」(14.3%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(12.6%)と続いている。

(12)訪問診療について



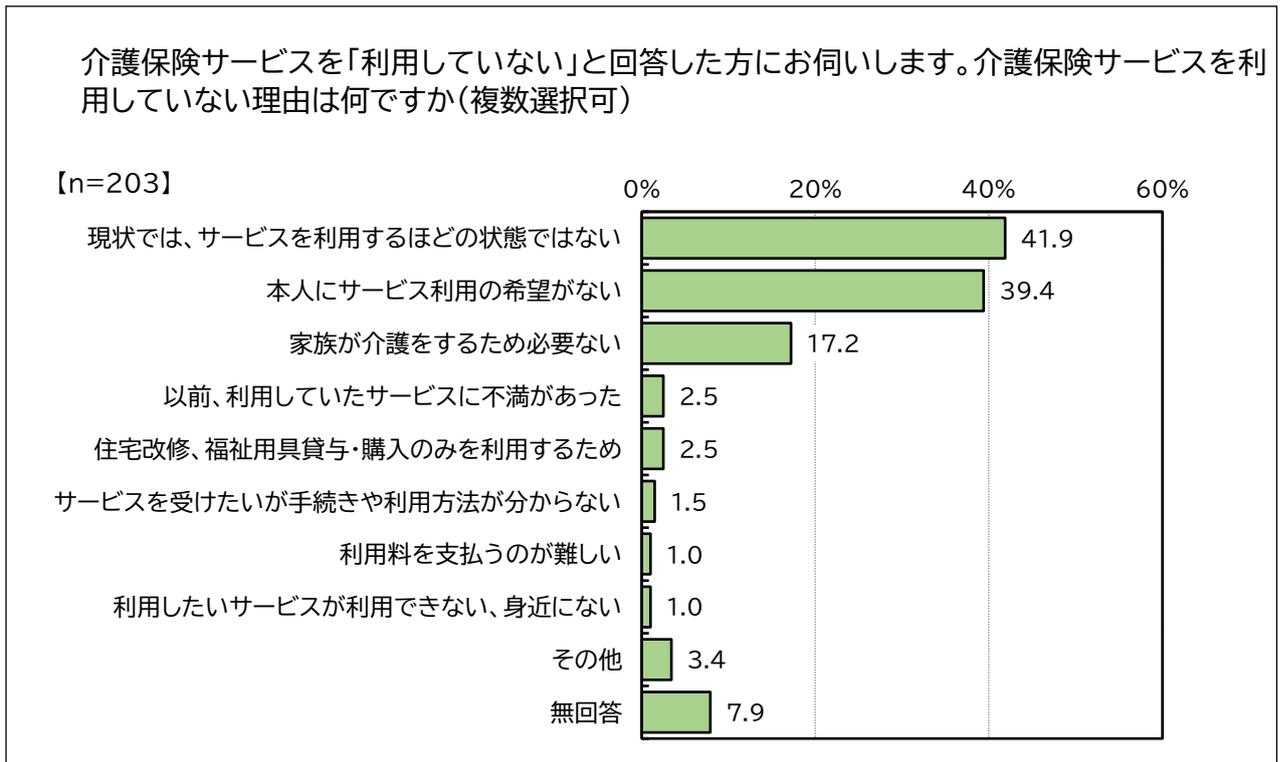
現在、訪問診療を利用しているかは、2.5%が「利用している」と回答している。

(13)介護保険サービスの利用について



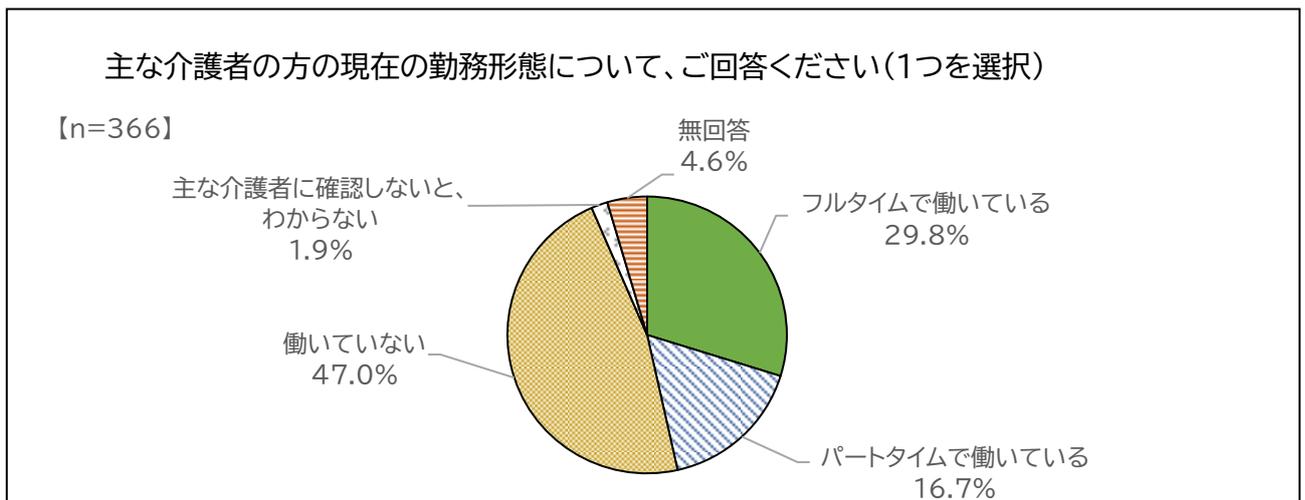
介護保険サービスの利用状況は、「利用した」が53.4%、「利用していない」が45.9%となっている。

(14)介護保険サービスを利用していない理由



介護保険サービスを「利用していない」と回答した方に、介護保険サービスを利用していない理由を尋ねると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.9%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(39.4%)、「家族が介護をするため必要ない」(17.2%)と続いている。

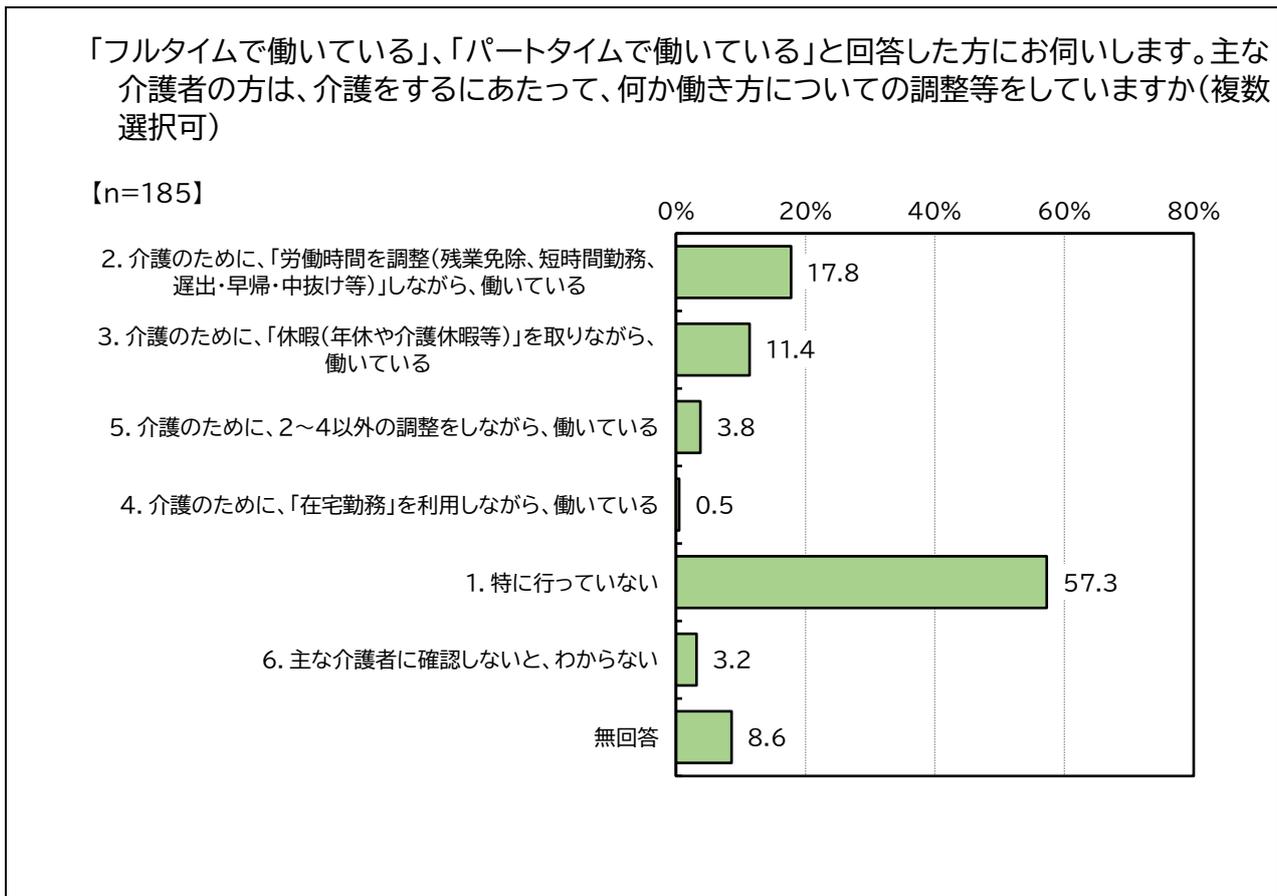
(15)主な介護者の方の現在の勤務形態について



主な介護者の現在の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が29.8%、「パートタイムで働いている」が16.7%となっている。

また、47.0%が「働いていない」と回答している。

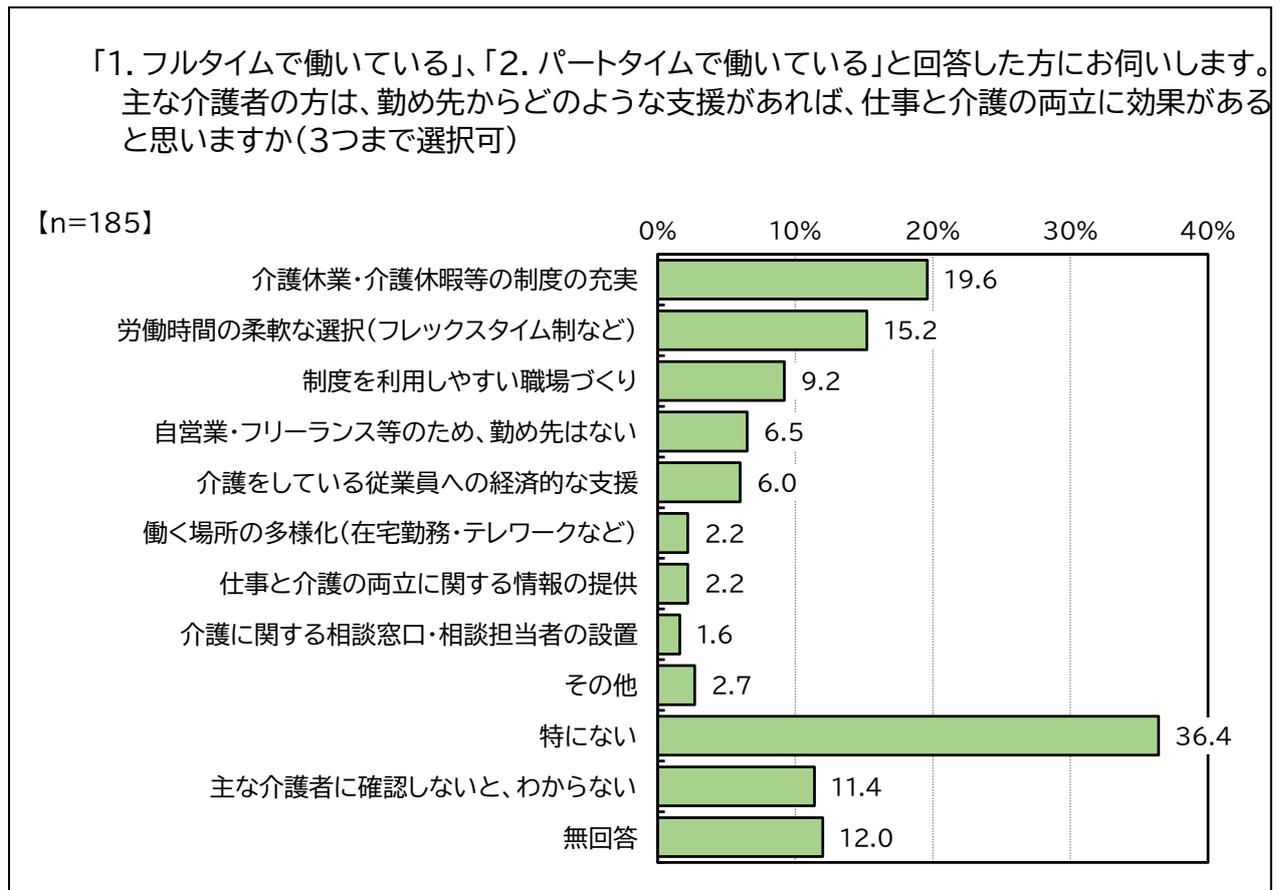
(16)介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたか



「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方に介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたか尋ねると、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が17.8%と最も多く、次いで、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」(11.4%)、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」(3.8%)、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」(0.5%)となっている。

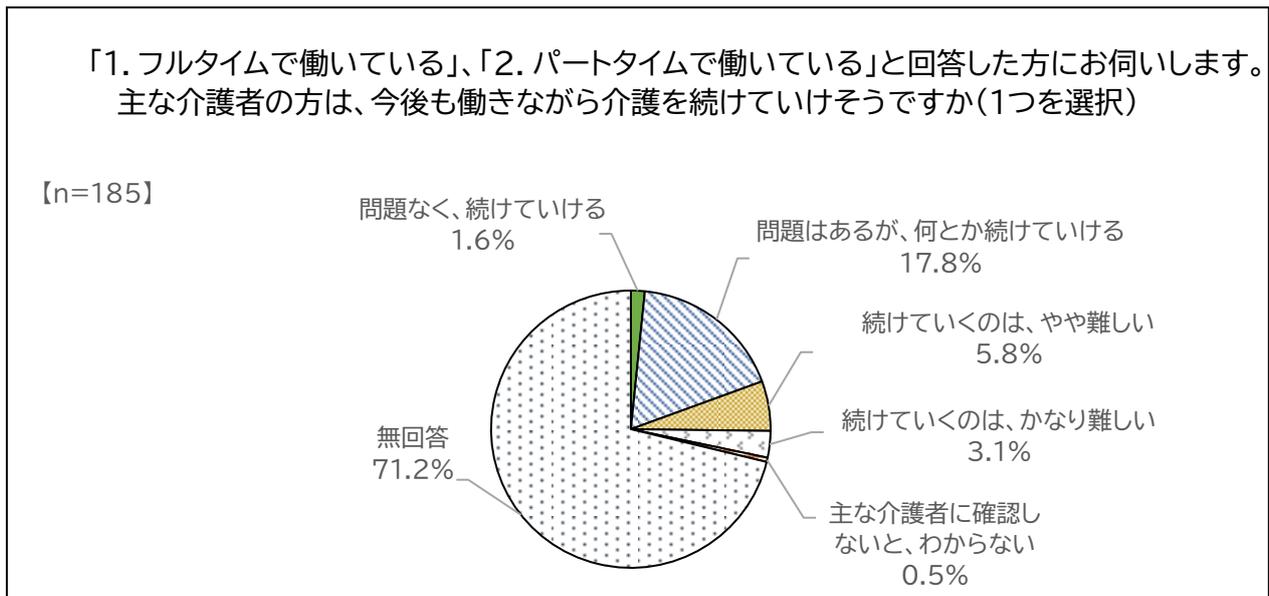
また、57.3%が「特に行っていない」と回答している。

(17)仕事と介護の両立に効果がある支援について



「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方に、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか尋ねると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が19.6%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(15.2%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(9.2%)と続いている。

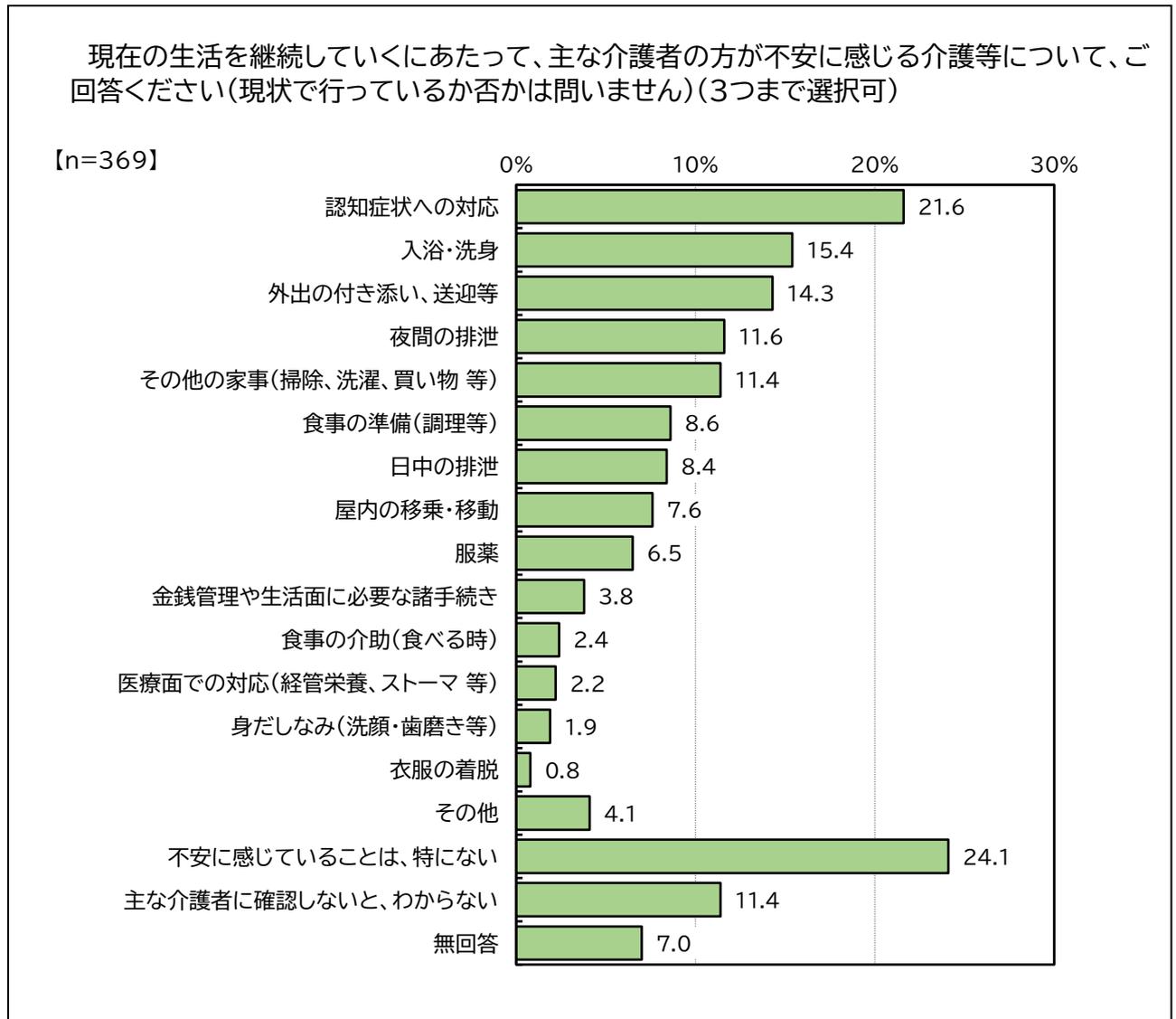
(18) 今後も働きながら介護を続けていけそうか



「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方に、今後も働きながら介護を続けていけそうか尋ねると、「問題なく、続けていける」(1.6%)、「問題はあるが、何とか続けていける」(17.8%)を合わせると19.4%は続けていけると回答している。

また、「続けていくのは、やや難しい」(5.8%)、「続けていくのは、かなり難しい」(3.1%)を合わせると8.9%は続けていくのは難しいと回答している。

(19) 主な介護者の方が不安を感じる介護等について



主な介護者が不安を感じる介護等の内容は、「認知症への対応」が21.6%で最も多く、次いで「入浴・洗身」(15.4%)、「外出の付き添い、送迎等」(14.3%)、「夜間の排泄」(11.6%)と続いている。

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

・

在宅介護実態調査

調査結果報告書

令和5年10月

発行：男鹿市

企画・編集：介護サービス課
